



南知多町 住民意識調査報告書

平成 26 年 10 月

南知多町

目 次

序 章 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 報告書の見方	1
第1章 回答者のプロフィール	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 家族構成	5
(5) 居住地区	6
(6) 居住年数	6
(7) 居住歴	7
(8) 南知多町に戻ってきた、移り住んだ理由	8
第2章 南知多町の住み心地と居住意向	9
(1) 南知多町の住み心地	9
(2) 南知多町での居住意向	11
(3) 住み続けたい理由	13
(4) 町外に移り住みたい理由	14
第3章 町政への満足度・重要度	15
(1) 施策や生活環境への満足度・重要度	15
(2) 施策や生活環境への満足度・重要度（平均得点比較）	30
(3) 施策や生活環境への満足度・重要度ランキング	39
(4) 満足度と重要度の関係	41
第4章 南知多町の人口対策について	48
(1) 人口を増やすための方策	48
第5章 産業振興について	51
(1) 産業振興	51
(2) 観光振興	54

第6章 防災対策について	57
（1）発生が懸念される災害	57
（2）居住地の安全性	59
（3）優先すべき防災対策	61
（4）災害に備えて実行していること	64
第7章 教育振興について	66
（1）小規模校の長所・短所	66
（2）学校の配置に関する対応	69
（3）学校統合のあり方	71
第8章 参加と協働の地域づくりについて	73
（1）住民活動の状況	73
（2）住民主体のまちづくりの促進方策	76
（3）まちづくりにおける行政と住民の関係	79
第9章 男女共同参画について	82
（1）男女共同参画の周知度	82
（2）男女共同参画推進のために	84
■資料	
・ 自由意見	86
・ 調査票	93

序 章 調査の概要

（１）調査目的

南知多町では、平成 22 年度からスタートしました「第 6 次南知多町総合計画」に基づき、「太陽と海と緑豊かなまちづくり」を進めています。

しかしながら、本町を取り巻く社会情勢が大きく変化してきているとともに、平成 27 年度に総合計画の計画期間（11 年間）の中間年度を迎えることから、町民の皆さまに、意識やニーズ、満足度の変化をお伺いするため、アンケート調査を実施しました。

（２）調査の概要

本調査の概要は以下に示すとおりです。

- ・ 調 査 対 象：南知多町在住の 18 歳以上の男女
- ・ 抽 出 方 法：無作為抽出
- ・ 調 査 方 法：郵送配布・郵送回収
- ・ 調 査 時 期：平成 26 年 8 月
- ・ 配 布 数：1,500 件
- ・ 回 収 数： 562 件
- ・ 有効回収数： 559 件
- ・ 有効回収率： 37.3%

（３）報告書の見方

○図中の構成比（％）は、複数回答、単数回答ともに、少数点第 2 位を四捨五入していますので、図中の構成比（％）を合計しても、必ずしも 100.0% になりません。

○前回調査（平成 20 年 10 月実施）と同様の設問の場合には、前回調査の結果も併記して、その変化についても分析しています。今回の調査から新たに加えた設問については、今回の結果のみを記載しています。

○一部の作図については、クロス集計上の表側の「回答なし」は省略しています。

○図表中の表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現を、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

第1章 回答者のプロフィール

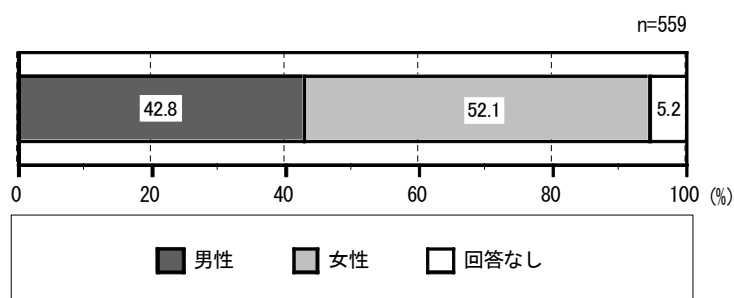
(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

回答者の性別は、「男性」42.8%、「女性」が52.1%と、女性の方が多くなっています。

○回答者の性別は、「男性」が42.8%、「女性」が52.1%と、女性の方が多く、おおむね南知多町の実際の性別人口構成(平成26年3月現在)と同じような回答割合となっています(図1-1)。

図1-1 性別



(2) 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。

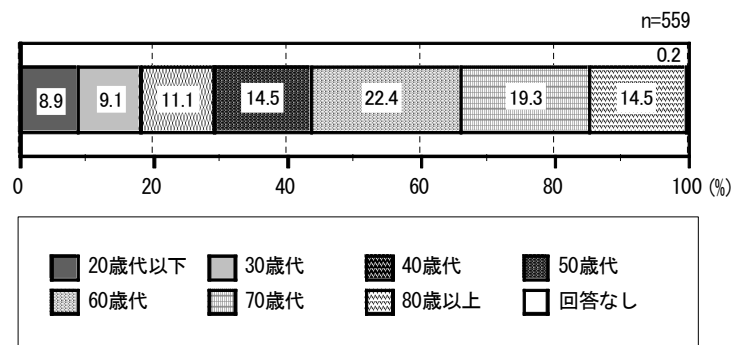
(平成26年7月1日現在の満年齢)

回答者の年齢は、「60歳代」が最も割合が高く、次いで「70歳代」、「50歳代」、「80歳以上」と続いています。

○回答者の年齢は、「60歳代」の割合が22.4%と最も高く、次いで「70歳代」が19.3%と高くなっています。また、「50歳代」と「80歳以上」がともに14.5%となっており、比較的中高年の割合が高く、60歳代以上の割合が56.2%を占めています(図1-2)。

○南知多町の現在の年齢別人口構成(平成26年3月現在)と比較すると、18～29歳代以下の若い世代が現状の11.9%に対して回答割合は8.9%とやや低く、60歳代以上は多い回答割合となっています。

図1-2 年齢



(3) 職業

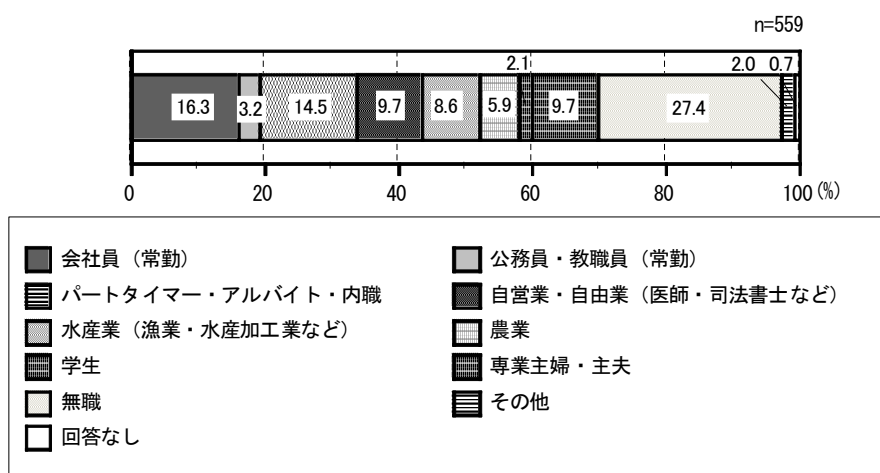
問3 あなたの職業を教えてください。

回答者の職業は「無職」の割合が最も高く、次いで「会社員」、「パートタイマー・アルバイト・内職」、「自営業・自由業」、「専業主婦・主夫」などが高くなっています。回答者のうち働いている人は約6割となっています。

○回答者の職業は、「無職」が27.4%で最も割合が高く、次いで「会社員（常勤）」（16.3%）、「パートタイマー・アルバイト・内職」（14.5%）、「自営業・自由業」（9.7%）、「専業主婦・主夫」（9.7%）と続いています（図1-3）。

○また、「学生」、「専業主婦・主夫」、「無職」、「その他」、「回答なし」を除く、働いている人の割合は58.2%です（図1-3）。

図1-3 職業



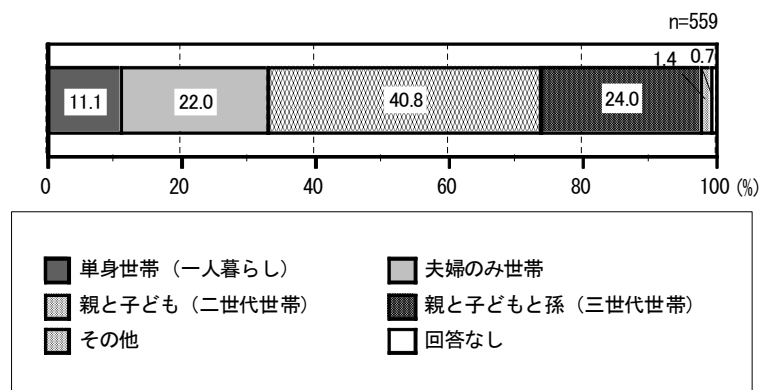
（４）家族構成

問４ あなたのお宅の家族構成を教えてください。

回答者の家族構成は、「親と子ども（二世世代世帯）」が最も割合が高く、次いで「親と子どもと孫（三世世代世帯）」、「夫婦のみ世帯」と続いています。

○回答者の家族構成は、「親と子ども（二世世代世帯）」が40.8%と最も割合が高く、次いで「親と子どもと孫（三世世代世帯）」（24.0%）、「夫婦のみ世帯」（22.0%）と続いています（図1-4）。

図1-4 家族構成



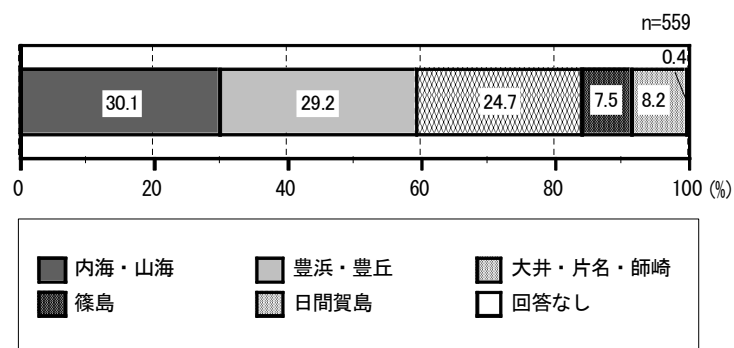
(5) 居住地区

問5 あなたがお住まいの地区（大字）を教えてください。

回答者の居住地区は、「内海・山海」が最も多く、「豊浜・豊丘」、「大井・片名・師崎」と続きます。

○南知多町内における居住する地区（大字）は、「内海・山海」が30.1%と最も割合が高く、「豊浜・豊丘」（29.2%）、「大井・片名・師崎」（24.7%）と続きます。「篠島」は7.5%、「日間賀島」は8.2%となっています（図1-5）。

図1-5 居住地区

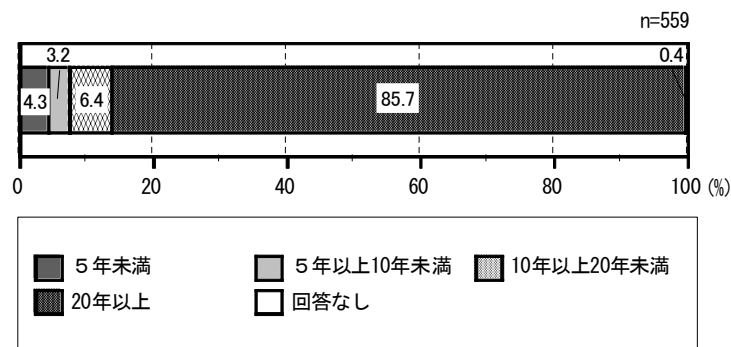
**(6) 居住年数**

問6 あなたは、南知多町に住んで合計何年になりますか。

南知多町での居住年数は、「20年以上」の割合が85.7%を占めています。

○南知多町での居住年数は、「20年以上」が85.7%と最も割合が高くなっています（図1-6）。

図1-6 居住年数



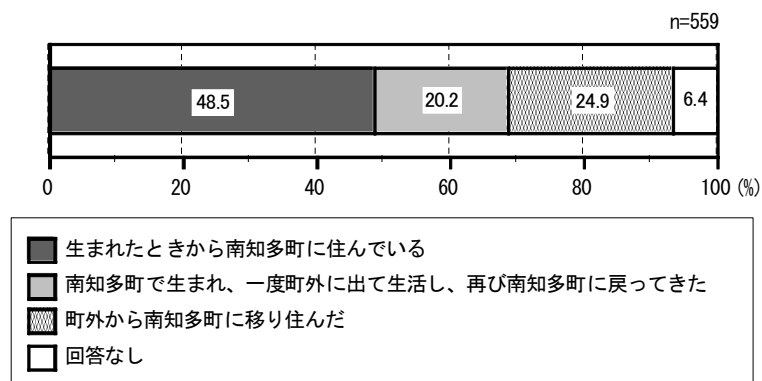
(7) 居住歴

問7 あなたは、生まれたときから南知多町に住んでいますか。

回答者の居住歴は、南知多町出身者が約7割を占め、そのうち「生まれたときから南知多町に住んでいる」が約半数を占めています。

○居住歴は、「生まれたときから南知多町に住んでいる」が48.5%で最も割合が高く、「町外から南知多町に移り住んだ」(24.9%)、「南知多町で生まれ、一度町外に出て生活し、再び南知多町に戻ってきた」(20.2%)となっています(図1-7)。

図1-7 居住歴



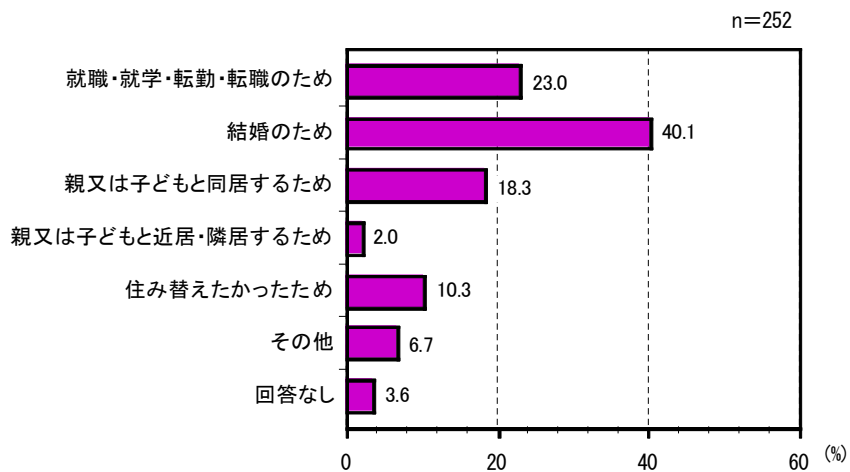
（８）南知多町に戻ってきた、移り住んだ理由

問 7-1 あなたが、南知多町に戻ってきた、又は移り住んだ理由を教えてください。

南知多町に戻ってきた、移り住んだ理由は、「結婚のため」が最も割合が高く、次いで「就職・就学・転勤・転職のため」、「親又は子どもと同居するため」と続いています。

○南知多町に戻ってきた、移り住んだ理由は、「結婚のため」が 40.1%と最も割合が高く、次いで「就職・就学・転勤・転職のため」が 23.0%、「親又は子どもと同居するため」が 18.3%と続いています（図 1-8）。

図1-8 南知多町に戻ってきた、移り住んだ理由



第2章 南知多町の住み心地と居住意向

(1) 南知多町の住み心地

問8 あなたは、南知多町は住みやすいまちだと思いますか。

南知多町の住み心地を「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と感じている方は、合わせて6割を超えています。

- 南知多町の住み心地は、「住みやすい」が30.8%と最も割合が高く、これに「どちらかといえば住みやすい」(31.3%)を加えると62.1%がプラス評価をしています(図2-1)。
- 前回調査(平成20年度)と比較すると、プラス評価が58.7%から62.1%と増加し、「どちらかといえば住みにくい」(H20:14.3%→H26:10.6%)、「住みにくい」(H20:7.8%→H26:6.8%)とマイナス評価の割合が減少しています(図2-1)。
- 年齢別でみると、若い世代はマイナス評価をしており、30歳代においては「どちらかといえば住みにくい」が19.6%と他の世代に比べ、最も割合が高く、「住みやすい」(11.8%)と「どちらかといえば住みやすい」(37.3%)を合わせたプラス評価は49.1%と半数を下回っています。同じく20歳代以下、40歳代においても、プラス評価をした人の割合は、それぞれ38.0%、41.9%と半数を大きく下回りました(図2-2)。
- 一方で、60歳代以上ではプラス評価している人の割合が高く、80歳以上では80.3%('住みやすい':53.1%、「どちらかといえば住みやすい」:27.2%)を占めています(図2-2)。
- 居住地区別にみると、日間賀島地区において「住みやすい」とする人の割合が45.7%と、最も高くなっています。(図2-3)。

図2-1 「南知多町の住み心地」前回調査比較

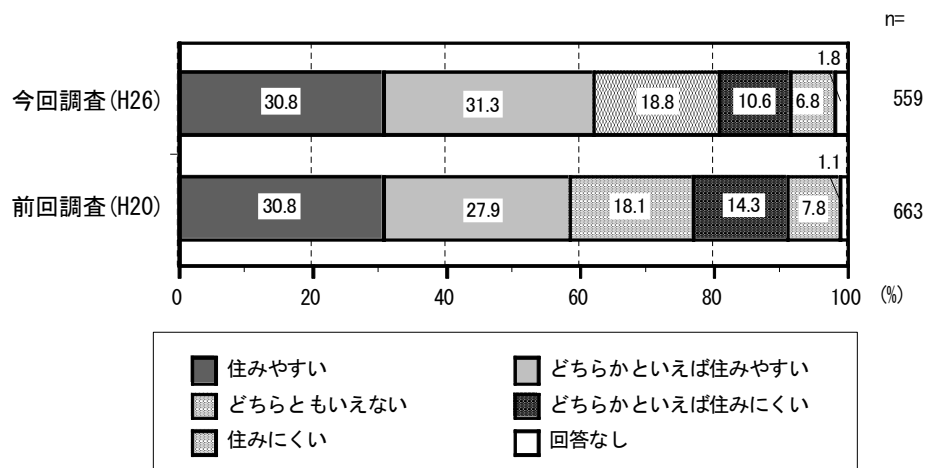


図2-2 年齢別「南知多町の住み心地」

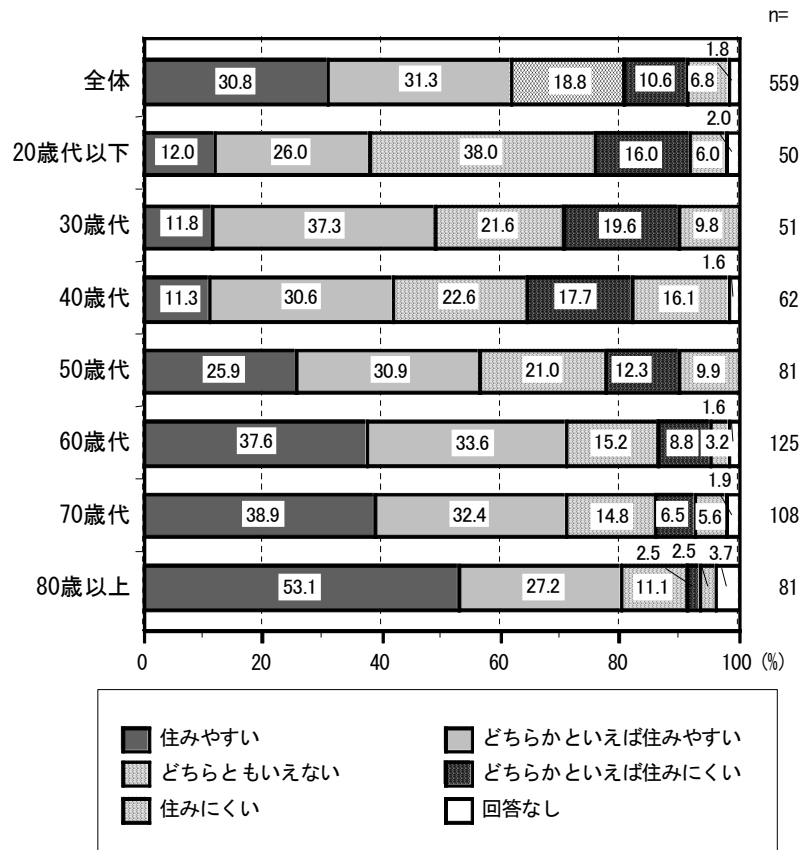
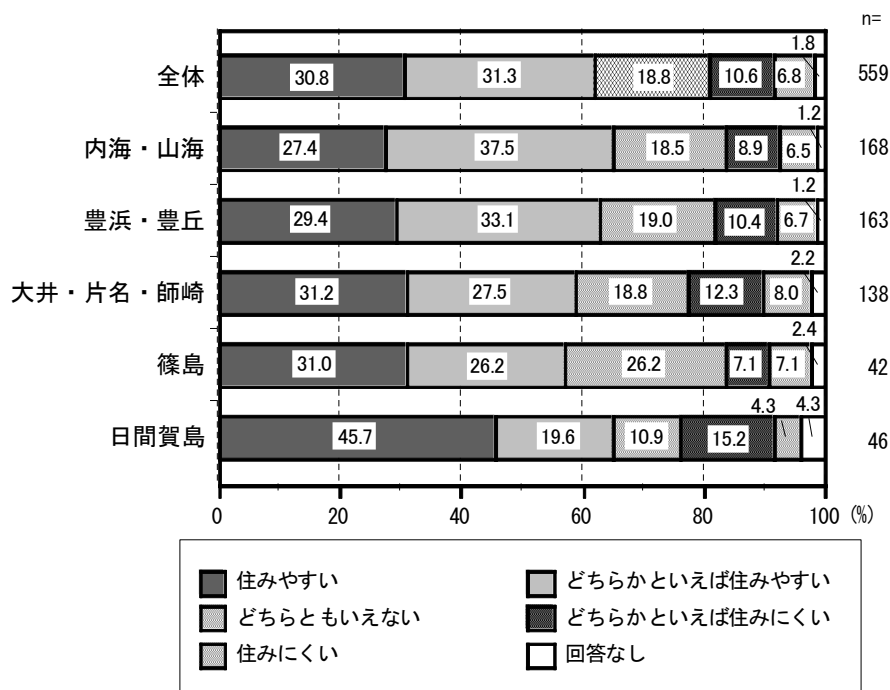


図2-3 居住地区別「南知多町の住み心地」



(2) 南知多町での居住意向

問9 あなたは、これからも南知多町に住み続けたいと思いますか。

南知多町での居住意向は、「永く住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を合わせて7割を超す人が住み続けることを希望しています。

- 南知多町での居住意向は、「永く住み続けたい」が51.7%と最も割合が高く、「当分は住み続けたい」(20.9%)と合わせて72.6%の人がこれからも住み続けたいと回答しています。一方、町外に移り住みたい人の割合は、「できれば町外に移り住みたい」(13.6%)と「すぐに町外に移り住みたい」(2.0%)を合わせて15.6%となっています(図2-4)。
- 前回調査(平成20年度)と比較すると、これからも住み続けたいとする人の割合は68.2%から72.6%へと増加しています。(図2-4)
- 年齢別にみると、若い人ほど町外に移り住みたい(「すぐに町外に移り住みたい」+「できれば町外に移り住みたい」と回答している人の割合が高く、20歳代以下では「すぐに町外に移り住みたい」(10.0%)、「できれば町外に移り住みたい」(30.0%)を合わせて40.0%の人が移り住みたいと考えています。一方で、60歳代以上の人は、住み続けたい(「永く住み続けたい」+「当分は住み続けたい」と回答している人の割合が8割を超えて高くなっています(図2-5)。
- 居住地区別にみると、日間賀島地区において「永く住み続けたい」と回答している人の割合が最も高く、67.4%となっています。(図2-6)。

図2-4 「南知多町での居住意向」前回調査比較

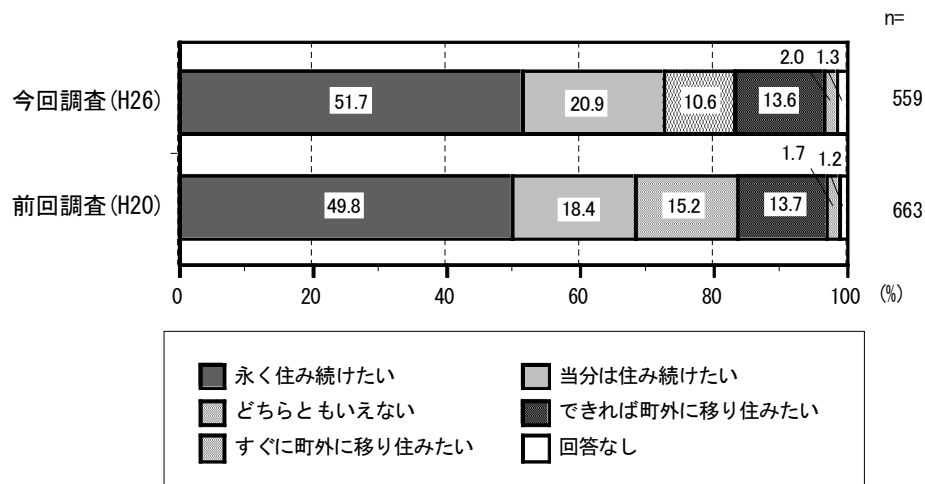


図2-5 年齢別「南知多町での居住意向」

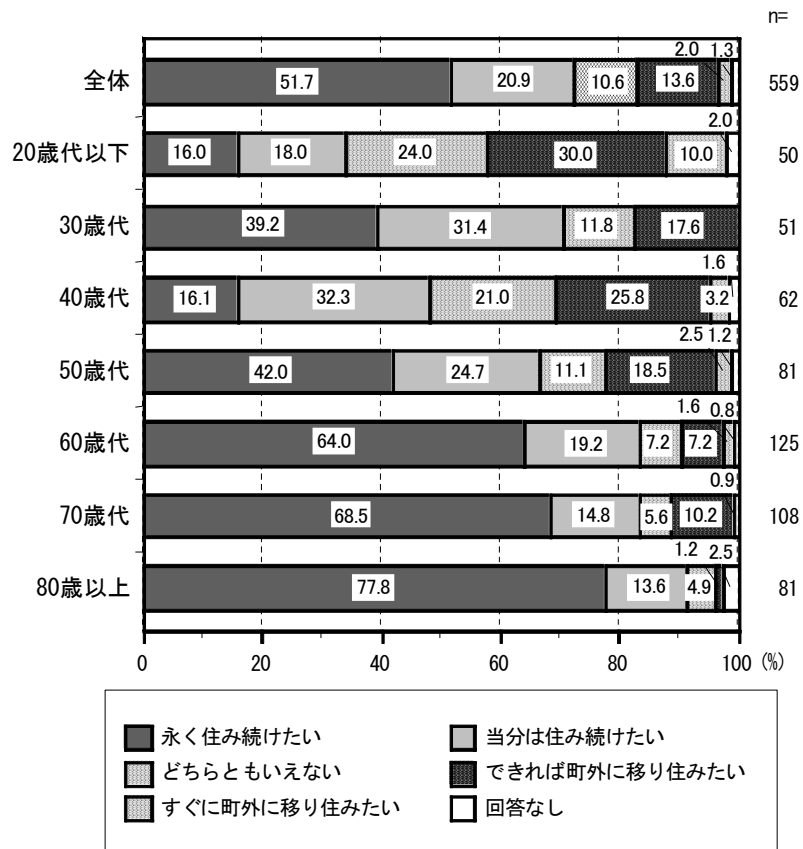
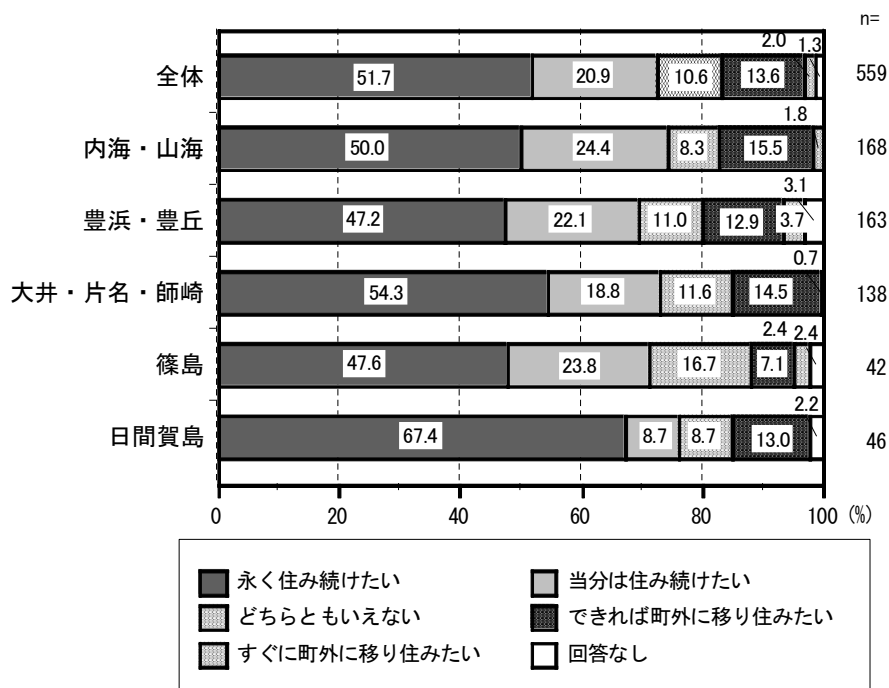


図2-6 居住地区別「南知多町での居住意向」



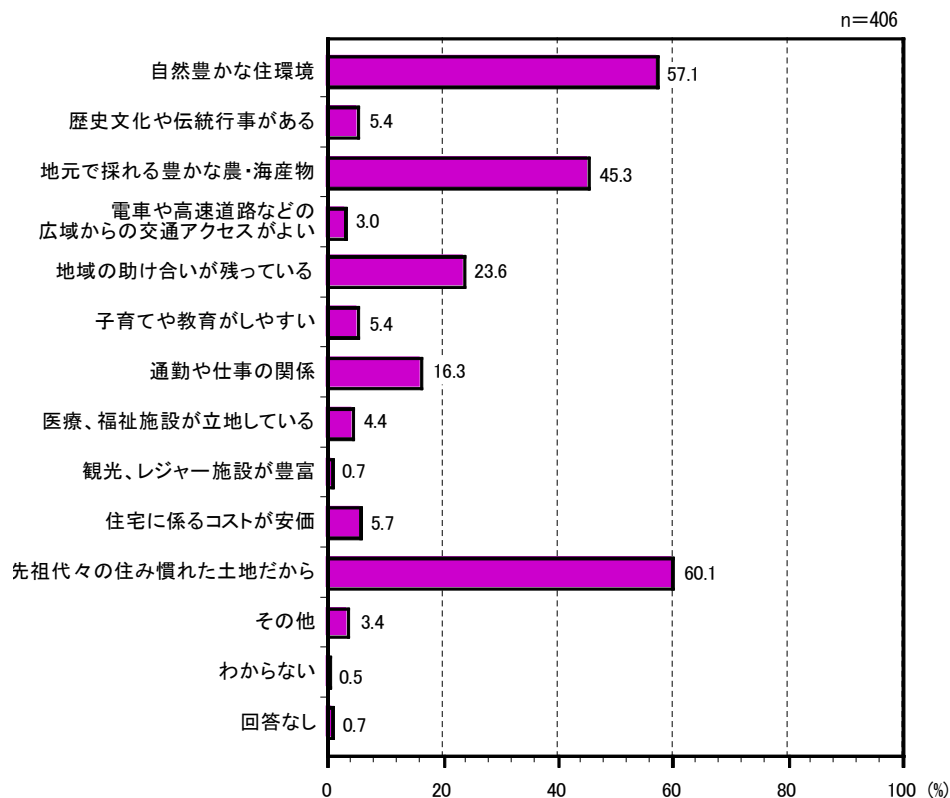
(3) 住み続けたい理由

問 9-1 あなたが、住み続けたい理由を教えてください。

南知多町に住み続けたい理由は、「先祖代々の住み慣れた土地だから」の割合が最も高く、次いで「自然豊かな住環境」となっています。

○住み続けたい理由は、「先祖代々の住み慣れた土地だから」が 60.1%と最も割合が高く、「自然豊かな住環境」が 57.1%、「地元で採れる豊かな農・海産物」が 45.3%と続き、南知多町の豊かな自然環境と落ち着いた住環境が愛されています。(図 2-7)。

図2-7 住み続けたい理由



(4) 町外に移り住みたい理由

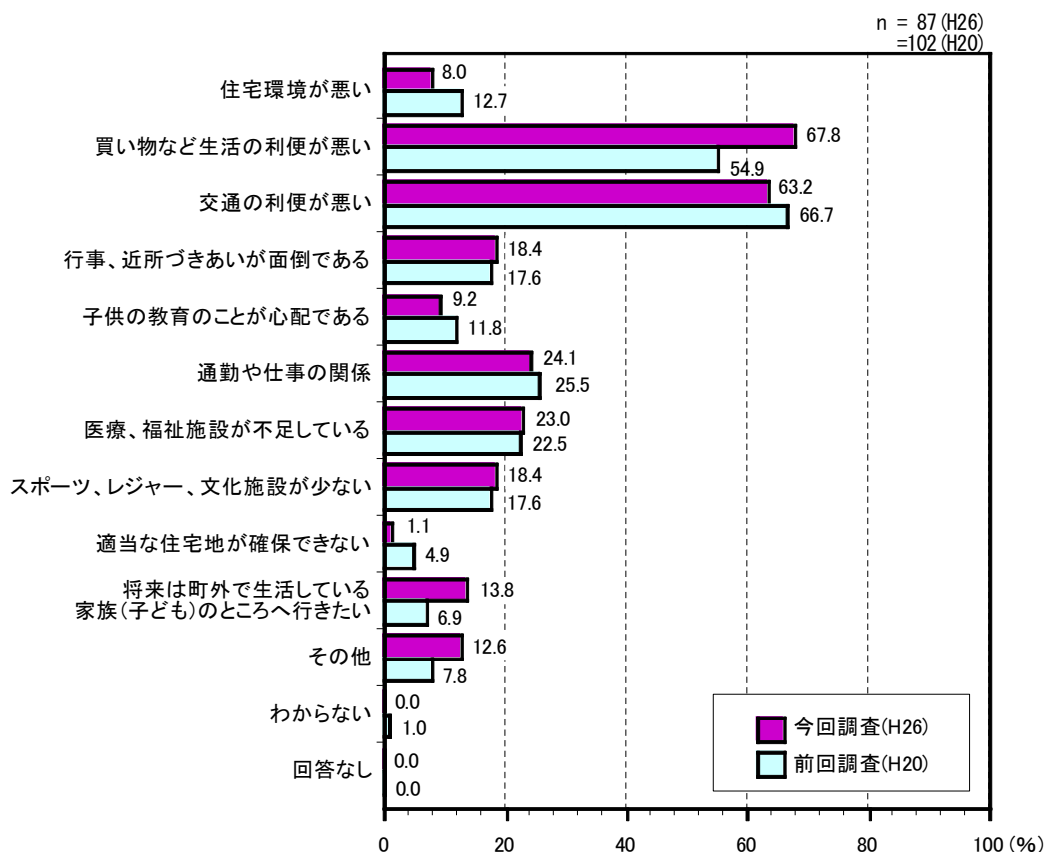
問 9-2 あなたが、町外に移り住みたい理由を教えてください。

町外に移り住みたい理由は、「買い物など生活の利便が悪い」と、「交通の利便が悪い」ことの割合が高くなっています。

○町外に移り住みたい理由は、「買い物など生活の利便が悪い」(67.8%) ことと、「交通の利便が悪い」(63.2%) ことの割合が高く、「通勤や仕事の関係」が 24.1%、「医療・福祉施設が不足している」が 23.0%と、続きます。(図 2-8)。

○前回調査(平成 20 年度)と比較すると、「買い物など生活の利便が悪い」が 54.9%から 67.8%と増加し、「住宅環境が悪い」が 12.7%から 8.0%へ、「適当な住宅地が確保できない」が 4.9%から 1.1%へと減少しています。

図2-8 「町外に移り住みたい理由」前回調査比較



第3章 町政への満足度・重要度

(1) 施策や生活環境への満足度・重要度

問 10 あなたは、(1)～(50)のそれぞれの項目について、どの程度満足されていますか。

施策や生活環境への満足度は全般的に低い状況ですが、その中で満足度が高いものは、「消防・救急体制」、「上水道の整備」となっています。一方、「公共交通機関(鉄道・バス)」、「雇用の機会・働く場の整備」は特に不満だとする人が多くなっています。

施策や生活環境への重要度は、「公共交通機関(鉄道・バス)」の重要度が最も高く、「保健施設・医療機関」、「消防・救急体制」、「医療サービス体制」、「雇用の機会・働く場の整備」、「介護サービス」、「高齢者福祉」と続いています。

- 南知多町の現状の満足度では、「満足」と「まあ満足」を合わせた回答は、「消防・救急体制」が 31.9%と最も割合が高く、次いで「上水道の整備」(28.1%)、「ごみの減量化・リサイクルの施策」(22.5%)、「道路と橋の整備」(20.4%)、「職員の窓口対応」(20.4%)となっています(図 3-1)。
- 一方、「やや不満」と「不満」を合わせた回答は、「公共交通機関(鉄道・バス)」が 47.9%と最も割合が高く、次いで「雇用の機会・働く場の整備」(36.6%)、「下水・排水施設の整備」(30.3%)、「観光振興」(27.4%)、「図書室の整備」(25.6%)、「保健施設・医療機関」(25.2%)と続いています(図 3-1)。
- 総じて満足度は低い状況ですが、全体的に「普通」という回答割合が最も高い項目が多く、不満は感じていないものの、満足できる水準かどうか分からないという回答が多いものと考えられます。また、「わからない」という回答割合が最も高い項目も7項目あります(図 3-1)。
- 前回調査(平成 20 年度)と比較すると、満足度の上位4項目は順位が入れ替わりながらも同じ項目に、「職員の窓口対応」が 10.7%から 20.4%と満足度が高くなり、加わっています(図 3-1、3-2、3-5)。
- 南知多町の現状の重要度では、「重要」と「まあ重要」を合わせた回答は、「公共交通機関(鉄道・バス)」が 55.9%と最も割合が高く、「保健施設・医療機関」(54.9%)、「消防・救急体制」(54.9%)、「医療サービス体制」(49.6%)、「雇用の機会・働く場の整備」(49.6%)、「介護サービス」(49.0%)、「高齢者福祉」(46.7%)と続いています。満足度の低かった公共交通機関や、保健施設・医療機関、雇用の場の整備などにおいて重要度が高い項目が多くなっています(図 3-3)。
- 各項目とも、「あまり重要でない」と「重要でない」の回答率は低くなっています。「重要」と「まあ重要」を合わせた回答割合が低い項目は、「国際交流・外国人対策」といった直接の関係者が少ない項目で低くなっているほか、「男女共同参画」や「文化芸術活動」など日常生活に直結しない項目も低くなっています(図 3-3)。
- 前回調査(平成 20 年度)と比較すると、上位5項目は順位が入れ替わりながらも同じとなっています(図 3-3、3-4、3-6)。

図3-1-1 H26 満足度①

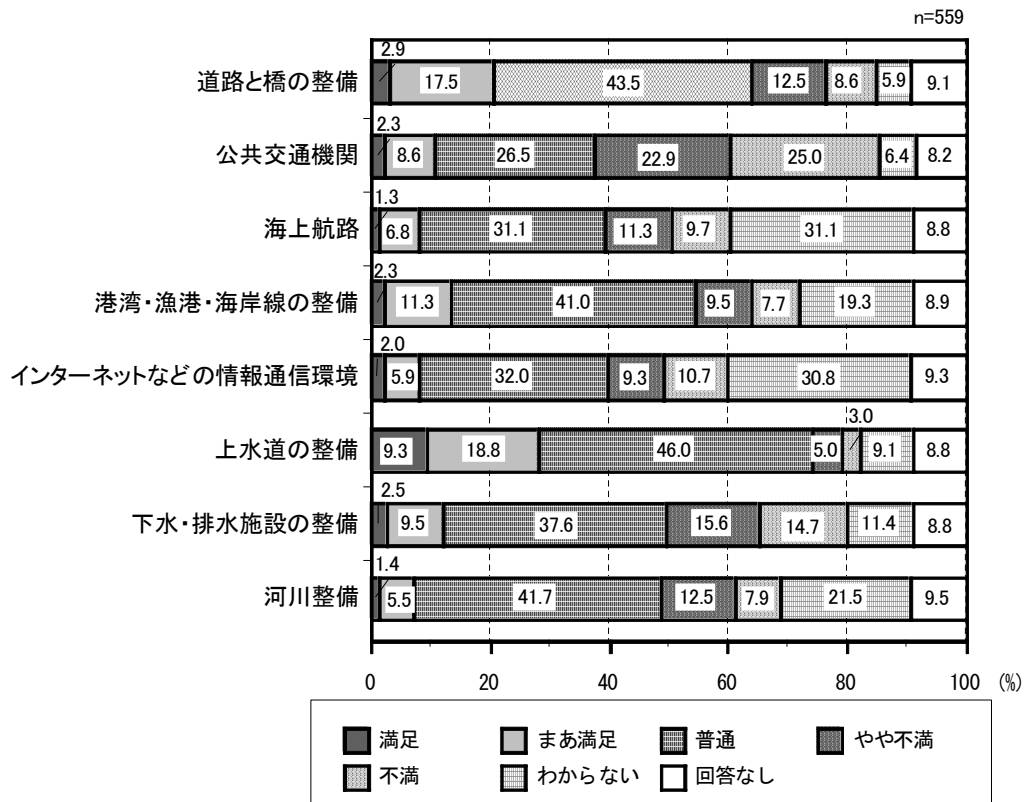


図3-2-1 H20 満足度①

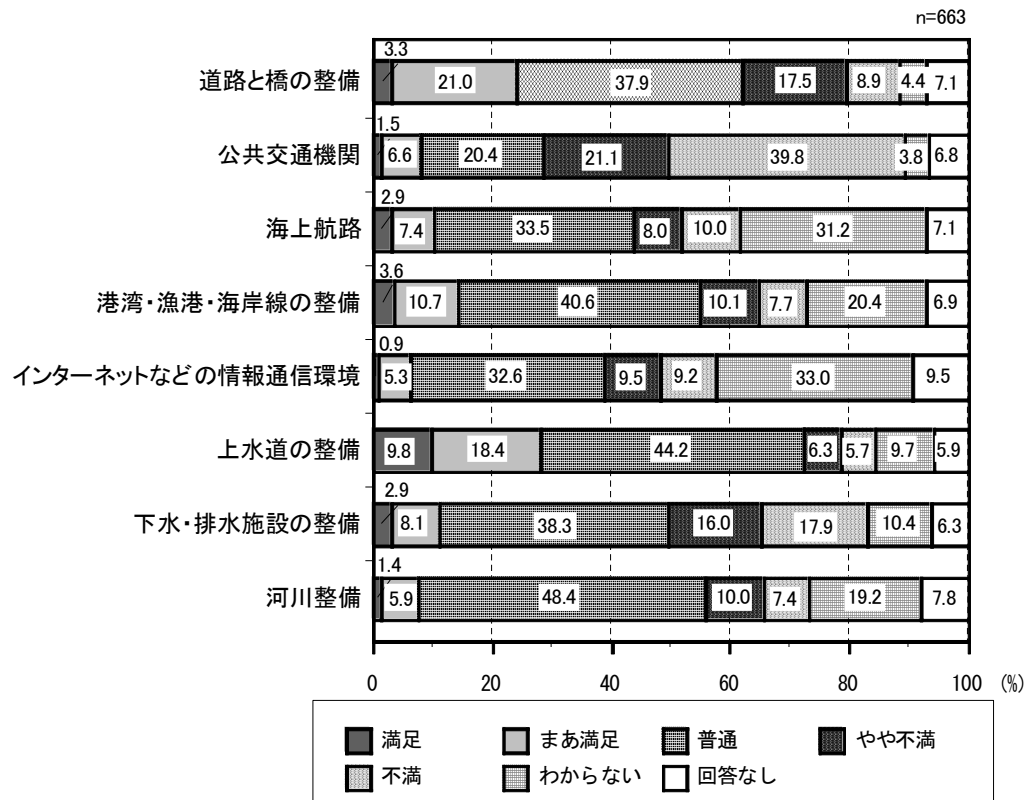


図 3-1-2 H26 満足度②

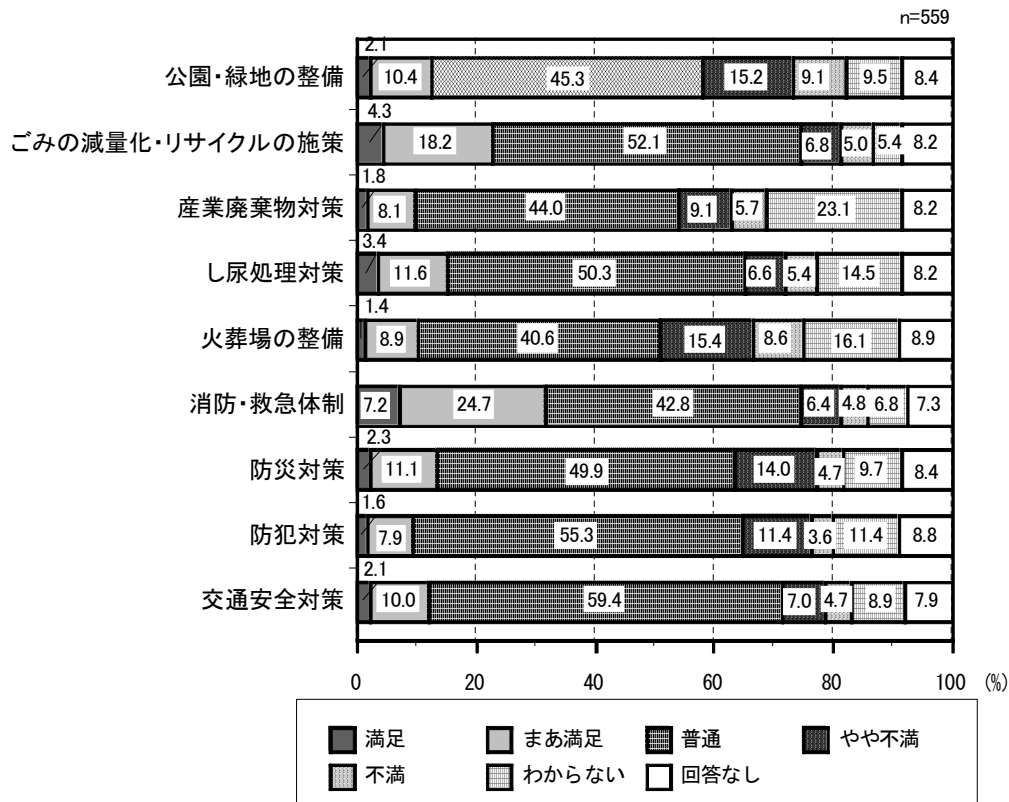


図 3-2-2 H20 満足度②

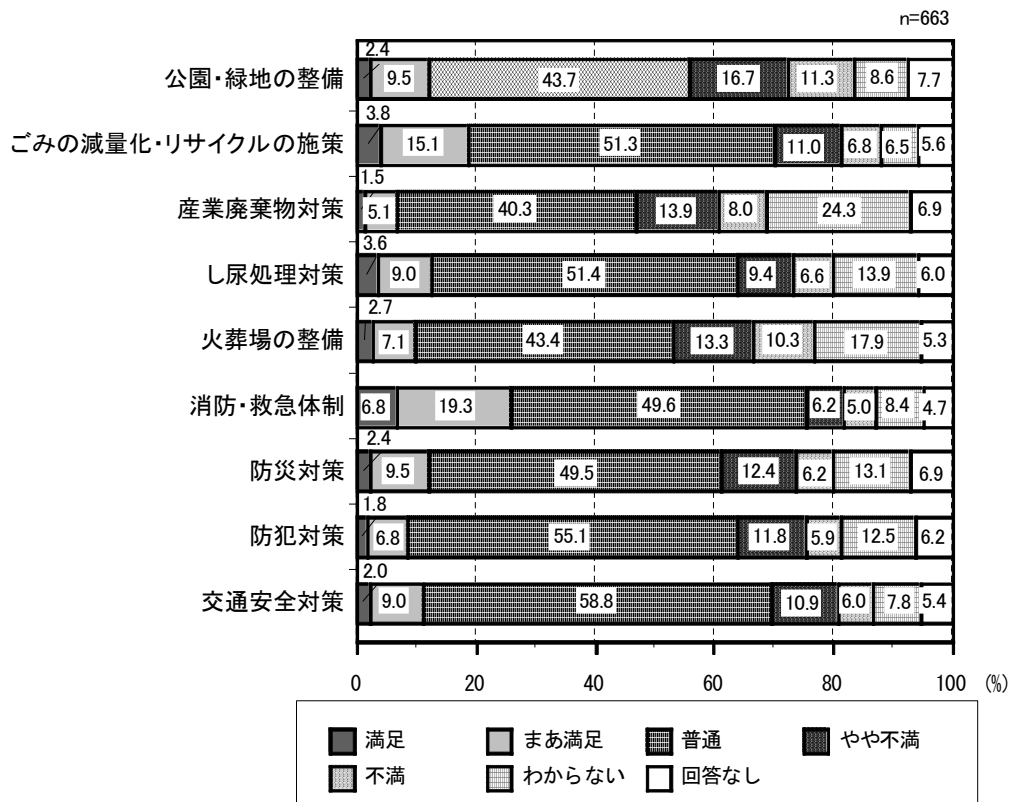


図 3-1-3 H26 満足度③

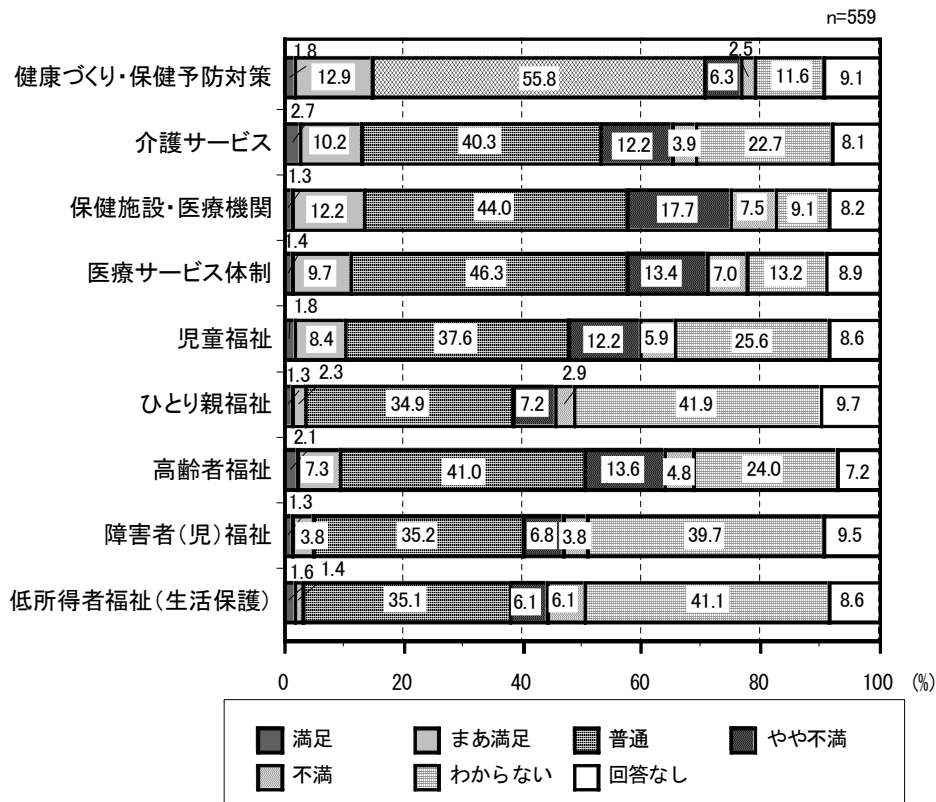


図 3-2-3 H20 満足度③

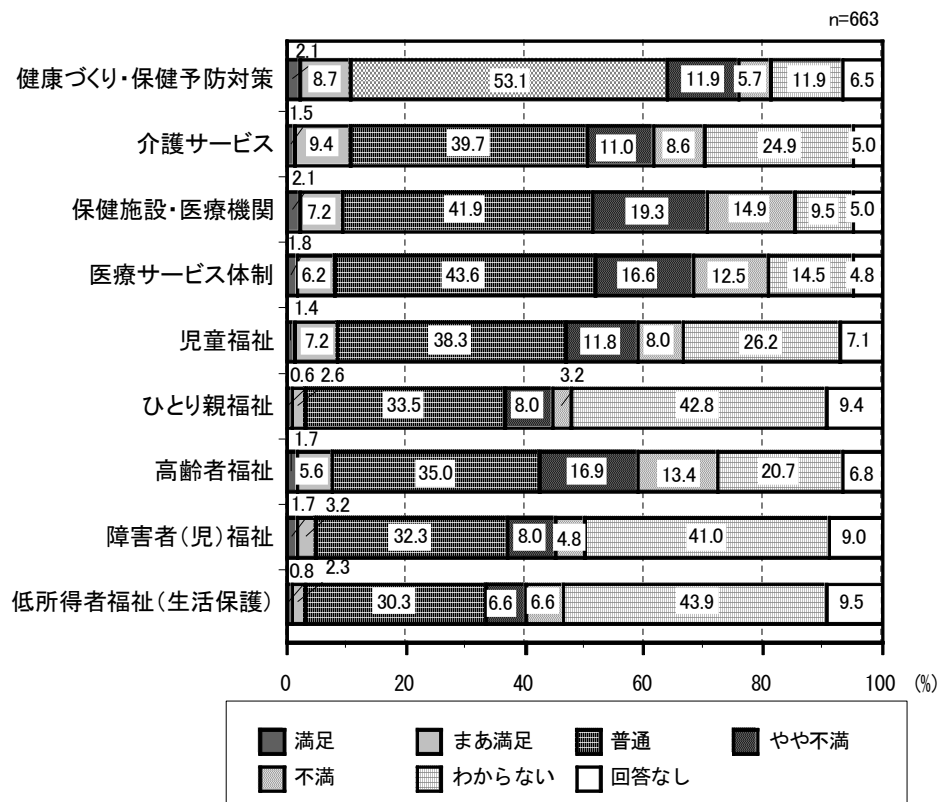


図 3-1-4 H26 満足度④

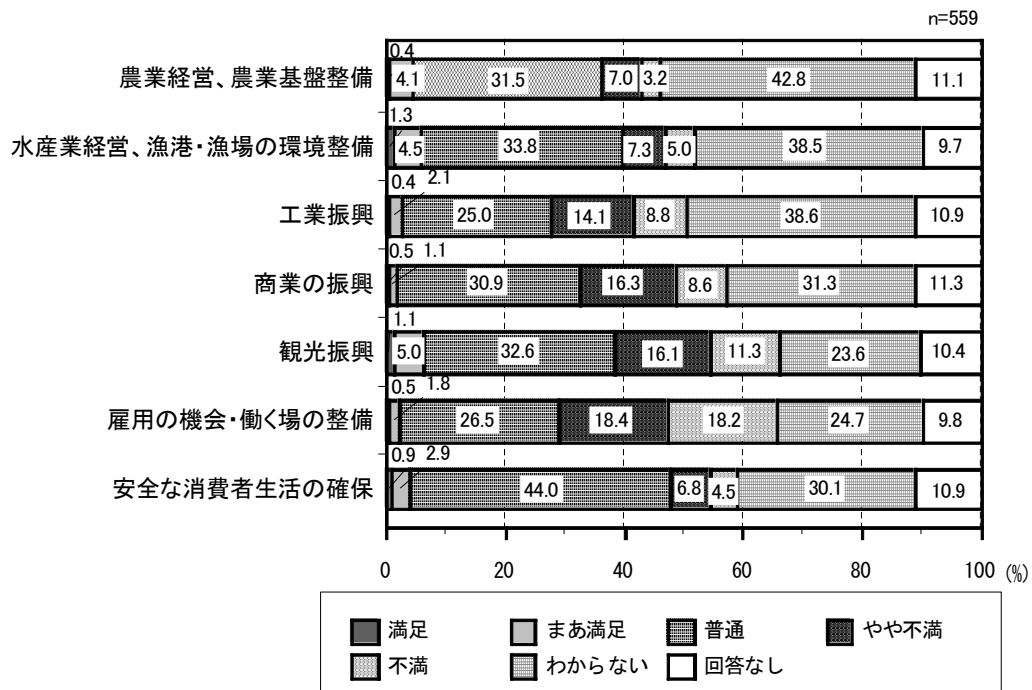


図 3-2-4 H20 満足度④

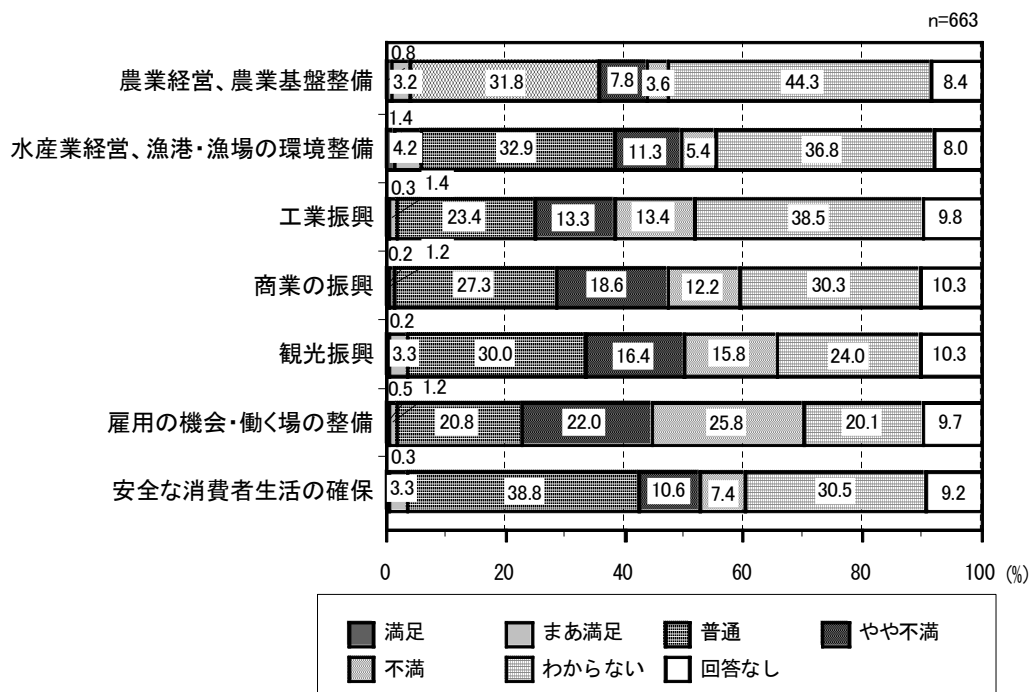


図 3-1-5 H26 満足度⑤

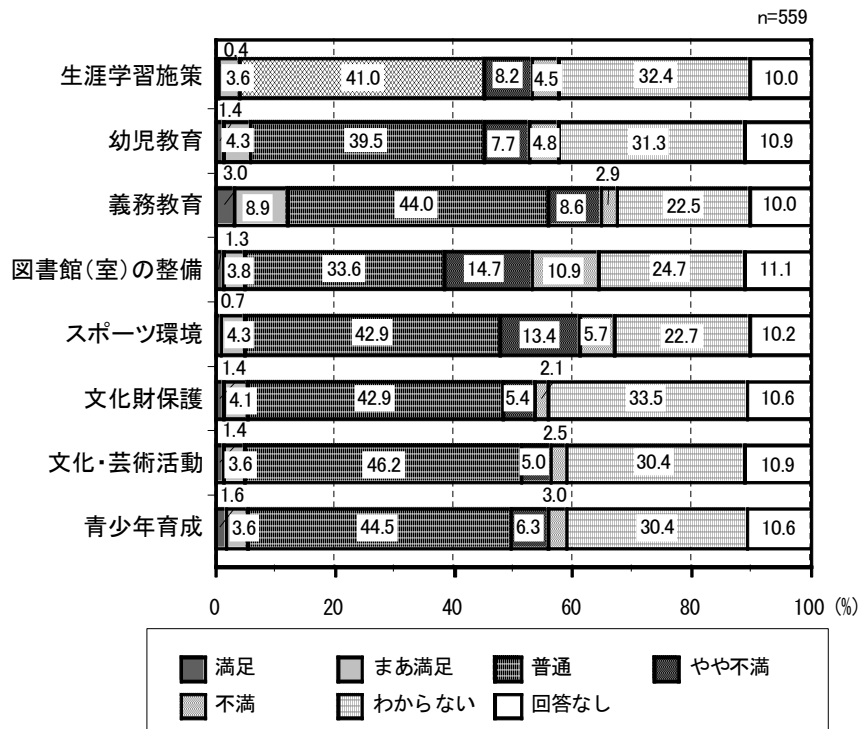


図 3-2-5 H20 満足度⑤

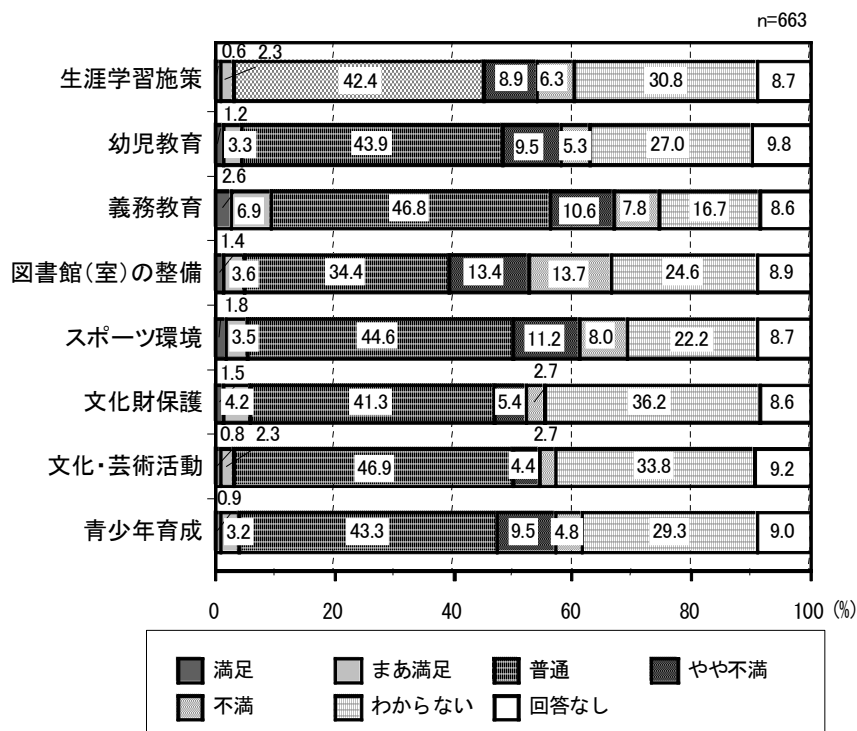


図 3-1-6 H26 満足度⑥

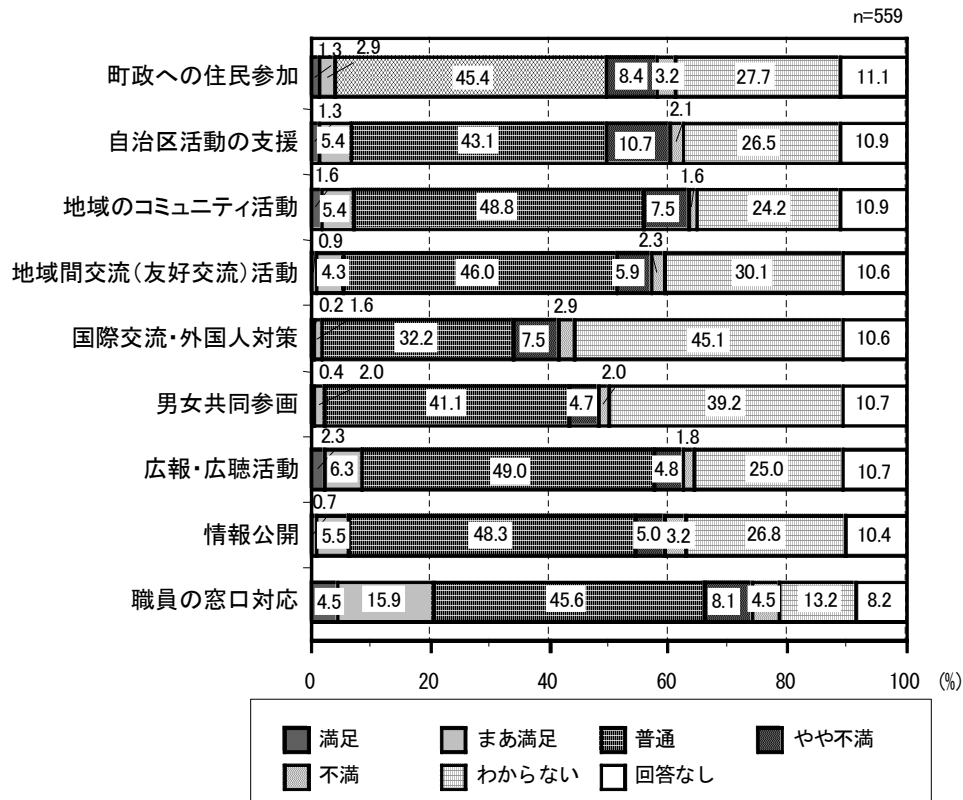


図 3-2-6 H20 満足度⑥

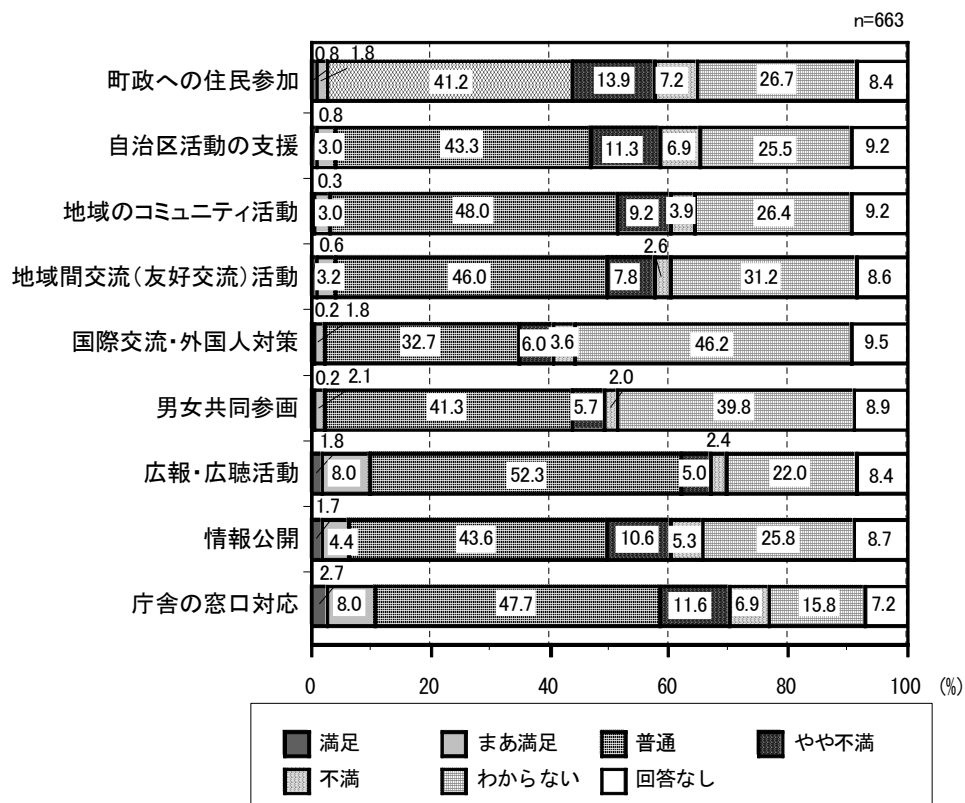


図 3-3-1 H26 重要度①

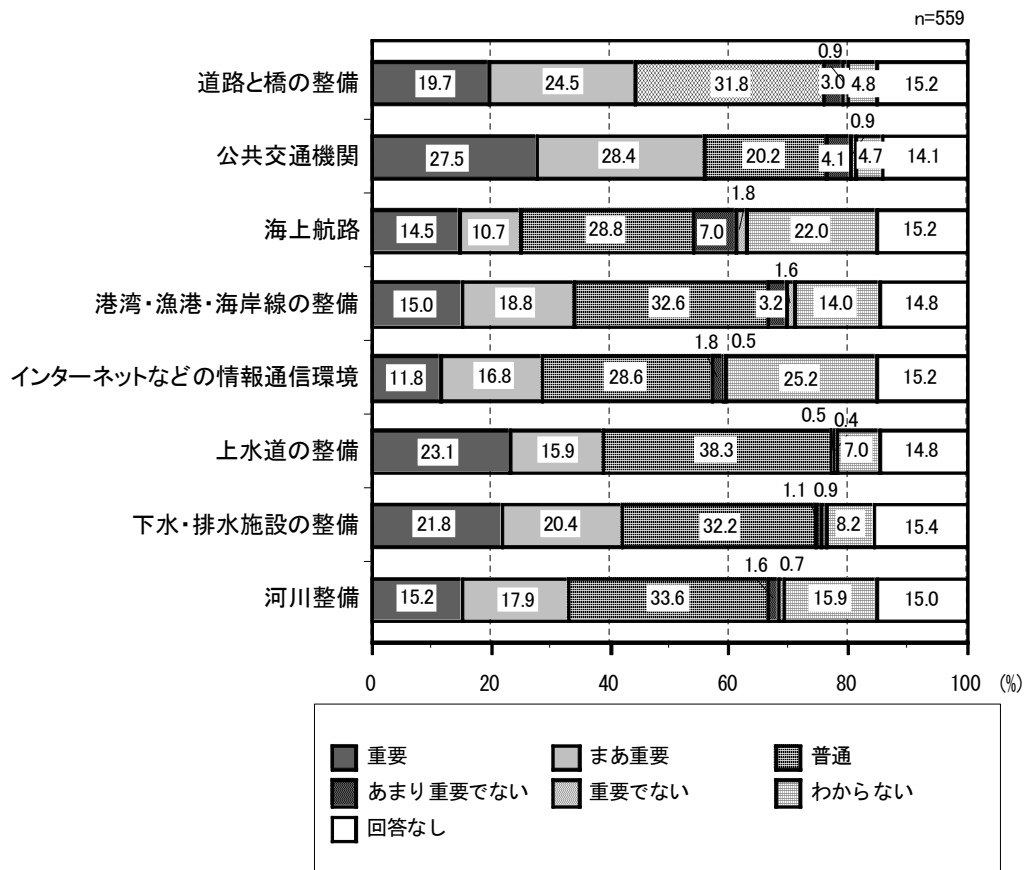


図 3-4-1 H20 重要度①

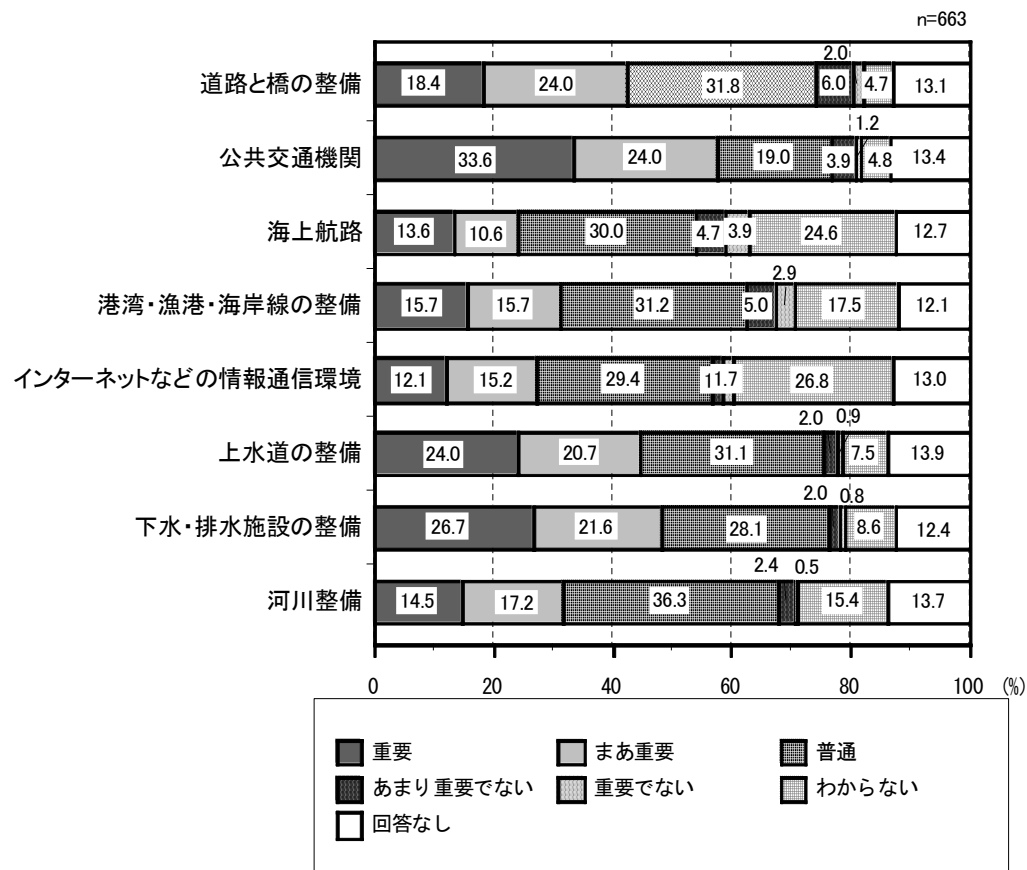


図 3-3-2 H26 重要度②

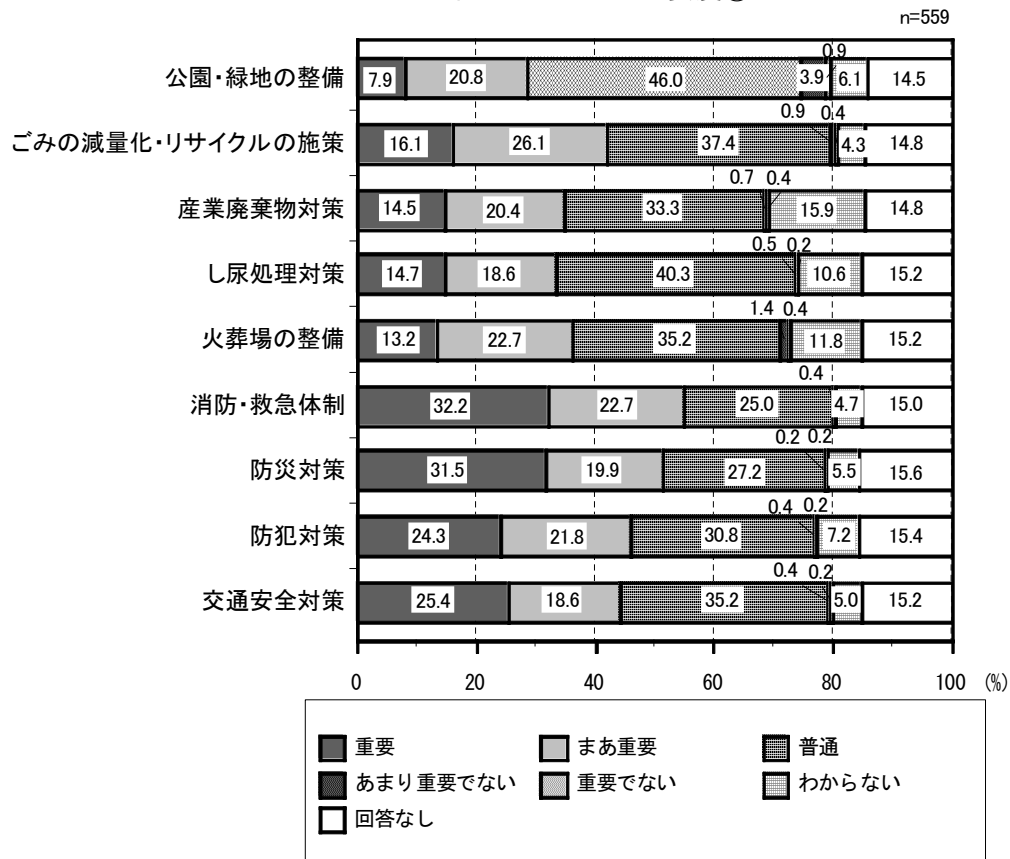


図 3-4-2 H20 重要度②

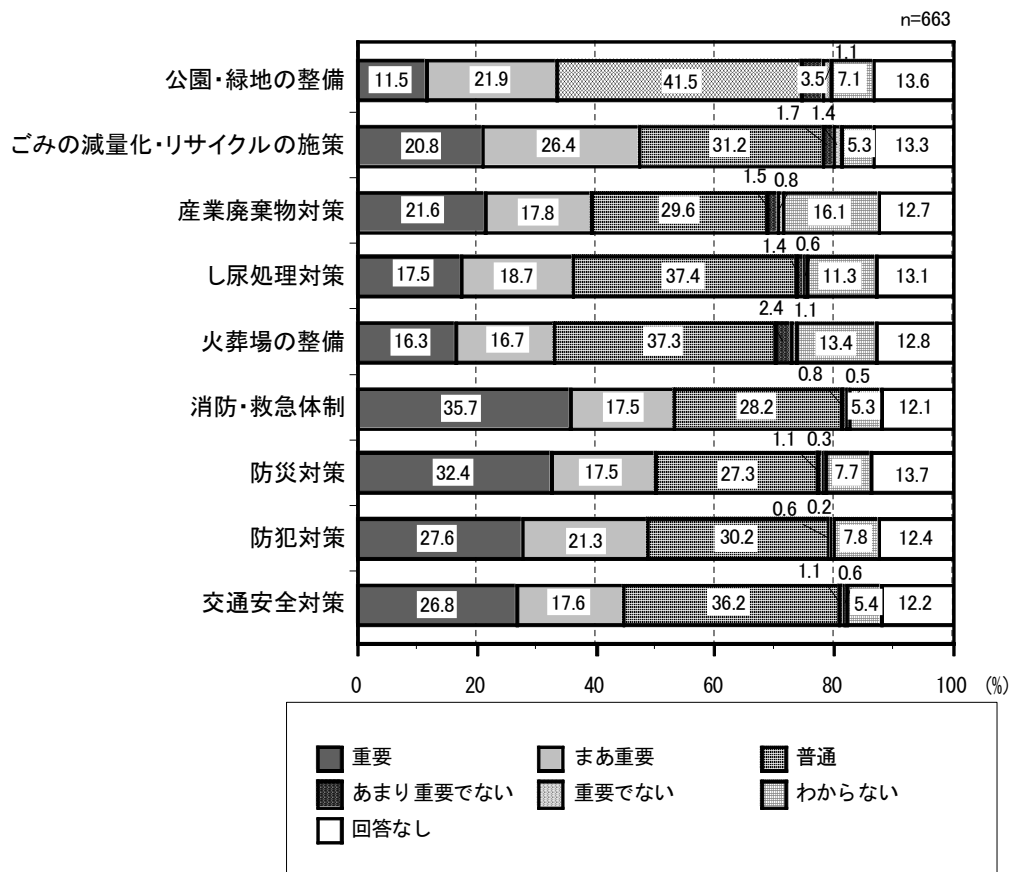


図 3-3-3 H26 重要度③

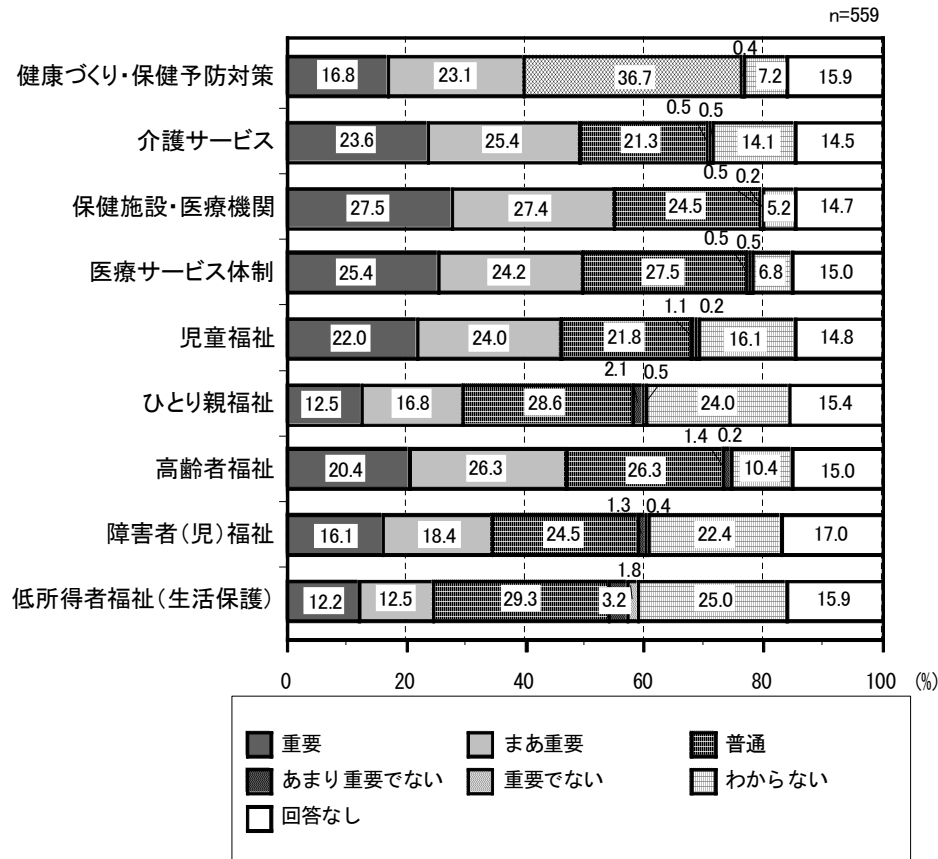


図 3-4-3 H20 重要度③

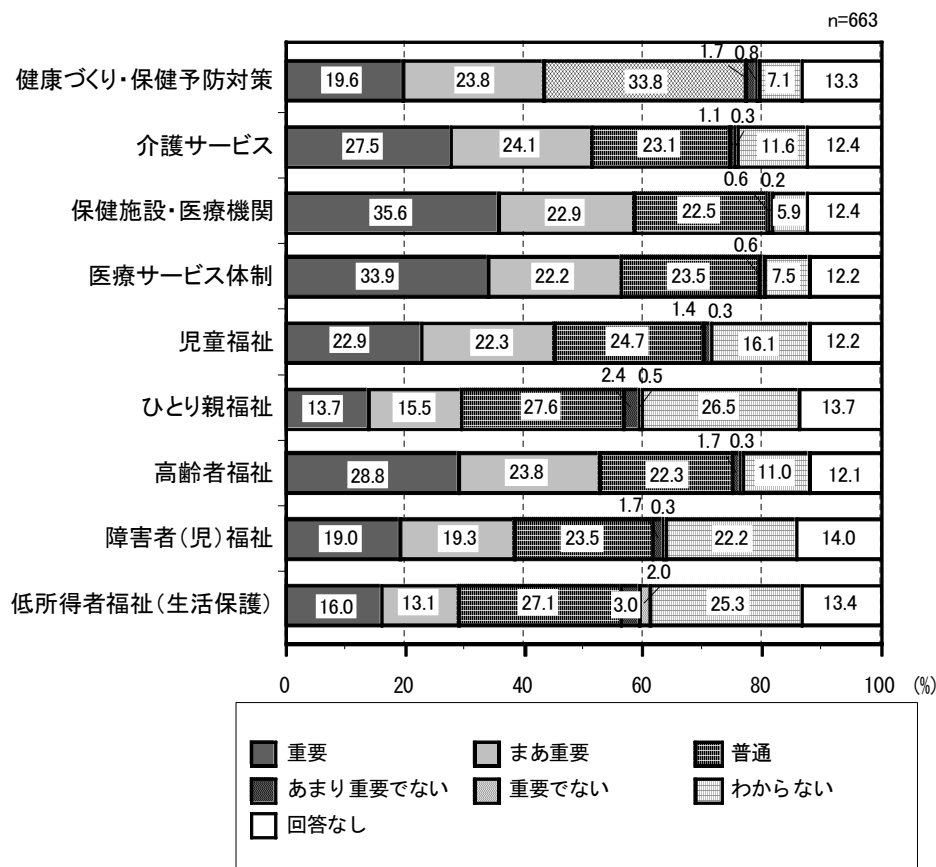


図 3-3-4 H26 重要度④

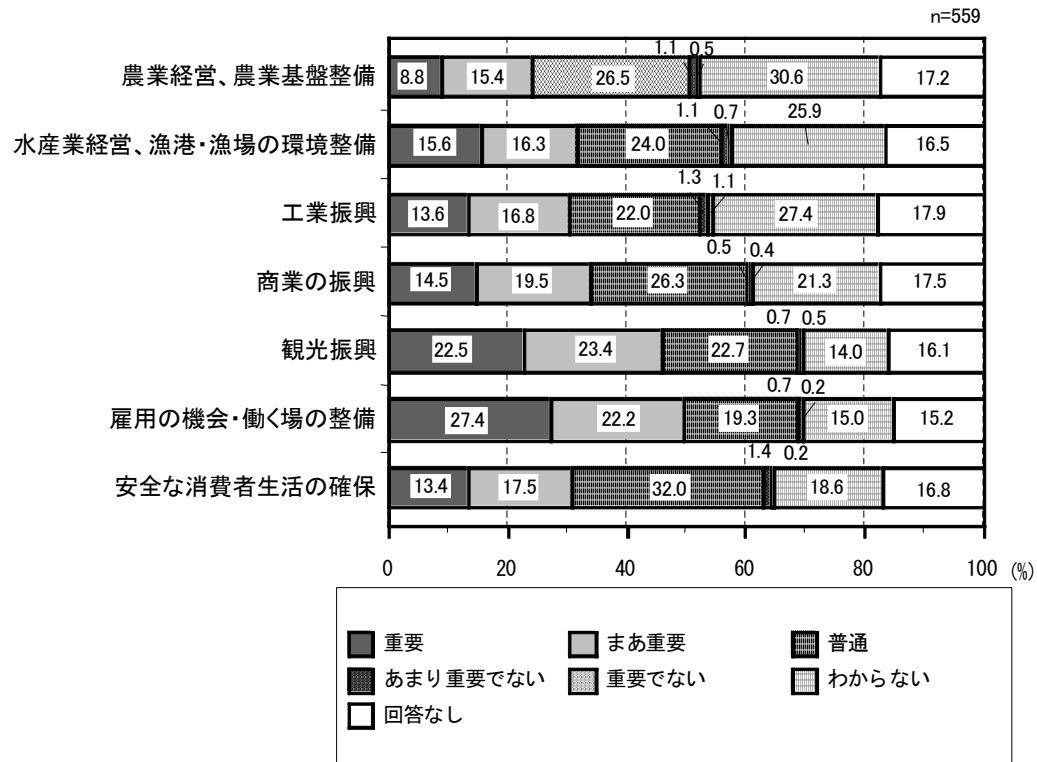


図 3-4-4 H20 重要度④

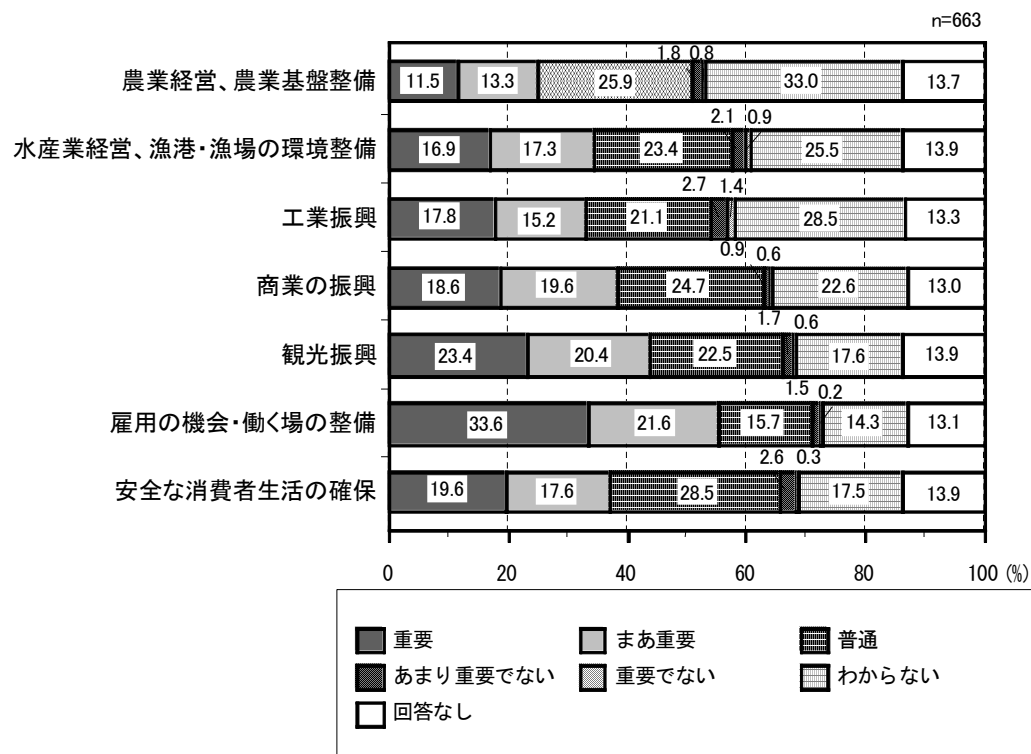


図 3-3-5 H26 重要度⑤

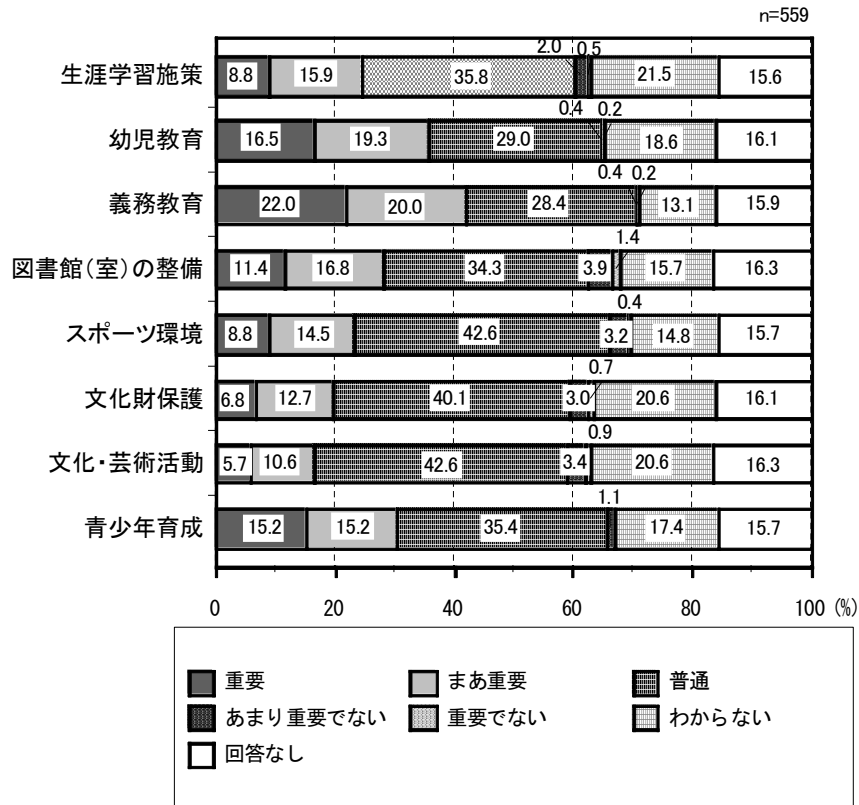


図 3-4-5 H20 重要度⑤

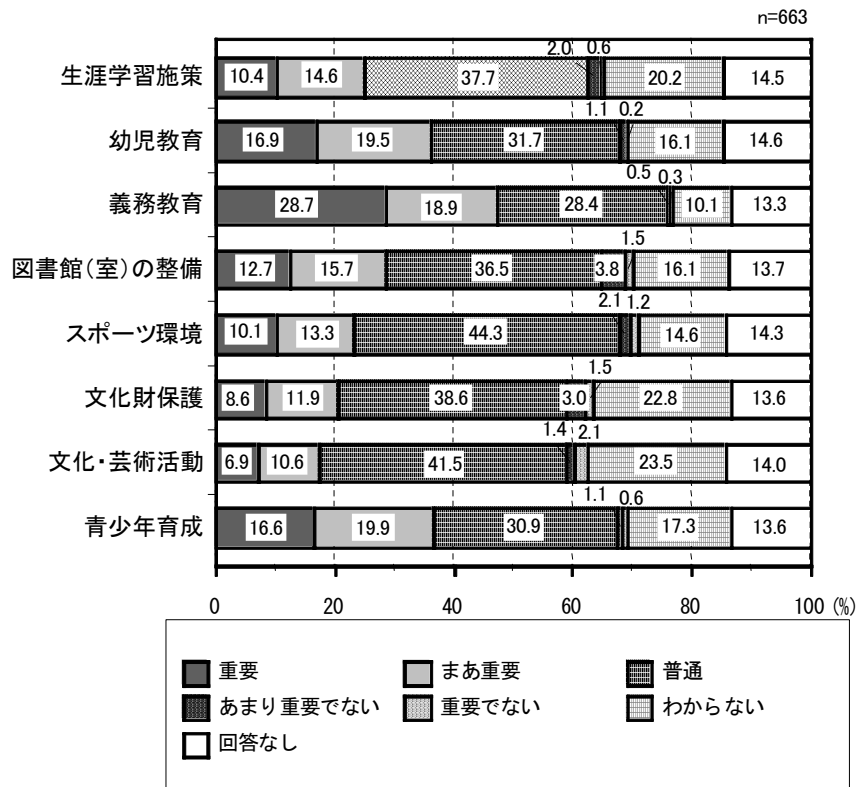


図 3-3-6 H26 重要度⑥

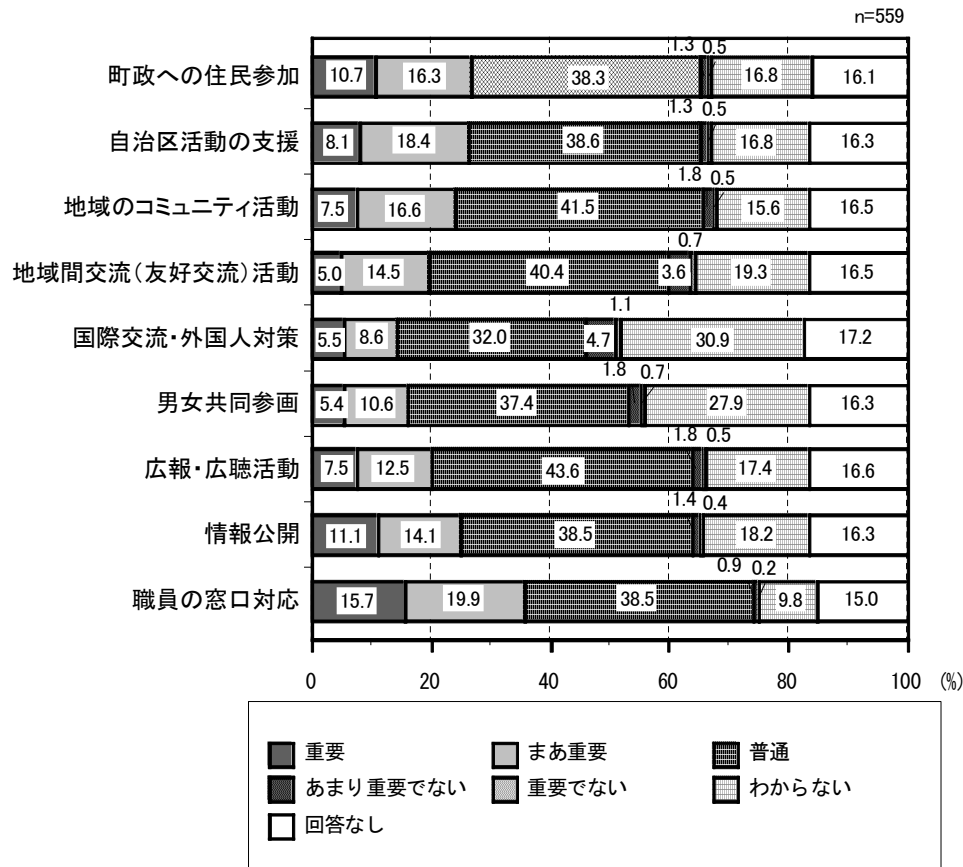


図 3-4-6 H20 重要度⑥

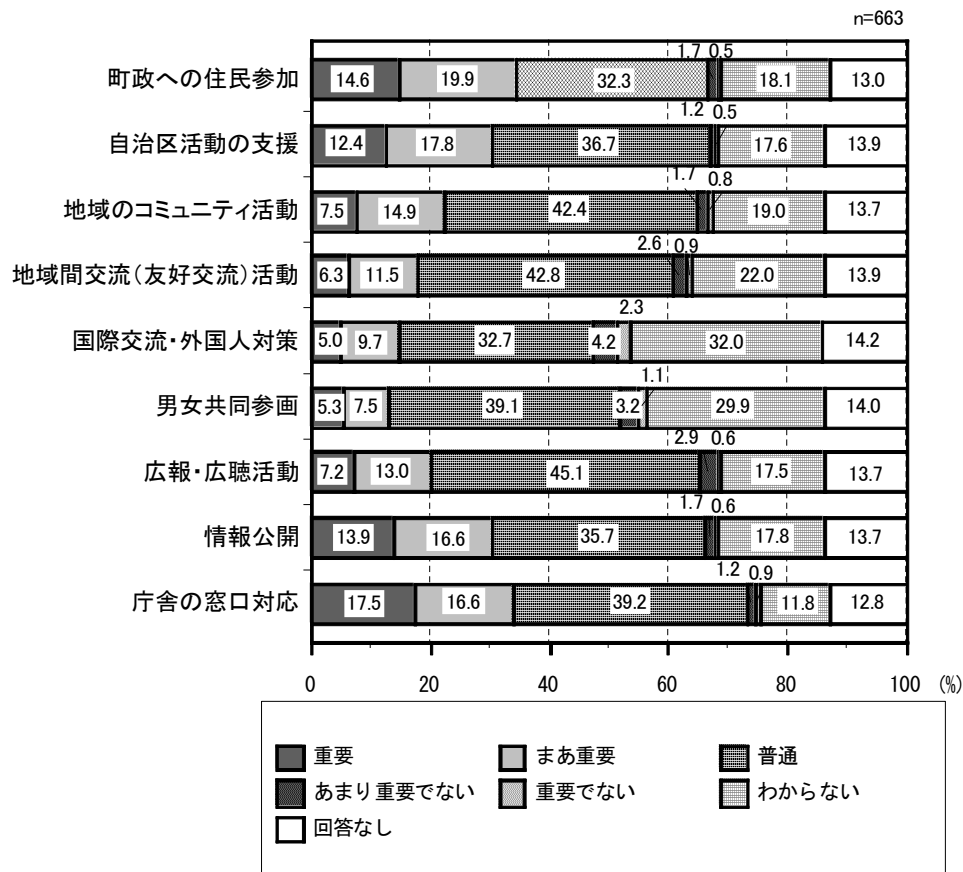


図 3-5 満足度（前回調査比較）

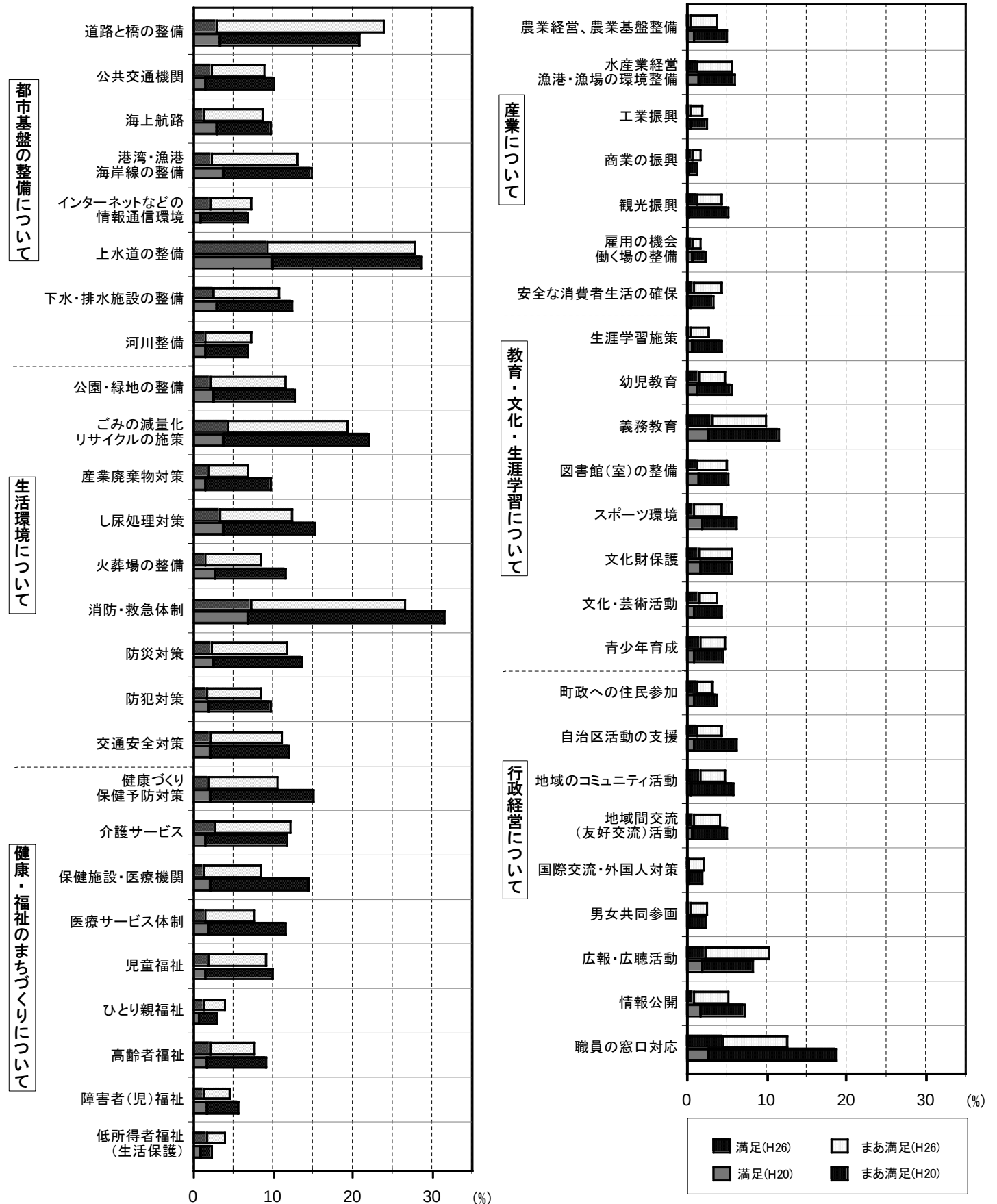
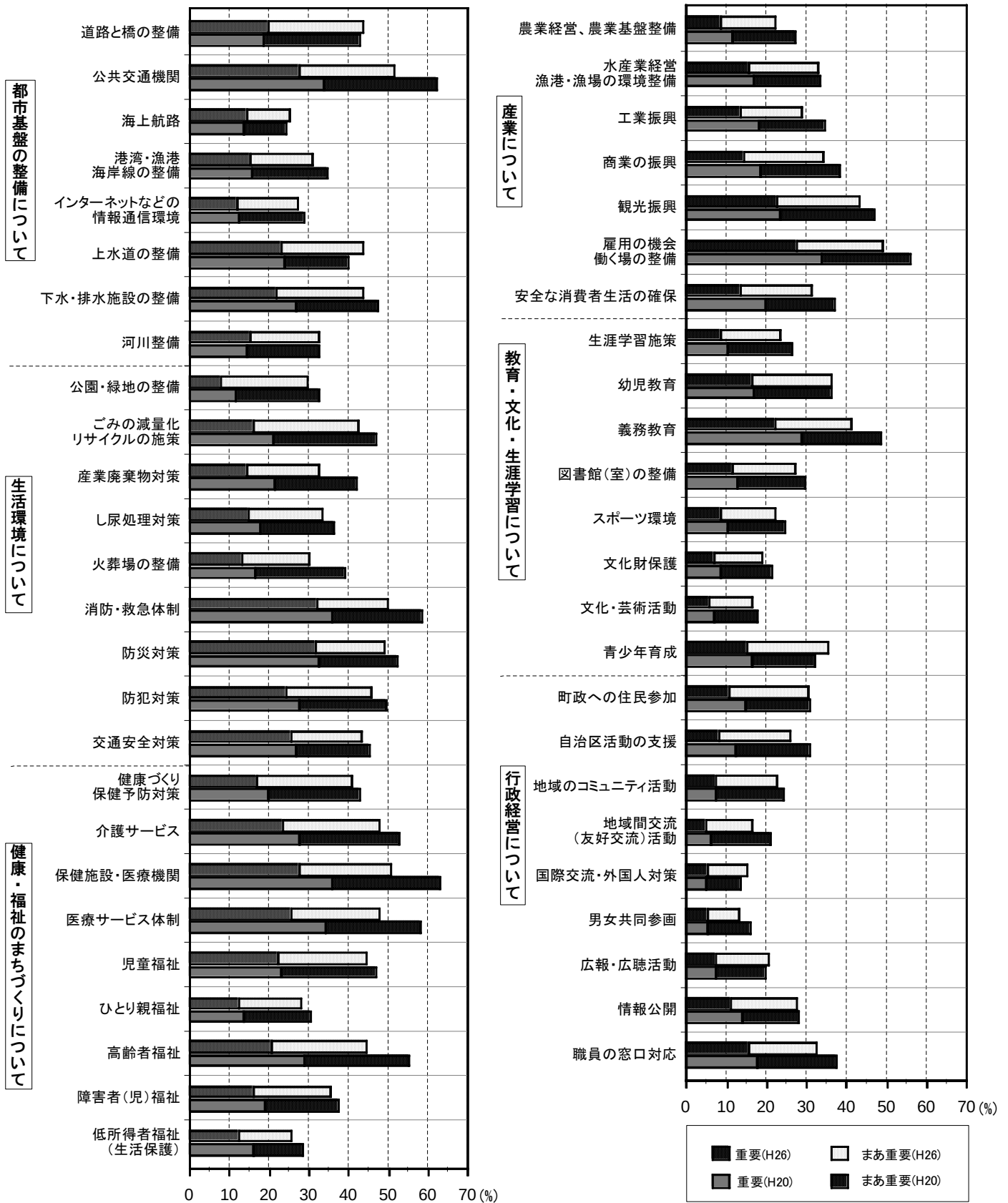


図 3-6 重要度（前回調査比較）



(2) 施策や生活環境への満足度・重要度（平均得点比較）

【満足度・重要度の平均得点の算出方法】

町で実施している施策や日常生活などに関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により5段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を仕様として、満足度と重要度の分析を行いました。なお、平均得点は、+2に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に-2に近いほど満足度が低い（不満度が高い）、または重要度が低いことを示しています。

満足度	重要度	得点（評点）
満足	重要	+2点
まあ満足	まあ重要	+1点
どちらともいえない	どちらともいえない	±0点
やや不満	あまり重要でない	-1点
不満	重要でない	-2点

満足度の平均得点

= {「満足」の回答者数×(+2点) + 「まあ満足」の回答者数×(+1点) + 「どちらともいえない」の回答者数×(0点) + 「やや不満」の回答者数×(-1点) + 「不満」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

重要度の平均得点

= {「重要」の回答者数×(+2点) + 「まあ重要」の回答者数×(+1点) + 「どちらともいえない」の回答者数×(0点) + 「あまり重要でない」の回答者数×(-1点) + 「重要でない」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

【満足度(居住地区別)】

-
- プラス評価の項目は、「上水道の整備」、「ごみの減量化・リサイクルの施策」、「し尿処理対策」、「消防・救急体制」、「健康づくり・保健予防対策」、「義務教育（小中学校）」、「広報・広聴活動」、「職員の窓口対応」の50項目中8項目となっています（表3-1）。
- 一方、マイナス評価の項目は、50項目中42項目あります。その中でも、「雇用の機会・働く場の整備」、「公共交通機関（鉄道・バス）」、「工業振興」、「商業の振興」、「観光振興」など町の活性化や発展に関する満足度の低さが目立ちます。また、図書館の整備に対する満足度も低くなっています（表3-1）。
- 各居住地区の評点が全体に比べて0.3ポイント以上高くなっている項目をみると、内海・山海地区では「公共交通機関（鉄道・バス）」が、日間賀島地区では「下水・排水施設の整備」、「し尿処理対策」が満足度の高い項目となっています。特に、日間賀島地区の「下水・排水施設の整備」においては全体よりも0.56ポイント高くなっており、他の地区に比べると非常に高い満足度を得ています（表3-1）。
- 一方、各地区の評点が全体に比べて0.3ポイント以上低くなっている項目をみると、内海・山海地区、豊浜・豊丘地区、大井・片名・師崎地区ではないのですが、篠島・日間賀島の両地区では「海上航路」、「水産業経営、漁業・漁場の環境整備」、「保健施設・医療機関」、「医療サービス体制」、「高齢者福祉」の満足度が低くなっています。さらに篠島地区では「道路と橋の整備」、「公園・緑地の整備」、「産業廃棄物対策」、「火葬場の整備」、「消防・救急体制」、「防災対策」、「港湾・漁湾・海岸線の整備」、「低所得者福祉」、「観光振興」、「雇用の機会・働く場の整備」、「職員の窓口対応」が、日間賀島地区では「障害者（児）福祉」が満足度の低い項目となっています（表3-1）。
-

表 3-1 満足度(居住地区別)

満足度	全体	内海 山海	豊浜 豊丘	大井 片名 師崎	篠島	日間 賀島
平均	-0.17	-0.17	-0.14	-0.15	-0.36	-0.20
(1)道路と橋の整備	-0.08	0.05	-0.04	-0.02	-0.75	-0.22
(2)公共交通機関(鉄道・バス)	-0.7	-0.29	-0.94	-0.91	-0.75	-0.64
(3)海上航路	-0.35	-0.2	-0.3	-0.12	-0.95	-0.7
(4)港湾・漁港・海岸線の整備	-0.12	-0.24	-0.01	-0.06	-0.43	0.1
(5)インターネットなどの情報通信環境	-0.35	-0.59	-0.12	-0.21	-0.29	-0.74
(6)上水道の整備	0.32	0.37	0.34	0.23	0.3	0.33
(7)下水・排水施設の整備	-0.38	-0.54	-0.36	-0.39	-0.29	0.18
(8)河川整備	-0.29	-0.44	-0.31	-0.17	-0.05	0
(9)公園・緑地の整備	-0.23	-0.17	-0.28	-0.07	-0.65	-0.29
(10)ごみの減量化・リサイクルの施策	0.12	0.16	0.17	0.06	-0.08	0.15
(11)産業廃棄物対策	-0.13	-0.01	0.03	-0.26	-0.53	-0.28
(12)し尿処理対策	0.01	-0.02	0.05	-0.04	-0.12	0.38
(13)火葬場の整備	-0.28	-0.3	-0.31	-0.08	-0.73	-0.3
(14)消防・救急体制	0.27	0.47	0.29	0.23	-0.34	0.22
(15)防災対策	-0.09	-0.08	-0.11	-0.03	-0.41	0.06
(16)防犯対策	-0.09	-0.14	-0.19	0.03	-0.03	0
(17)交通安全対策	-0.02	-0.03	-0.02	0.1	-0.29	-0.15
(18)健康づくり・保健予防対策	0.07	0.05	0.08	0.11	-0.03	0.03
(19)介護サービス	-0.06	-0.02	0.02	-0.14	-0.11	-0.26
(20)保健施設・医療機関	-0.22	-0.13	-0.11	-0.16	-0.71	-0.66
(21)医療サービス体制	-0.19	-0.09	-0.13	-0.13	-0.65	-0.5
(22)児童福祉(保育所、子育て支援)	-0.18	-0.03	-0.29	-0.13	-0.44	-0.19
(23)ひとり親(母子・父子)福祉	-0.17	-0.07	-0.2	-0.17	-0.2	-0.3
(24)高齢者福祉	-0.17	-0.14	-0.06	-0.15	-0.48	-0.5
(25)障害者(児)福祉	-0.16	-0.1	-0.09	-0.17	-0.29	-0.55
(26)低所得者福祉(生活保護)	-0.27	-0.2	-0.14	-0.37	-0.57	-0.36
(27)農業経営、農業基盤整備	-0.19	-0.31	-0.08	-0.09	-0.38	-0.27
(28)水産業経営、漁港・漁場の環境整備	-0.2	-0.15	-0.02	-0.22	-0.52	-0.5
(29)工業振興(企業誘致を含む)	-0.57	-0.78	-0.38	-0.51	-0.44	-0.79
(30)商業の振興	-0.55	-0.7	-0.45	-0.5	-0.44	-0.47
(31)観光振興	-0.48	-0.67	-0.34	-0.3	-0.83	-0.28
(32)雇用の機会・働く場の整備	-0.8	-0.82	-0.6	-0.86	-1.32	-0.7
(33)安全な消費者生活の確保	-0.19	-0.12	-0.14	-0.26	-0.24	-0.4
(34)生涯学習施策	-0.22	-0.19	-0.33	-0.12	-0.3	-0.24
(35)幼児教育	-0.18	-0.11	-0.2	-0.21	-0.38	0.05
(36)義務教育(小中学校)	0.01	0.1	-0.04	-0.1	-0.03	0.21
(37)図書館(室)の整備	-0.47	-0.53	-0.56	-0.33	-0.5	-0.3
(38)スポーツ環境	-0.29	-0.38	-0.2	-0.3	-0.38	-0.12
(39)文化財保護	-0.05	-0.07	-0.04	0	-0.08	-0.12
(40)文化・芸術活動	-0.06	-0.09	-0.07	0.01	-0.05	-0.19
(41)青少年育成	-0.09	-0.09	-0.1	-0.01	-0.25	-0.2
(42)町政への住民参加	-0.15	-0.13	-0.12	-0.2	-0.25	-0.21
(43)自治区活動の支援	-0.11	-0.18	-0.07	-0.02	-0.24	-0.18
(44)地域のコミュニティ活動	-0.03	-0.02	-0.04	0.01	-0.2	-0.05
(45)地域間交流(友好交流)活動	-0.08	-0.1	0	-0.04	-0.28	-0.17
(46)国際交流・外国人対策	-0.25	-0.29	-0.2	-0.3	-0.36	-0.13
(47)男女共同参画	-0.12	-0.09	-0.1	-0.19	-0.33	0.1
(48)広報・広聴活動	0.04	0.04	0.03	0.03	0	0.16
(49)情報公開	-0.07	-0.08	-0.03	-0.12	-0.13	0
(50)職員の窓口対応	0.1	0.06	0.25	0.05	-0.23	0.1

【満足度(年齢別)】

- 年齢別に、各世代の評点が全体に比べて0.3ポイント以上高くなっている項目をみると、20歳代以下、50歳代、70歳代には一項目もなく、30歳代、40歳代において「工業振興（企業誘致を含む）」、60歳代では「インターネットなどの情報通信環境」、80歳以上では「保健施設・医療機関」、「医療サービス体制」が満足度の高い項目となっています（表3-2）。
 - 一方、各世代の評点が全体に比べて0.3ポイント以上低くなっている項目をみると、20歳代以下では「インターネットなどの情報通信環境」が-0.52ポイントと目立って低い他、「商業の振興」も満足度が低くなっています。30歳代では「保健施設・医療機関」、「児童福祉（保育所、子育て支援）」、「ひとり親（母子・父子）福祉」、「義務教育（小中学校）」といずれも子育てに関する項目において、満足度が低くなっています（表3-2）。
 - 50歳代では「公共交通機関」、「消防・救急体制」、「防災対策」に対する満足度が低くなっています（表3-2）。
 - 40歳代と60歳以上においては極端に満足度の低い項目はありません（表3-2）。
-

表 3-2 満足度(年齢別)

満足度	全体	20歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80歳 以上
平均	-0.17	-0.20	-0.23	-0.16	-0.29	-0.14	-0.13	-0.10
(1)道路と橋の整備	-0.08	0.11	-0.31	-0.2	-0.22	0.03	-0.08	0.12
(2)公共交通機関(鉄道・バス)	-0.7	-0.78	-0.65	-0.98	-1.04	-0.58	-0.47	-0.52
(3)海上航路	-0.35	-0.16	-0.41	-0.26	-0.61	-0.38	-0.3	-0.26
(4)港湾・漁港・海岸線の整備	-0.12	-0.26	-0.3	0.06	-0.1	-0.13	-0.17	0
(5)インターネットなどの情報通信環境	-0.35	-0.87	-0.45	-0.5	-0.23	0.03	-0.27	-0.3
(6)上水道の整備	0.32	0.39	0.13	0.2	0.22	0.43	0.36	0.4
(7)下水・排水施設の整備	-0.38	-0.34	-0.25	-0.21	-0.62	-0.36	-0.42	-0.39
(8)河川整備	-0.29	-0.25	-0.3	-0.25	-0.39	-0.18	-0.48	-0.16
(9)公園・緑地の整備	-0.23	-0.2	-0.46	-0.17	-0.32	-0.19	-0.2	-0.09
(10)ごみの減量化・リサイクルの施策	0.12	0	0	0.02	-0.09	0.27	0.21	0.23
(11)産業廃棄物対策	-0.13	-0.13	-0.05	-0.08	-0.21	0	-0.4	0
(12)し尿処理対策	0.01	0	-0.08	0.04	-0.25	-0.05	0.15	0.3
(13)火葬場の整備	-0.28	-0.29	-0.07	-0.17	-0.56	-0.29	-0.23	-0.22
(14)消防・救急体制	0.27	0.14	0.11	0.16	-0.1	0.39	0.49	0.47
(15)防災対策	-0.09	-0.05	-0.02	-0.09	-0.49	-0.06	0.05	0.06
(16)防犯対策	-0.09	-0.13	-0.07	-0.2	-0.23	-0.13	0.02	0.11
(17)交通安全対策	-0.02	-0.15	0.02	-0.1	-0.17	0.01	0.05	0.13
(18)健康づくり・保健予防対策	0.07	0	-0.16	-0.02	-0.04	0.13	0.24	0.08
(19)介護サービス	-0.06	0.09	-0.11	-0.23	-0.26	-0.03	-0.03	0.16
(20)保健施設・医療機関	-0.22	-0.27	-0.52	-0.4	-0.48	-0.16	0	0.14
(21)医療サービス体制	-0.19	-0.26	-0.39	-0.43	-0.45	-0.13	0.06	0.12
(22)児童福祉(保育所、子育て支援)	-0.18	-0.45	-0.6	-0.2	-0.41	0.04	0.06	0.03
(23)ひとり親(母子・父子)福祉	-0.17	-0.06	-0.48	-0.14	-0.16	-0.12	-0.08	-0.21
(24)高齢者福祉	-0.17	0	-0.14	-0.17	-0.34	-0.12	-0.22	-0.02
(25)障害者(児)福祉	-0.16	0.06	-0.33	-0.29	-0.29	-0.08	-0.07	-0.06
(26)低所得者福祉(生活保護)	-0.27	-0.29	-0.27	-0.24	-0.23	-0.26	-0.43	-0.11
(27)農業経営、農業基盤整備	-0.19	-0.3	-0.15	-0.2	-0.27	-0.17	-0.07	-0.21
(28)水産業経営、漁港・漁場の環境整備	-0.2	-0.39	-0.28	-0.15	-0.38	-0.1	-0.08	-0.14
(29)工業振興(企業誘致を含む)	-0.57	-0.76	-0.19	-0.18	-0.63	-0.63	-0.85	-0.69
(30)商業の振興	-0.55	-0.92	-0.37	-0.31	-0.55	-0.51	-0.66	-0.63
(31)観光振興	-0.48	-0.58	-0.47	-0.25	-0.65	-0.54	-0.42	-0.4
(32)雇用の機会・働く場の整備	-0.8	-0.61	-0.68	-0.69	-1	-0.89	-0.71	-0.83
(33)安全な消費者生活の確保	-0.19	-0.07	-0.09	-0.02	-0.22	-0.21	-0.17	-0.53
(34)生涯学習施策	-0.22	-0.09	-0.23	-0.05	-0.27	-0.3	-0.19	-0.33
(35)幼児教育	-0.18	-0.29	-0.39	-0.15	-0.19	-0.25	0.04	-0.03
(36)義務教育(小中学校)	0.01	0.03	-0.32	-0.02	0.03	-0.07	0.21	0.15
(37)図書館(室)の整備	-0.47	-0.74	-0.39	-0.46	-0.48	-0.4	-0.41	-0.56
(38)スポーツ環境	-0.29	-0.47	-0.44	-0.38	-0.24	-0.14	-0.24	-0.3
(39)文化財保護	-0.05	-0.04	0	0.05	-0.06	-0.05	-0.11	-0.09
(40)文化・芸術活動	-0.06	-0.07	-0.03	0.07	-0.13	-0.06	0	-0.24
(41)青少年育成	-0.09	-0.1	0	0.04	-0.07	-0.1	-0.14	-0.36
(42)町政への住民参加	-0.15	-0.33	-0.15	-0.13	-0.34	-0.08	-0.09	0
(43)自治区活動の支援	-0.11	-0.04	-0.15	-0.1	-0.24	-0.1	-0.04	-0.11
(44)地域のコミュニティ活動	-0.03	0.06	-0.11	0	-0.11	-0.07	0.04	-0.03
(45)地域間交流(友好交流)活動	-0.08	0.03	-0.13	0	-0.15	-0.08	-0.14	0.03
(46)国際交流・外国人対策	-0.25	-0.12	-0.21	-0.15	-0.33	-0.36	-0.3	-0.07
(47)男女共同参画	-0.12	-0.04	-0.23	-0.11	-0.16	-0.05	-0.14	-0.13
(48)広報・広聴活動	0.04	-0.07	-0.03	0.15	-0.12	0.07	0.12	0.12
(49)情報公開	-0.07	-0.14	-0.06	0.04	-0.1	-0.11	-0.1	0
(50)職員の窓口対応	0.1	0.1	-0.17	0.05	0	0.06	0.25	0.36

【重要度(居住地区別)】

-
- 全項目がプラス評価となっています。その中でも重要度が高い項目は、満足度の低い項目であげた、雇用の場・機会の整備や医療施設や体制、公共交通機関の重要度が高まっているとともに、消防・救急体制、防災・防犯対策や義務教育、観光施策に関する項目の重要度が高くなっています（表 3-3）。
 - 居住地区別に比較すると、「海上航路」について居住地区による差が大きく、篠島地区や日間賀島地区において全体よりも 1.0 ポイント以上高くなっています（表 3-3）。
 - 篠島地区、日間賀島地区では、全体と比べて 0.2 ポイント以上差がある項目が多く、両地区とも、「港湾・漁港・海岸線の整備」と「水産業経営、漁港・漁場の環境整備」、「消防・救急体制」、「防災対策」「保健施設・医療機関」「低所得者福祉（生活保護）」「義務教育（小中学校）」の重要度は高くなっています（表 3-3）。
 - また、篠島地区においては、「公園・緑地の整備」、「児童福祉(保育所、子育て支援)」、「ひとり親（母子・父子）福祉」、「観光振興」、「雇用の場・働く機会の整備」、「生涯学習施策」「青少年育成」、「職員の窓口対応」の重要度が高くなっています。日間賀島地区では、「交通安全対策」、「医療サービス体制」、「障害者(児)福祉」、「地域間交流（友好交流）活動」の重要度が高くなっています（表 3-3）。
-

1. 【重要度(年齢別)】

○年齢別で比較すると、各世代の評点が全体に比べて0.3ポイント以上高くなっている項目は、20歳代以下では「インターネットなどの情報通信環境」の重要度が、30歳代では「公園・緑地の整備」の重要度が、80歳以上では「工業振興」、「安全な消費者生活の確保」、「文化財保護」の重要度が高くなっています（表3-4）。

表 3-3 重要度(居住地区別)

重要度	全体	内海 山海	豊浜 豊丘	大井 片名 師崎	篠島	日間 賀島
平均	0.68	0.65	0.66	0.65	0.84	0.82
(1)道路と橋の整備	0.74	0.8	0.69	0.69	0.88	0.72
(2)公共交通機関(鉄道・バス)	0.96	0.84	0.96	1.07	1.11	0.96
(3)海上航路	0.46	0.17	0.2	0.34	1.65	1.34
(4)港湾・漁港・海岸線の整備	0.6	0.55	0.5	0.5	1.19	0.88
(5)インターネットなどの情報通信環境	0.63	0.74	0.55	0.52	0.76	0.73
(6)上水道の整備	0.78	0.7	0.93	0.71	0.64	0.88
(7)下水・排水施設の整備	0.8	0.78	0.84	0.72	0.93	0.93
(8)河川整備	0.66	0.69	0.67	0.58	0.8	0.55
(9)公園・緑地の整備	0.39	0.4	0.44	0.17	0.76	0.46
(10)ごみの減量化・リサイクルの施策	0.7	0.69	0.77	0.6	0.79	0.81
(11)産業廃棄物対策	0.69	0.69	0.63	0.62	0.87	1.04
(12)し尿処理対策	0.63	0.56	0.7	0.58	0.63	0.96
(13)火葬場の整備	0.64	0.59	0.66	0.58	0.81	0.92
(14)消防・救急体制	1.08	1.02	1.02	1.04	1.48	1.44
(15)防災対策	1.04	1.13	0.97	0.92	1.26	1.29
(16)防犯対策	0.9	0.9	0.88	0.86	0.97	1.08
(17)交通安全対策	0.86	0.84	0.86	0.74	1.03	1.23
(18)健康づくり・保健予防対策	0.73	0.73	0.75	0.68	0.8	0.83
(19)介護サービス	0.99	1.02	0.97	0.99	0.84	1.17
(20)保健施設・医療機関	1.02	0.93	1.03	0.96	1.33	1.27
(21)医療サービス体制	0.94	0.85	0.95	0.92	1.13	1.19
(22)児童福祉(保育所・子育て支援)	0.96	0.87	1.01	0.93	1.23	1.04
(23)ひとり親(母子・父子)福祉	0.64	0.51	0.67	0.7	0.92	0.64
(24)高齢者福祉	0.88	0.75	0.87	0.94	1.2	1.04
(25)障害者(児)福祉	0.8	0.65	0.84	0.85	0.8	1.17
(26)低所得者福祉(生活保護)	0.51	0.37	0.34	0.65	1	0.77
(27)農業経営、農業基盤整備	0.59	0.59	0.6	0.57	0.5	0.67
(28)水産業経営、漁港・漁場の環境整備	0.78	0.57	0.78	0.72	1.38	1
(29)工業振興(企業誘致を含む)	0.74	0.78	0.69	0.8	0.73	0.62
(30)商業の振興	0.77	0.78	0.73	0.86	0.72	0.68
(31)観光振興	0.95	1	0.89	0.92	1.19	0.82
(32)雇用の機会・働く場の整備	1.09	1.11	0.98	1.17	1.3	1
(33)安全な消費者生活の確保	0.66	0.59	0.67	0.73	0.63	0.75
(34)生涯学習施策	0.48	0.47	0.45	0.44	0.77	0.59
(35)幼児教育	0.79	0.78	0.78	0.75	0.92	0.83
(36)義務教育(小中学校)	0.89	0.83	0.88	0.85	1.17	1.12
(37)図書館(室)の整備	0.48	0.54	0.5	0.38	0.42	0.55
(38)スポーツ環境	0.4	0.38	0.38	0.4	0.56	0.52
(39)文化財保護	0.34	0.38	0.32	0.32	0.4	0.36
(40)文化・芸術活動	0.27	0.35	0.23	0.21	0.29	0.3
(41)青少年育成	0.67	0.67	0.61	0.62	0.89	0.85
(42)町政への住民参加	0.53	0.63	0.48	0.4	0.57	0.68
(43)自治区活動の支援	0.48	0.52	0.47	0.4	0.48	0.63
(44)地域のコミュニティ活動	0.42	0.49	0.4	0.35	0.28	0.63
(45)地域間交流(友好交流)活動	0.3	0.33	0.22	0.29	0.33	0.59
(46)国際交流・外国人対策	0.25	0.17	0.26	0.29	0.29	0.4
(47)男女共同参画	0.32	0.28	0.26	0.43	0.37	0.41
(48)広報・広聴活動	0.37	0.42	0.3	0.4	0.43	0.38
(49)情報公開	0.52	0.55	0.47	0.48	0.64	0.63
(50)職員の窓口対応	0.67	0.63	0.71	0.64	1	0.43

表 3-4 重要度(年齢別)

重要度	全体	20歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80歳 以上
平均	0.68	0.68	0.62	0.61	0.74	0.62	0.72	0.74
(1)道路と橋の整備	0.74	0.71	0.67	0.91	0.89	0.59	0.69	0.78
(2)公共交通機関(鉄道・バス)	0.96	1.15	1.04	1.15	1.16	0.79	0.7	0.96
(3)海上航路	0.46	0.45	0.52	0.6	0.73	0.37	0.29	0.28
(4)港湾・漁港・海岸線の整備	0.6	0.65	0.56	0.63	0.72	0.46	0.56	0.72
(5)インターネットなどの情報通信環境	0.63	1	0.79	0.9	0.52	0.27	0.45	0.63
(6)上水道の整備	0.78	0.68	0.6	0.78	0.73	0.77	0.91	0.88
(7)下水・排水施設の整備	0.8	0.78	0.62	0.8	0.8	0.85	0.89	0.7
(8)河川整備	0.66	0.28	0.61	0.65	0.71	0.59	0.81	0.92
(9)公園・緑地の整備	0.39	0.15	0.7	0.29	0.4	0.41	0.36	0.43
(10)ごみの減量化・リサイクルの施策	0.7	0.61	0.72	0.54	0.73	0.68	0.86	0.71
(11)産業廃棄物対策	0.69	0.61	0.55	0.58	0.84	0.62	0.86	0.7
(12)し尿処理対策	0.63	0.39	0.33	0.5	0.72	0.64	0.85	0.76
(13)火葬場の整備	0.64	0.58	0.43	0.62	0.87	0.56	0.71	0.69
(14)消防・救急体制	1.08	1.16	0.94	1	1.15	1.06	1.2	0.98
(15)防災対策	1.04	1.19	0.88	0.93	1.25	0.94	1.13	0.98
(16)防犯対策	0.9	1	0.82	0.85	1	0.84	0.95	0.88
(17)交通安全対策	0.86	1.11	0.63	0.76	0.93	0.73	0.95	1.02
(18)健康づくり・保健予防対策	0.73	0.88	0.66	0.7	0.7	0.73	0.73	0.77
(19)介護サービス	0.99	1.05	0.79	1.02	1.03	0.95	1.13	0.95
(20)保健施設・医療機関	1.02	1.16	1.04	0.95	1.16	0.92	1	0.95
(21)医療サービス体制	0.94	0.95	0.98	1	1.01	0.84	0.93	0.91
(22)児童福祉(保育所、子育て支援)	0.96	1.18	1.15	0.96	1.03	0.85	0.82	0.87
(23)ひとり親(母子・父子)福祉	0.64	0.87	0.64	0.59	0.57	0.56	0.66	0.68
(24)高齢者福祉	0.88	0.92	0.9	0.84	0.86	0.85	1	0.73
(25)障害者(児)福祉	0.8	0.82	0.78	0.95	0.77	0.73	0.85	0.78
(26)低所得者福祉(生活保護)	0.51	0.56	0.47	0.57	0.52	0.55	0.38	0.49
(27)農業経営、農業基盤整備	0.59	0.6	0.39	0.35	0.67	0.62	0.72	0.68
(28)水産業経営、漁港・漁場の環境整備	0.78	0.94	0.81	0.6	0.82	0.67	0.84	0.93
(29)工業振興(企業誘致を含む)	0.74	0.81	0.34	0.63	0.69	0.64	1.06	1.16
(30)商業の振興	0.77	0.76	0.76	0.67	0.83	0.72	0.81	0.9
(31)観光振興	0.95	1.13	1.02	0.77	0.99	0.82	1.02	1.11
(32)雇用の機会・働く場の整備	1.09	1.08	1.05	0.92	1.17	1.1	1.05	1.3
(33)安全な消費者生活の確保	0.66	0.66	0.66	0.4	0.57	0.69	0.75	0.97
(34)生涯学習施策	0.48	0.31	0.43	0.37	0.65	0.41	0.49	0.67
(35)幼児教育	0.79	0.9	0.86	0.5	0.84	0.8	0.87	0.71
(36)義務教育(小中学校)	0.89	0.88	0.86	0.88	0.96	0.79	0.91	1.03
(37)図書館(室)の整備	0.48	0.63	0.29	0.33	0.66	0.46	0.45	0.57
(38)スポーツ環境	0.4	0.5	0.43	0.28	0.5	0.32	0.36	0.54
(39)文化財保護	0.34	0.22	0.21	0.3	0.43	0.24	0.4	0.64
(40)文化・芸術活動	0.27	0.17	0.16	0.21	0.28	0.23	0.36	0.48
(41)青少年育成	0.67	0.56	0.35	0.44	0.81	0.67	0.82	0.84
(42)町政への住民参加	0.53	0.51	0.54	0.37	0.56	0.48	0.63	0.6
(43)自治区活動の支援	0.48	0.24	0.34	0.3	0.53	0.55	0.65	0.55
(44)地域のコミュニティ活動	0.42	0.23	0.36	0.32	0.51	0.46	0.46	0.53
(45)地域間交流(友好交流)活動	0.3	0.24	0.28	0.15	0.42	0.28	0.37	0.34
(46)国際交流・外国人対策	0.25	0.18	0.17	0.06	0.28	0.36	0.36	0.11
(47)男女共同参画	0.32	0.43	0.26	0.29	0.41	0.24	0.33	0.38
(48)広報・広聴活動	0.37	0.23	0.37	0.24	0.43	0.3	0.52	0.5
(49)情報公開	0.52	0.5	0.47	0.41	0.6	0.45	0.58	0.61
(50)職員の窓口対応	0.67	0.64	0.67	0.64	0.69	0.6	0.71	0.77

(3) 施策や生活環境への満足度・重要度ランキング

◆ 満足度の低い施策

○居住地区別に満足度の低い施策をみると、いずれの地区においても「雇用の機会・働く場の整備」に対する満足度が低くなっています。また、「工業振興」の満足度も低く、篠島地区を除く4地区では5位以内となっています。加えて、篠島地区、日間賀島地区では「海上航路」に対する満足度が低くなっており、全般的に交通環境整備に対する満足度が低くなっています（表3-5）。

○内海・山海地区、豊浜・豊丘地区、大井・片名・師崎地区では「工業振興」、「商業の振興」、「観光振興」の満足度が低くなっていると同時に、日間賀島地区においても「水産業経営、漁港・漁場の環境整備」が、篠島地区においては「観光振興」の満足度も低くなっているなど、産業振興に対する満足度も全般的に低くなっています。その他、内海・山海地区、日間賀島地区では「インターネットなどの情報通信環境」、豊浜・豊丘地区では「図書館（室）の整備」に対する満足度が低くなっています（表3-5）。

表3-5 満足度 居住地区別ランキング

全体(平均値 -0.17)	内海・山海(平均値 -0.17)	豊浜・豊丘(平均値 -0.14)
① 雇用の機会 (-0.8)	① 雇用の機会 (-0.82)	① 公共交通機関 (-0.94)
② 公共交通機関 (-0.7)	② 工業振興 (-0.78)	② 雇用の機会 (-0.6)
③ 工業振興 (-0.57)	③ 商業の振興 (-0.7)	③ 図書館の整備 (-0.56)
④ 商業の振興 (-0.55)	④ 観光振興 (-0.67)	④ 商業の振興 (-0.45)
⑤ 観光振興 (-0.48)	⑤ 情報通信環境 (-0.59)	⑤ 工業振興 (-0.38)
⑥ 図書館の整備 (-0.47)	⑥ 下水施設の整備 (-0.54)	⑥ 下水施設の整備 (-0.36)
⑦ 下水施設の整備 (-0.38)	⑦ 図書館整備 (-0.53)	⑦ 観光振興 (-0.34)
⑧ 海上航路 (-0.35)	⑧ 河川整備 (-0.44)	⑧ 生涯学習施策 (-0.33)
情報通信環境 (-0.35)	⑨ スポーツ環境 (-0.38)	⑨ 河川整備 (-0.31)
⑨ 河川整備 (-0.29)	⑩ 農業基盤整備 (-0.31)	火葬場の整備 (-0.31)
スポーツ環境 (-0.29)		
大井・片名・師崎(平均値 -0.15)	篠島(平均値 -0.36)	日間賀島(平均値 -0.20)
① 公共交通機関 (-0.91)	① 雇用の機会 (-1.32)	① 工業振興 (-0.79)
② 雇用の機会 (-0.86)	② 海上航路 (-0.95)	② 情報通信環境 (-0.74)
③ 工業振興 (-0.51)	③ 観光振興 (-0.83)	③ 海上航路 (-0.7)
④ 商業の振興 (-0.5)	④ 道路と橋の整備 (-0.75)	雇用の機会 (-0.7)
⑤ 下水施設の整備 (-0.39)	公共交通機関 (-0.75)	④ 保健施設 (-0.66)
⑥ 低所得者福祉 (-0.37)	⑤ 火葬場の整備 (-0.73)	⑤ 公共交通機関 (-0.64)
⑦ 図書館の整備 (-0.33)	⑥ 保健施設 (-0.71)	⑥ 障害者福祉 (-0.55)
⑧ 観光振興 (-0.3)	⑦ 公園の整備 (-0.65)	⑦ 医療サービス体制 (-0.5)
スポーツ環境 (-0.3)	医療サービス体制 (-0.65)	高齢者福祉 (-0.5)
国際交流 (-0.3)	⑧ 低所得者福祉 (-0.57)	水産業経営(-0.5)

◆重要度の高い施策

- 居住地区別に重要度の高い施策をみると、いずれの地区においても「消防・救急体制」、「保健施設・医療機関」の重要度が高くなっています（表 3-6）。
- また、上記にあげた3施策のほかに篠島地区以外の4地区において、「介護サービス」、「医療サービス体制」、日間賀島地区以外の4地区において「雇用の機会・働く整備」の重要度が高くなっています（表 3-6）
- 篠島地区、日間賀島地区においては「海上航路」の重要度が高くなっているとともに、篠島地区では「水産業経営、漁港・漁場の環境整備」の重要度が高くなっています（表 3-6）。

表 3-6 重要度 居住地区別ランキング

全体(平均値 0.65)	内海・山海(平均値 0.65)	豊浜・豊丘(平均値 0.66)
① 雇用の機会 (1.09)	① 防災対策 (1.13)	① 保健施設 (1.03)
② 消防・救急体制 (1.08)	② 雇用の機会 (1.11)	② 消防・救急体制 (1.02)
③ 防災対策 (1.04)	③ 消防・救急体制 (1.02)	③ 児童福祉 (1.01)
④ 保健施設 (1.02)	介護サービス (1.02)	④ 雇用の機会 (0.98)
⑤ 介護サービス (0.99)	④ 観光振興 (1)	⑤ 防災対策 (0.97)
⑥ 公共交通機関 (0.96)	⑤ 保健施設 (0.93)	介護サービス (0.97)
児童福祉 (0.96)	⑥ 防犯対策 (0.9)	⑥ 公共交通機関 (0.96)
⑦ 観光振興 (0.95)	⑦ 児童福祉 (0.87)	⑦ 医療サービス体制 (0.95)
⑧ 医療サービス体制 (0.94)	⑧ 医療サービス体制 (0.85)	⑧ 上水道の整備 (0.93)
⑨ 防犯対策 (0.9)	⑨ 公共交通機関 (0.84)	⑨ 観光振興 (0.89)
	交通安全対策 (0.84)	
大井・片名・師崎(平均値 0.65)	篠島(平均値 0.84)	日間賀島(平均値 0.82)
① 雇用の機会 (1.17)	① 海上航路 (1.65)	① 消防・救急体制 (1.44)
② 公共交通機関 (1.07)	② 消防・救急体制 (1.48)	② 海上航路 (1.34)
③ 消防・救急体制 (1.04)	③ 水産業経営 (1.38)	③ 防災対策 (1.29)
④ 介護サービス (0.99)	④ 保健施設 (1.33)	④ 保健施設 (1.27)
⑤ 保健施設 (0.96)	⑤ 雇用の機会 (1.3)	⑤ 交通安全対策 (1.23)
⑥ 高齢者福祉 (0.94)	⑥ 防災対策 (1.26)	⑥ 医療サービス体制 (1.19)
⑦ 児童福祉 (0.93)	⑦ 児童福祉 (1.23)	⑦ 介護サービス (1.17)
⑧ 防災対策 (0.92)	⑧ 高齢者福祉 (1.2)	障害者福祉 (1.17)
医療サービス体制 (0.92)	⑨ 港湾の整備 (1.19)	⑧ 義務教育 (1.12)
観光振興 (0.92)	観光振興 (1.19)	⑨ 防犯対策 (1.08)

(4) 満足度と重要度の関係

- 施策や生活環境への満足度の平均得点を横軸、重要度の平均得点を縦軸にして散布図を作成しました（図3-5）。
- 50項目全体の満足度の平均得点は-0.17となっています。図示してある-0.17の線よりも左側にある項目は、満足度が50項目の平均得点よりも低い項目であり、逆に、右側にある項目は平均得点よりも高い項目です（図3-5）。
- 一方、50項目全体の重要度の平均得点は0.68となっています。図示してある0.68の線よりも上側にある項目は、重要度が50項目の平均得点よりも高い項目であり、逆に、下側にある項目は平均得点よりも低い項目です（図3-5）。
- 着目すべきは、満足度は低いが重要度が高い項目、すなわち、当該項目について重要と考えているにもかかわらず、現状において満足していない人が多い項目であり、図の左上の領域にある項目です（図3-5）。
- 南知多町全体では、「雇用の機会・働く場の整備」が、最も重要度が高く、最も満足度が低い項目として挙がっており、次いで「公共交通機関（鉄道・バス）」となっています（図3-5）。
- また、「保健施設・医療機関」、「医療サービス体制」などの福祉施策、「観光振興」、「商業の振興」、「工業振興（企業誘致を含む）」「水産業経営」などの産業振興施策、「下水・排水施設の整備」に関する施策も重要度が高く、満足度が低い施策となっています（図3-5）。
- ☆居住地区別に関しては内容が（2）（3）と重複するため省略します。参考までに居住地区別散布図を次ページ以降に掲載します（図3-6、3-7、3-8、3-9、3-10）。

グラフの見方

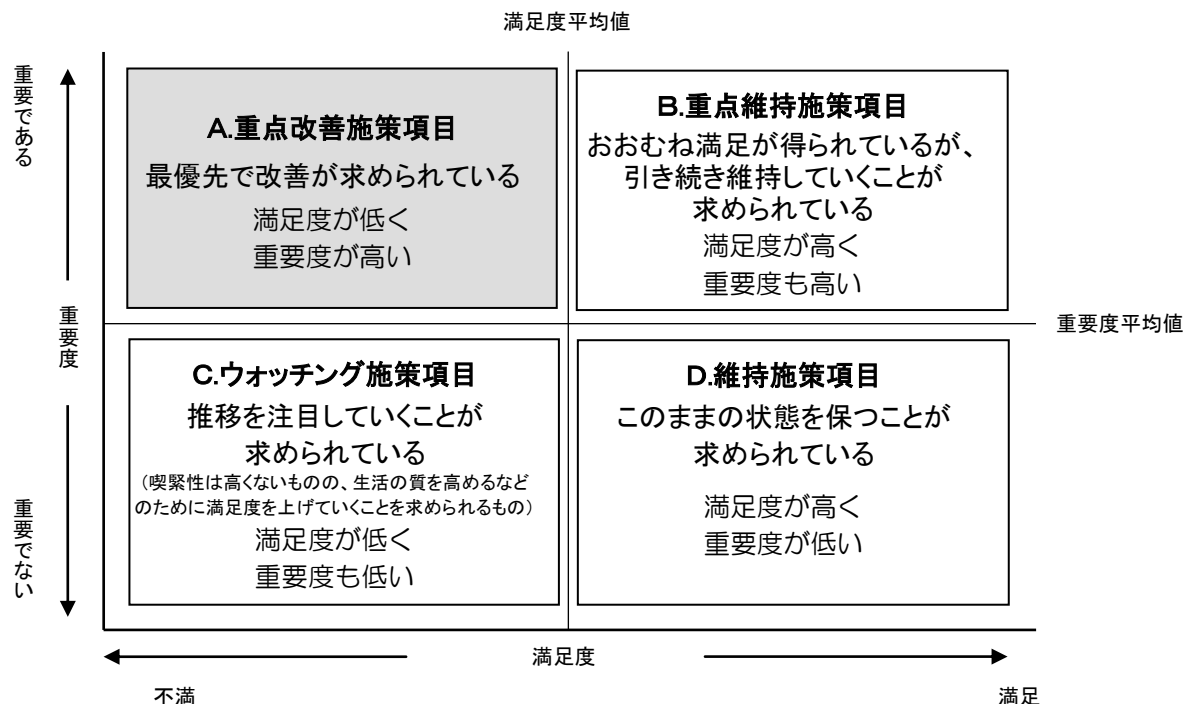


図3-5 重要度・満足度の関係散布図(全体)

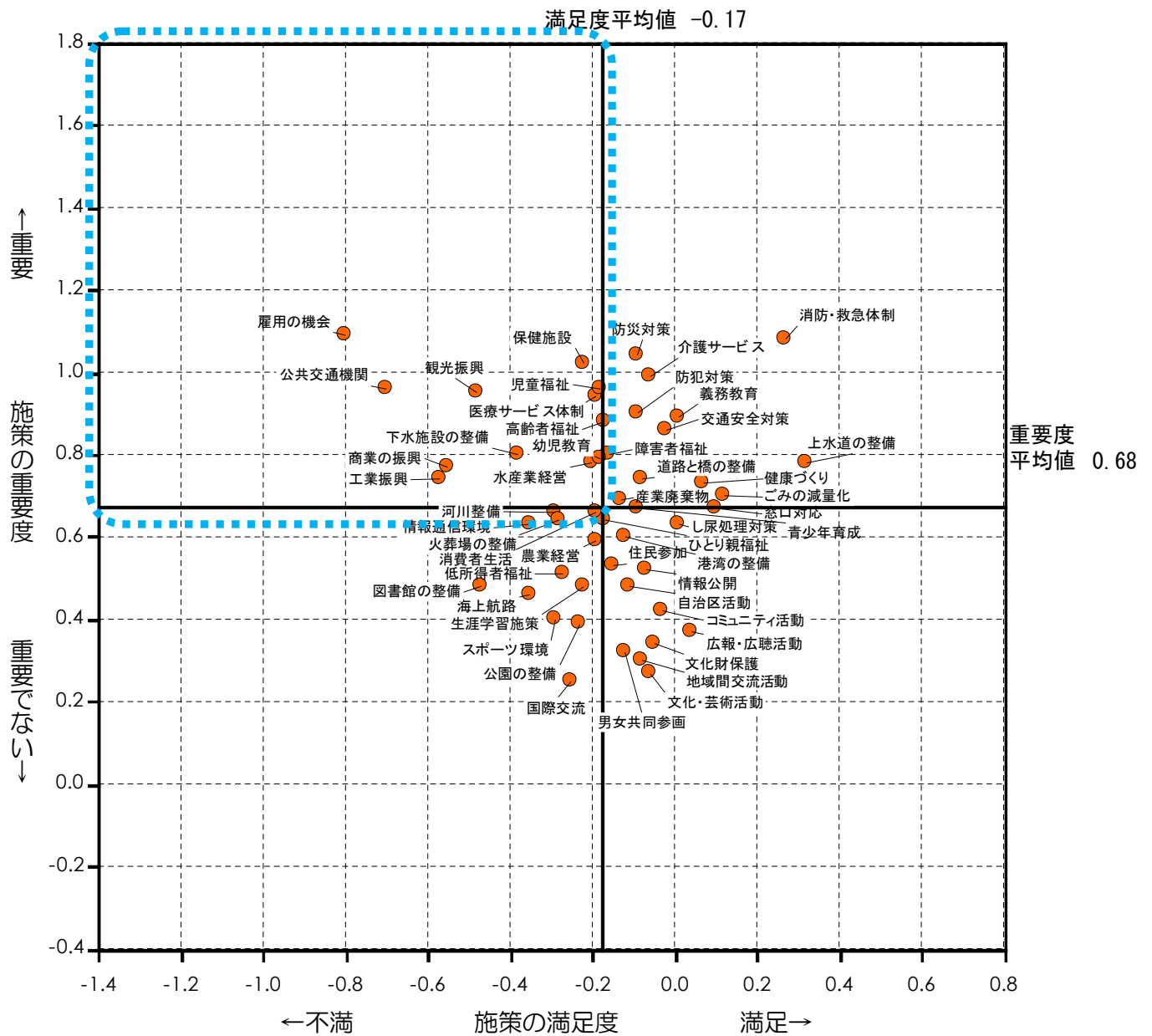


図3-6 重要度・満足度の関係散布図(内海・山海地区)

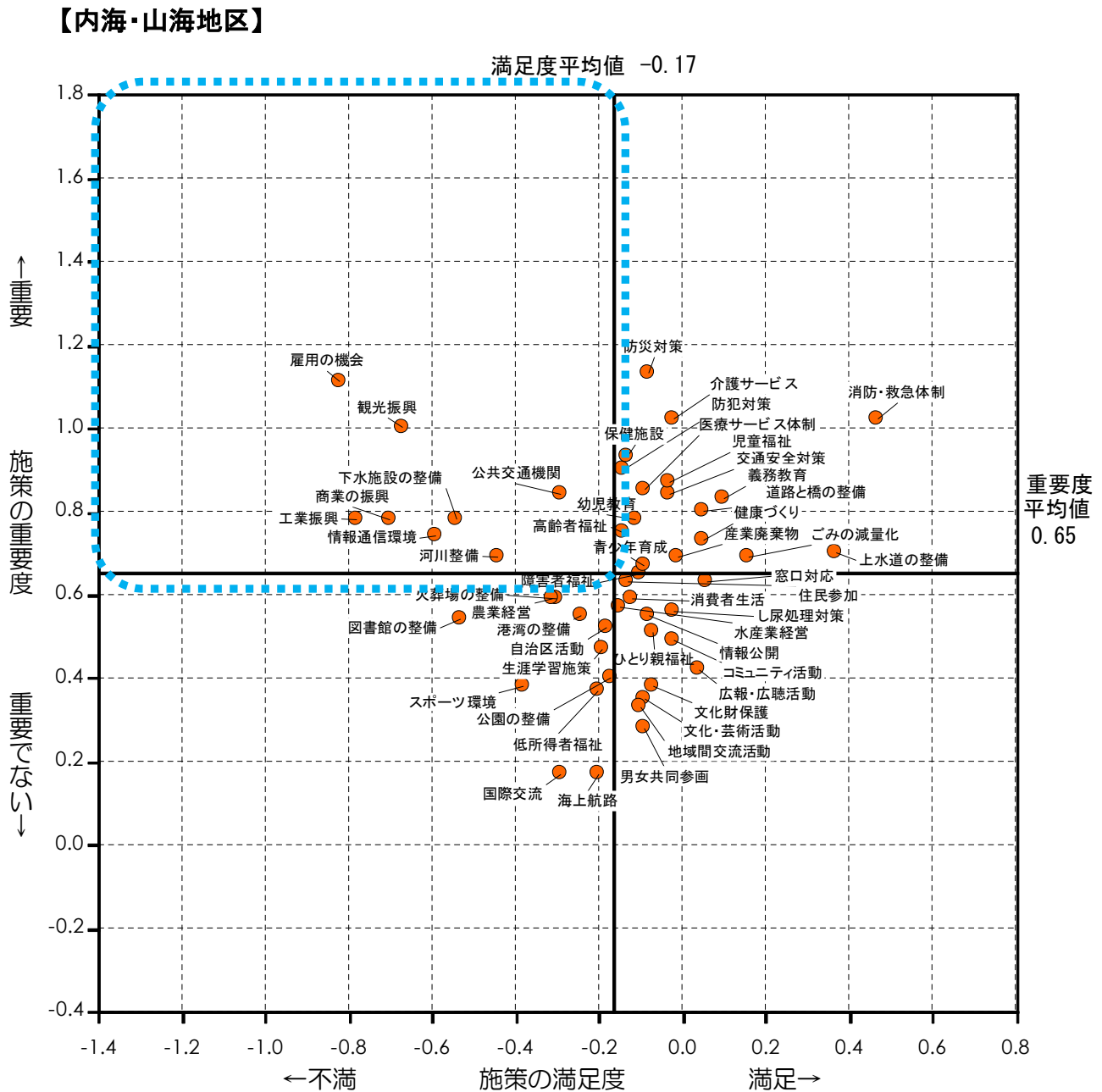


図3-7 重要度・満足度の関係散布図(豊浜・豊丘地区)

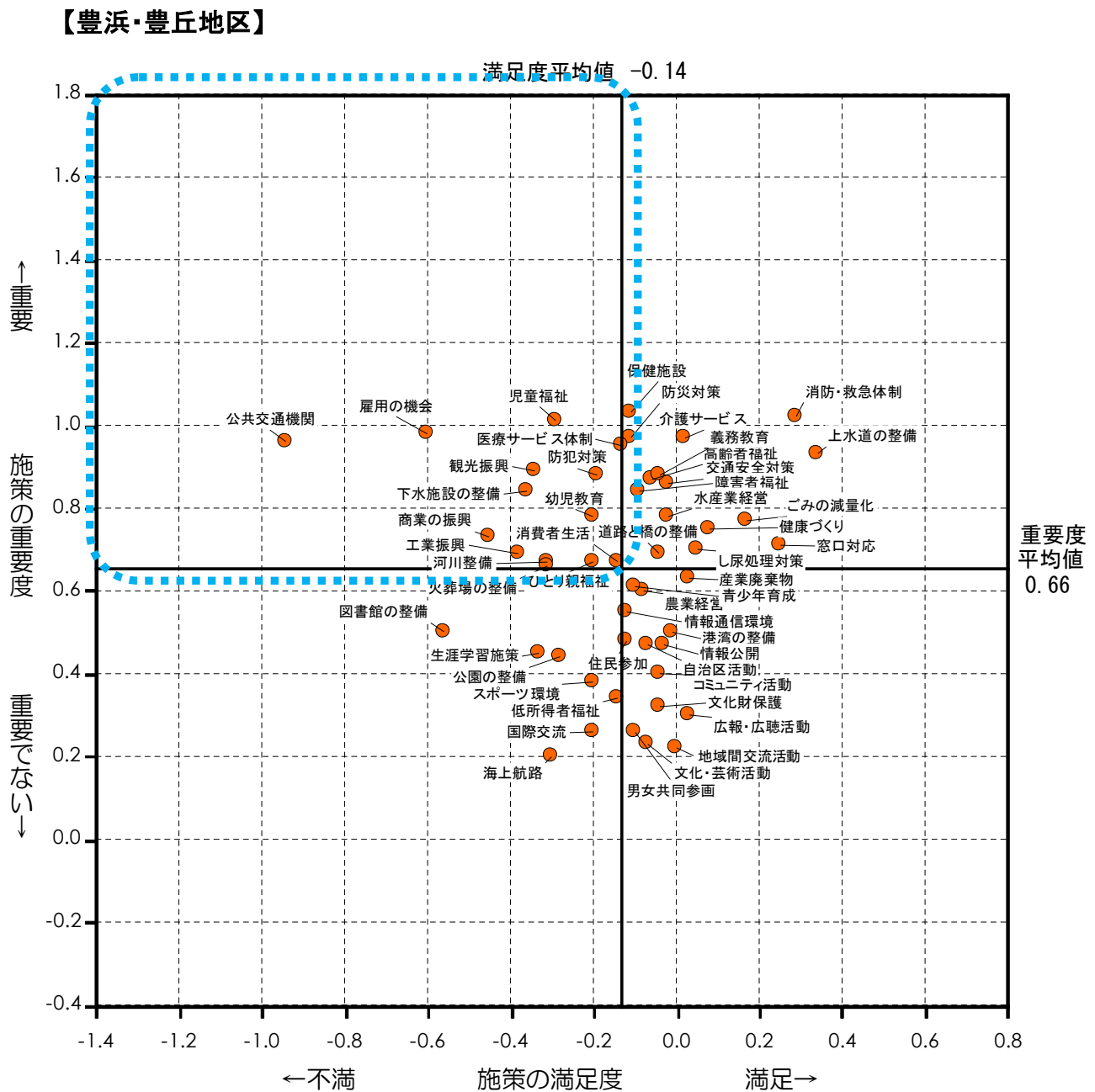


図3-8 重要度・満足度の関係散布図(大井・片名・師崎地区)

【大井・片名・師崎地区】

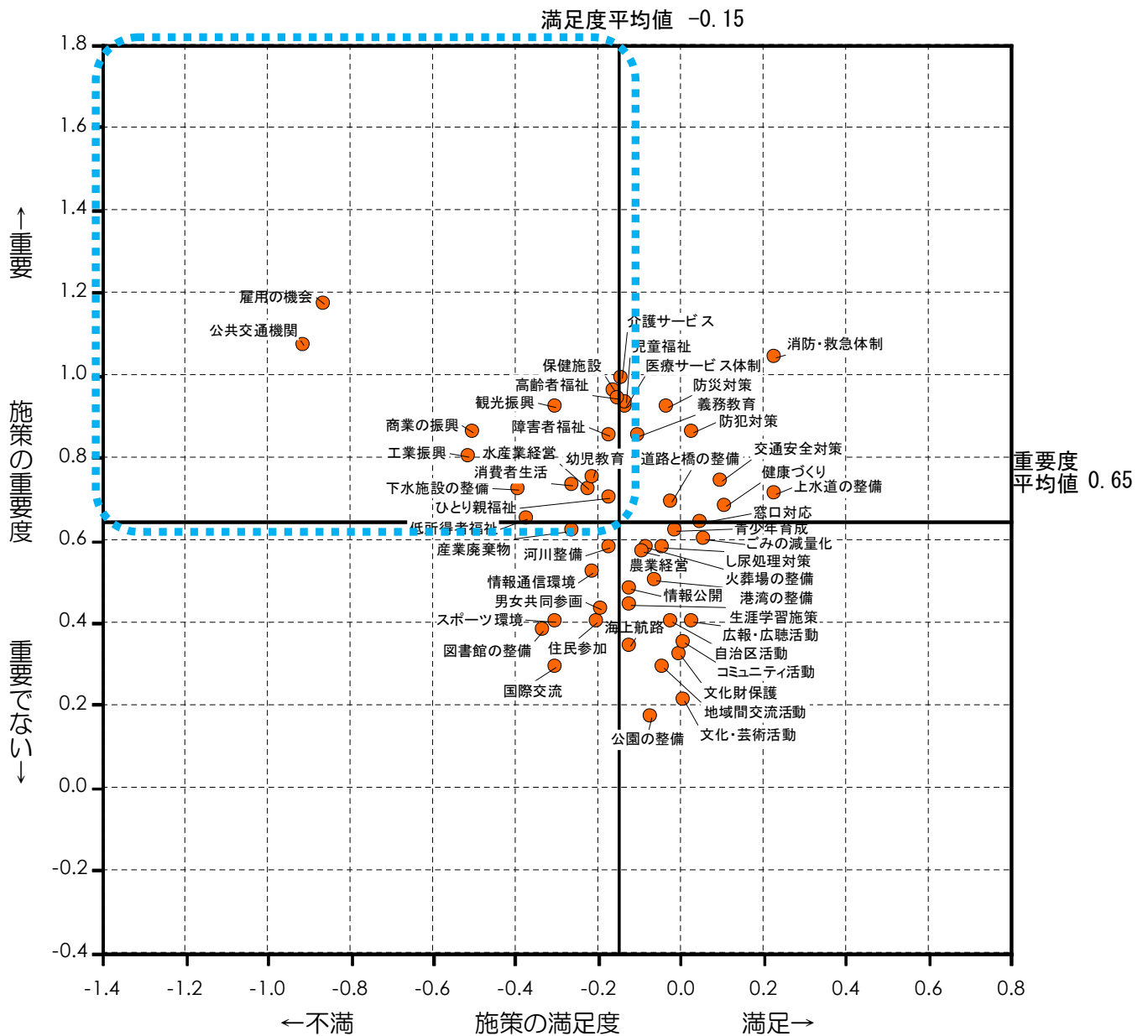


図3-9 重要度・満足度の関係散布図(篠島地区)

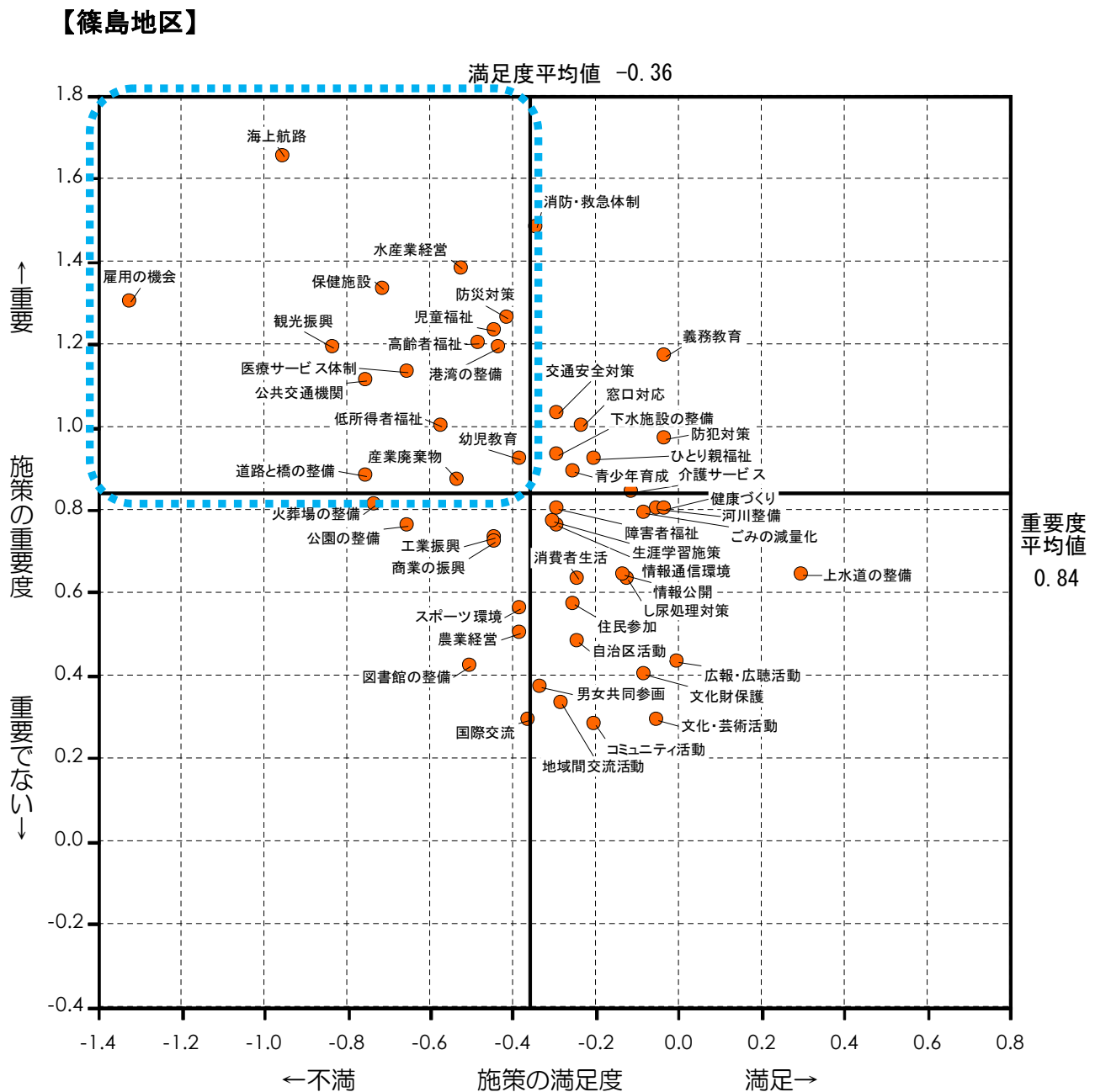
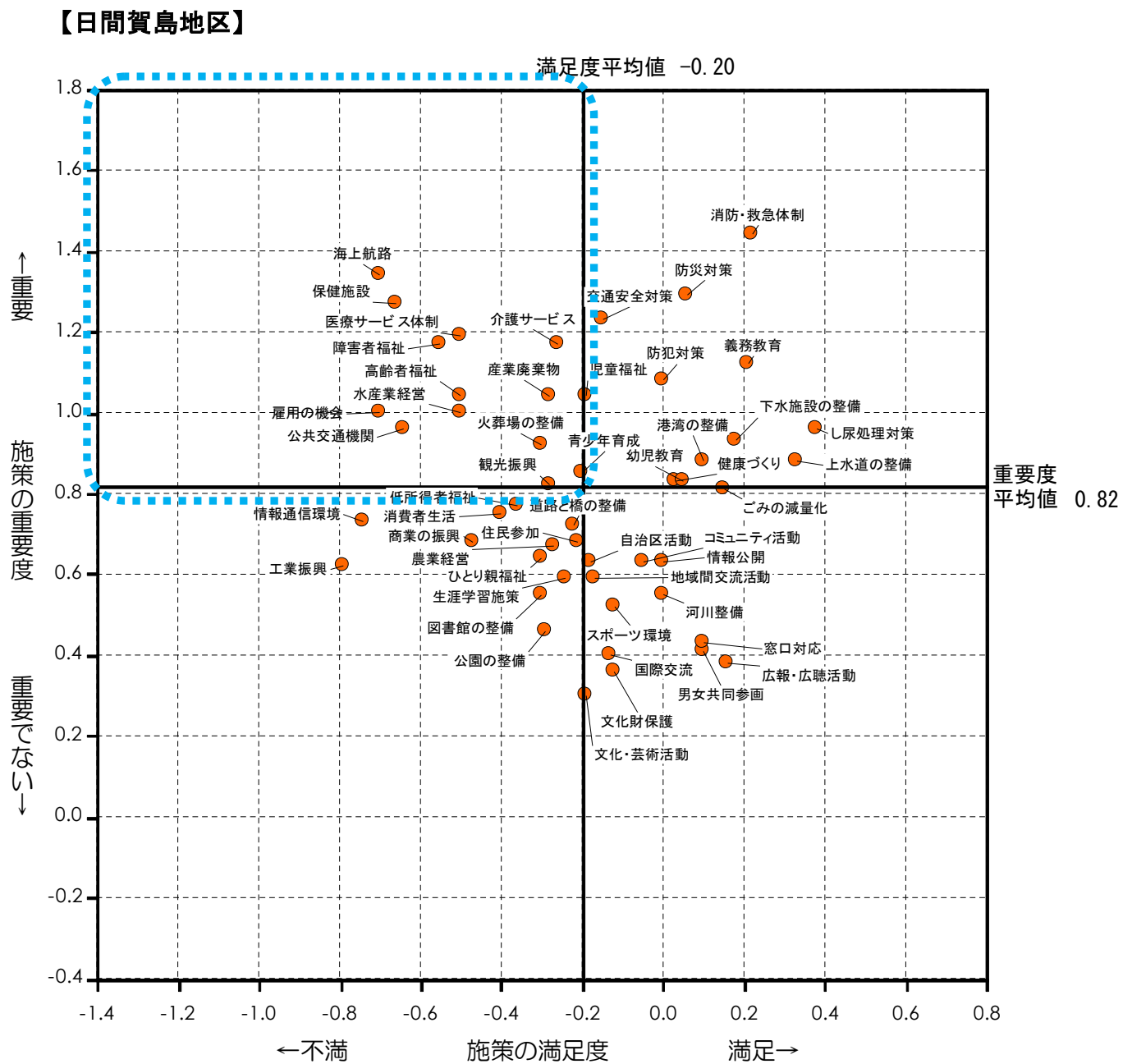


図3-10 重要度・満足度の関係散布図(日間賀島地区)



第4章 南知多町の人口対策について

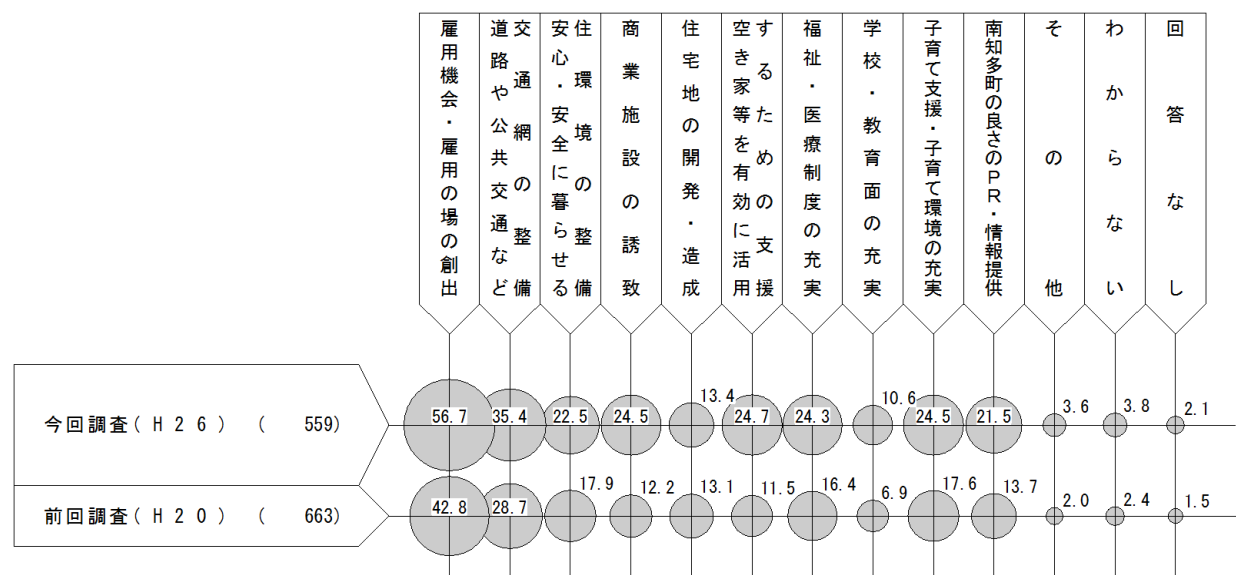
(1) 人口を増やすための方策

問 11 町の人口減少を止めるために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

人口を増やすための方策として、「雇用機会・雇用の場の創出」と回答した人の割合が最も高く、次いで「道路や公共交通など交通網の整備」が高くなっています。また「空き家等を有効に活用するための支援」、「商業施設の誘致」、「子育て支援・子育て環境の充実」の割合も高くなっています。

- 人口を増やすための方策として、「雇用機会・雇用の場の創出」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「道路や公共交通など交通網の整備」の割合が 35.4%と高くなっています。また、「空き家等を有効に活用するための支援」が 24.7%、「商業施設の誘致」と「子育て支援・子育て環境の充実」が共に 24.5%となっています（図 4-1）。
- 前回調査（平成 20 年）との比較で見ると、「雇用機会・雇用の場の創出」と「道路や公共交通など交通網の整備」はともに、より強く求められるようになり、前回では 10 項目中、9 番目であった「空き家等を有効に活用するための支援」が 3 番目に選択されており、人口増加方策として期待されるようになっていきます。（図 4-1）
- 年齢別にみると、20 歳代以下では「商業施設の誘致」が 38.0%、「子育て支援・子育て環境の充実」が 46.0%と高くなっています。30 歳代では「子育て支援・子育て環境の充実」が 60.8%と特に高くなっています。また、「空き家等を有効に活用するための支援」は 60 歳代と 70 歳代で 3 割以上の人が選択しています（図 4-2）。

図4-1 「人口を増やすための方策」前回調査比較



○居住地区別にみると、篠島地区では「雇用機会・雇用の場の創出」の割合が66.7%とより高くなっています。また、篠島地区では「商業施設の誘致」(38.1%)、「空き家等を有効活用するための支援」(31.0%)、「子育て支援・子育て環境の充実」(28.3%)も高い割合となっています(図4-3)。

○豊浜・豊丘地区、大井・片名・師崎地区では「道路や公共交通など交通網の整備」の割合が高く、それぞれ44.2%、46.4%となっています。また、内海・山海地区、豊浜・豊丘地区では「住宅・宅地の開発」の割合が高く、それぞれ17.9%、17.2%となっています(図4-3)。

○日間賀島地区では、「安心・安全に暮らせる住環境の整備」と「福祉・医療制度の充実」が共に32.6%を占めており高い割合となっています(図4-3)。

図4-2 年齢別「人口を増やすための方策」

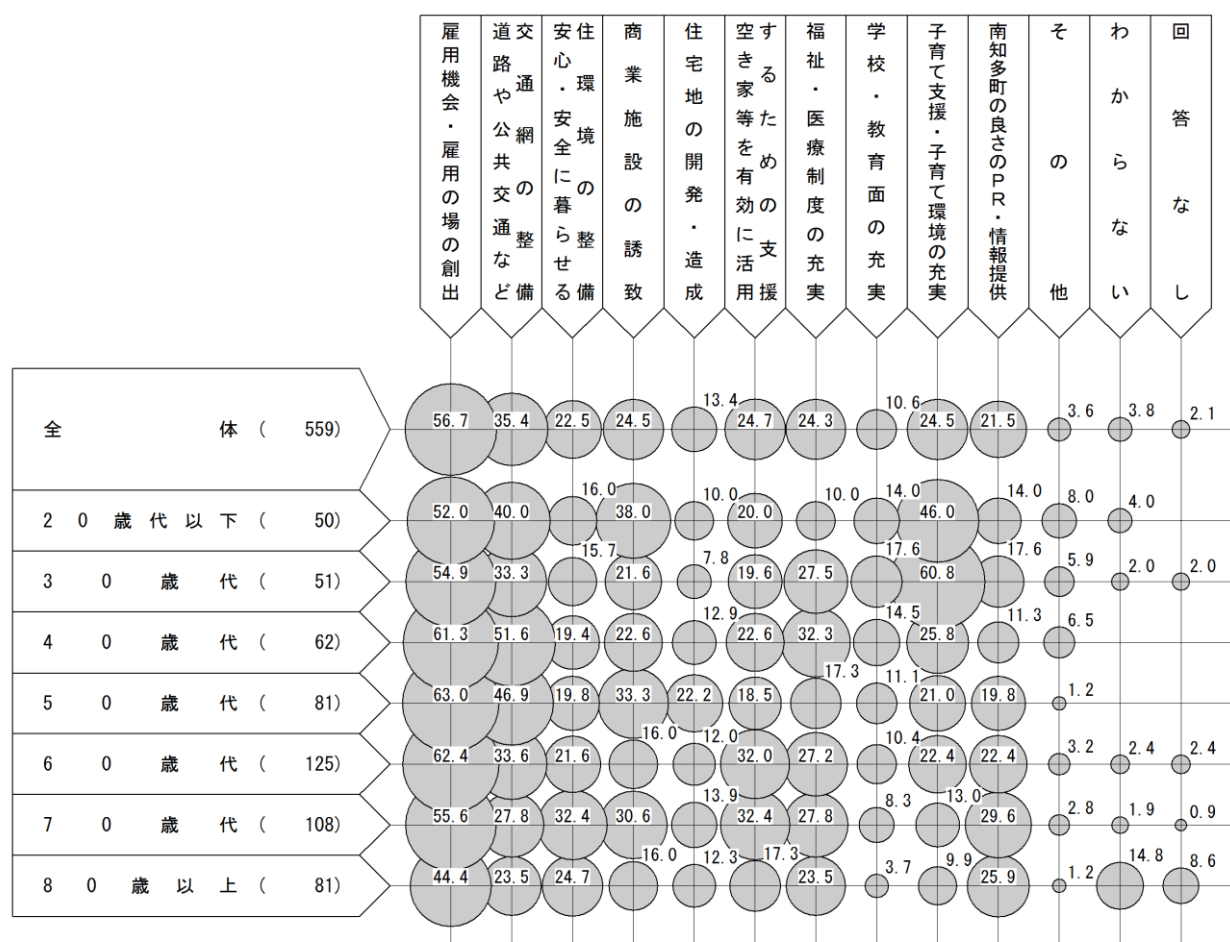
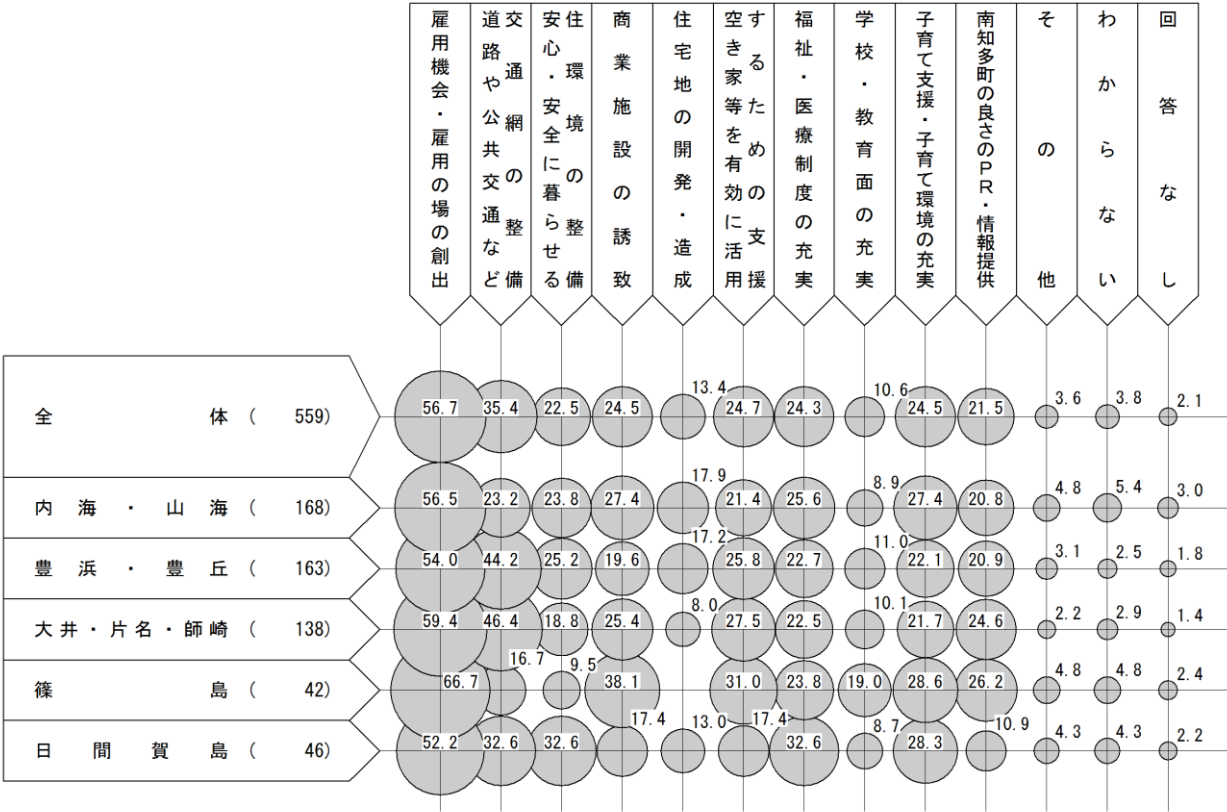


図4-3 居住地区別「人口を増やすための方策」



第5章 産業振興について

(1) 産業振興

問 12 あなたは、南知多町の産業振興に向けて、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

南知多町の今後の産業振興で力を入れるべきこととして、「自然や歴史、農業・漁業を生かした観光の振興」の割合が最も高く、次いで「伊勢湾・三河湾の水質浄化・漁場の保全・造成」の割合が高くなっています。

○南知多町の今後の産業振興で力を入れるべきこととして、「自然や歴史、農業・漁業を生かした観光の振興」が 44.5%と最も高い割合を占めています。次いで、「伊勢湾・三河湾の水質浄化、漁場の保全・造成」(29.9%)、また「商業施設の誘致」と「工業団地の整備と優良企業の誘致」(共に 22.2%)が続いています(図 5-1)。

○前回調査(平成 20 年度)と比較しても、選択順位に大きな変化はありません。(図 5-1)。

○年齢別にみると、全般的に「自然や歴史、農業・漁業を生かした観光の振興」の割合が高く、30 歳代では半数を超えて高くなっています。また、60 歳代では「伊勢湾・三河湾の水質浄化、漁場の保全・造成」の割合が 36.0%と高く、50 歳代では「商業施設の誘致」が 34.6%、「地域住民による新たな産業の育成・創造」が 27.2%と高くなっています(図 5-2)。

図5-1 「産業振興」前回調査比較

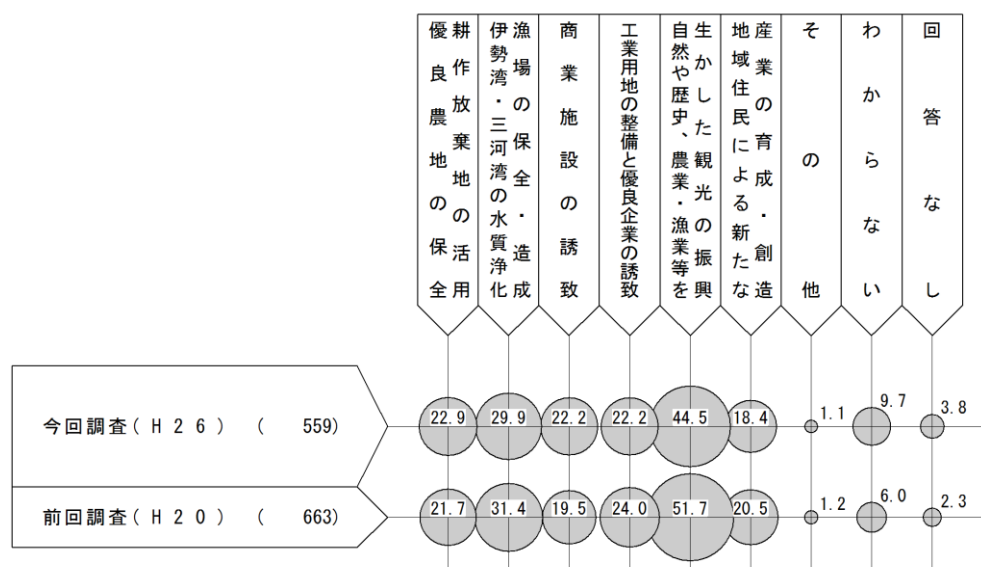
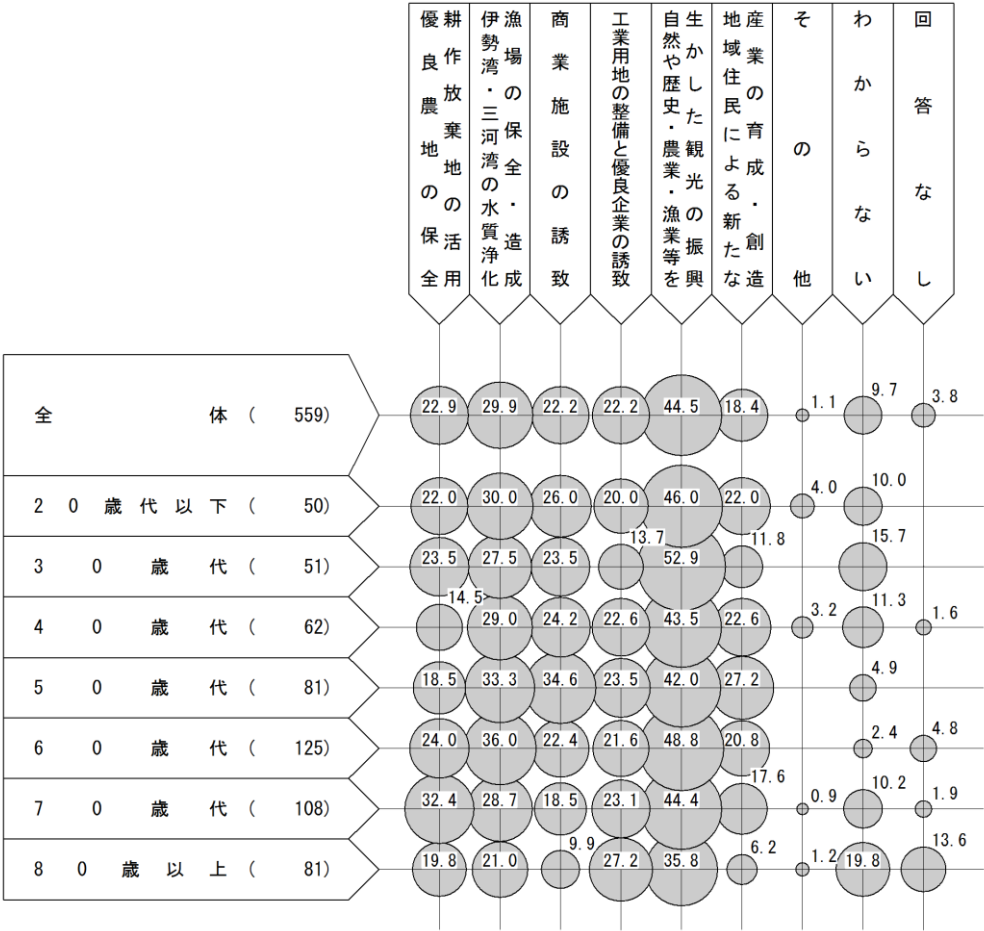


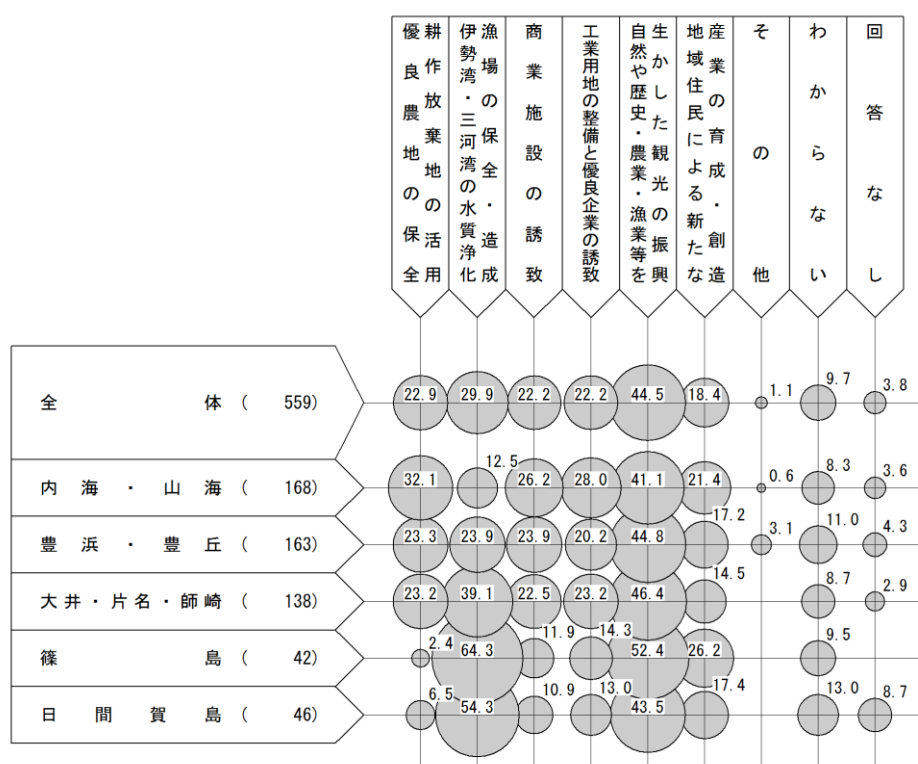
図5-2 年齢別「産業振興」



○居住地区別にみると、内海・山海地区、豊浜・豊丘地区、大井・片名・師崎地区では「自然や歴史、農業・漁業を生かした観光の振興」の割合がそれぞれ41.1%、44.8%、46.4%と最も高くなっているのに対して、篠島地区、日間賀島地区では「伊勢湾・三河湾の水質浄化、漁場の保全・造成」がそれぞれ64.3%、54.3%と最も高くなっています（図5-3）。

○その他、内海・山海地区では「優良農地・耕作放棄地の積極的な保全・活用」（32.1%）、
「工業団地の整備と優良企業の誘致」（28.0%）、「商業施設の誘致」（26.2%）の割合も高くなっています（図5-3）。

図5-3 居住地区別「産業振興」



(2) 観光振興

問 13 観光振興による地域の活性化について、どのような施策を推進すればよいと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

観光振興のための方策としては、「道路・鉄道・航路などの交通基盤の整備」の割合が最も高く、次いで「自然景観の保全や公園・緑化の推進」の割合が高くなっています。また、「海洋レジャー施設の整備」や「生産物直売施設の設置」の割合も高くなっています。

- 観光振興による地域の活性化方策としては、「道路・鉄道・航路などの交通基盤の整備」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「自然景観の保全や公園・緑化の推進」(30.6%)、「海洋レジャー施設の整備」(29.0%)、「生産物直売施設の設置」(27.7%)と続いています(図 5-4)。
- 前回調査(平成 20 年度)と比較すると、4 番目であった「海洋レジャー施設の整備」の割合がやや高くなり、「生産物直売施設の設置」と入れ替わりしました(図 5-4)。
- 年齢別にみると、全体でも最も高い割合の「道路・鉄道・航路などの交通基盤の整備」の割合が 40 歳代で 66.1%と飛び抜けて高くなっています。また、40 歳代以下の若い世代で「海洋レジャー施設の整備」の割合が高く、20 歳代以下では 50.0%と最も多くなっています。一方、50 歳代以上では「自然景観の保全や公園・緑化の推進」と「生産物直売施設の設置」の割合が高く、60 歳代では「自然景観の保全や公園・緑化の推進」が 36.0%と最も高い割合となっています。(図 5-5)。

図5-4 「観光振興」前回調査比較

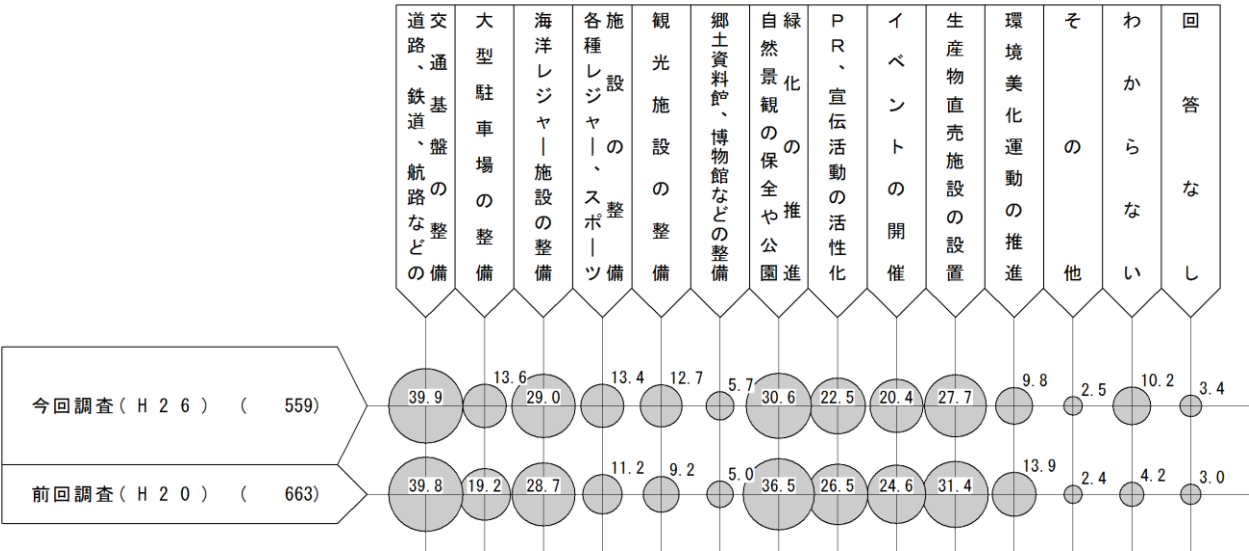
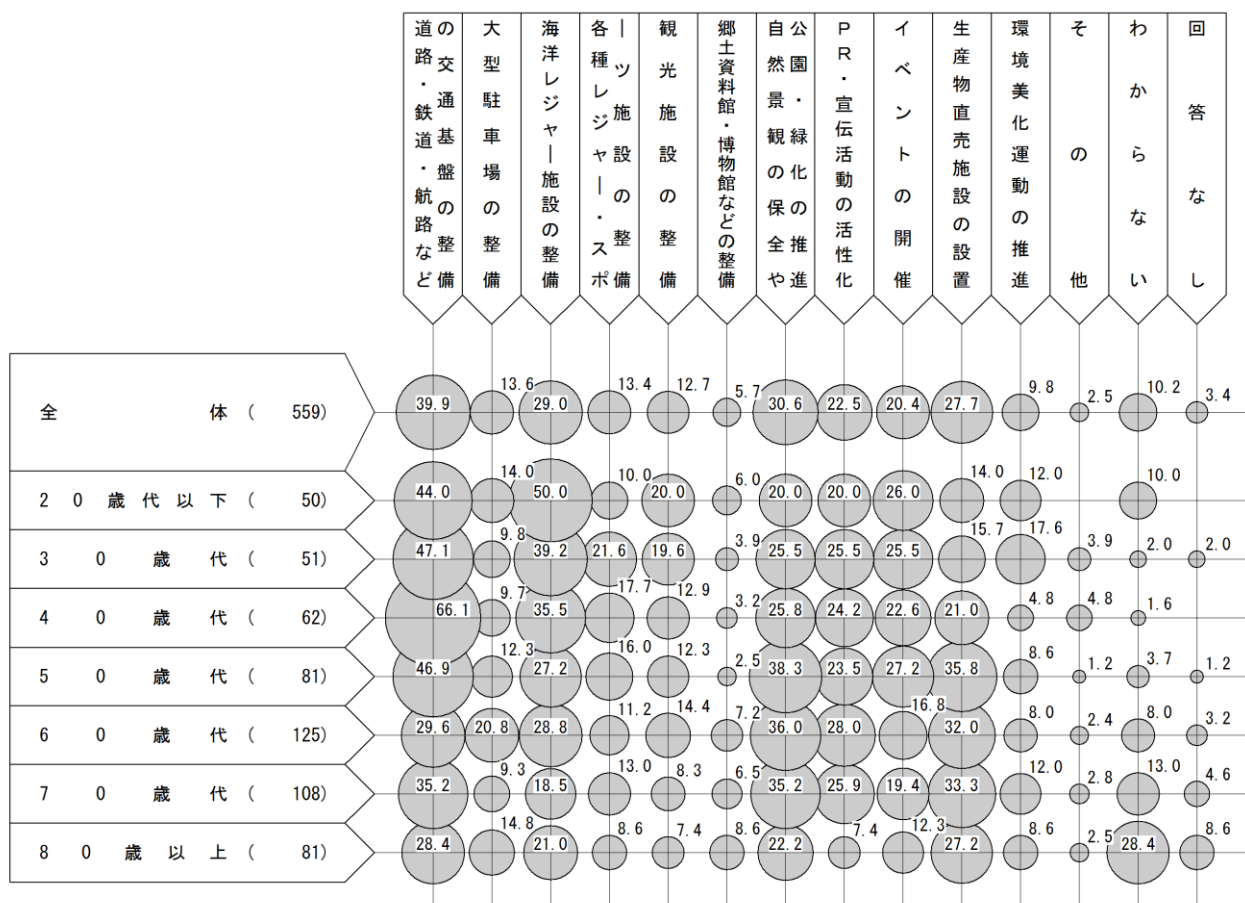


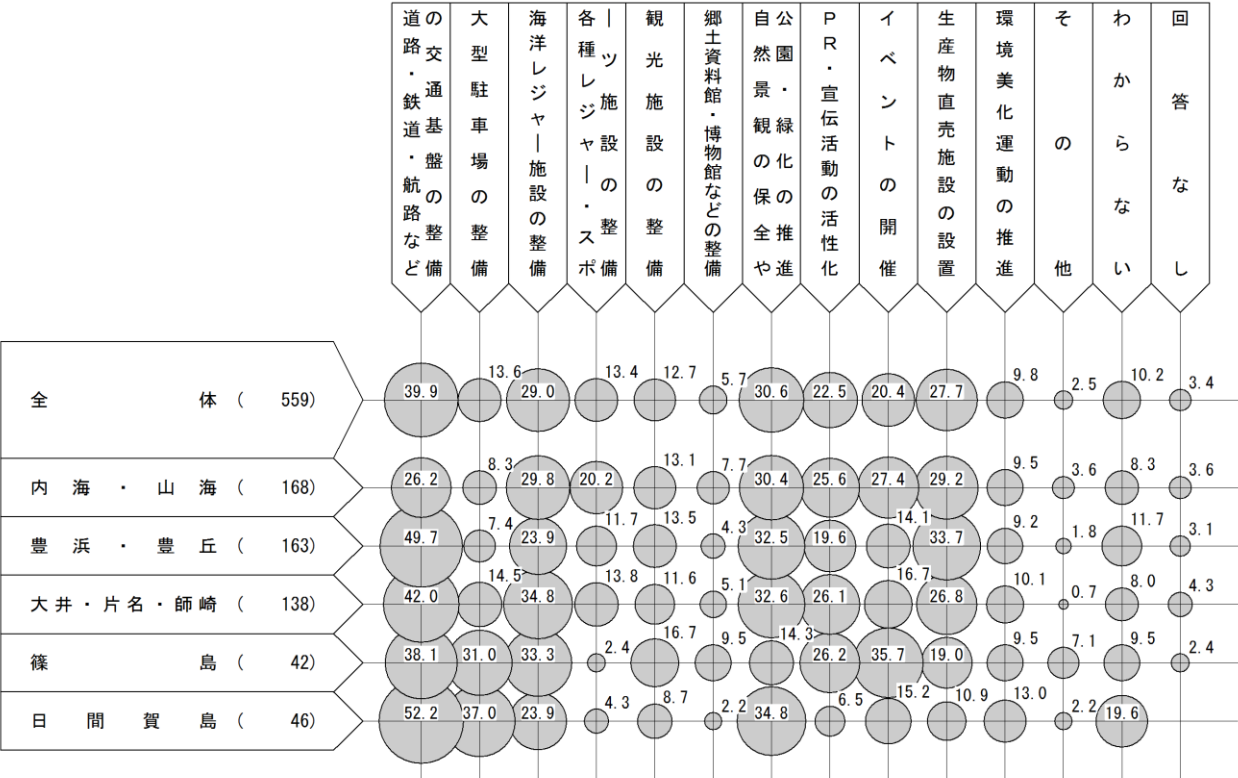
図5-5 年齢別「観光振興」



○居住地区別にみると、全体でも最も高い割合の「道路・鉄道・航路などの交通基盤の整備」が日間賀島地区では52.2%と極めて高い割合となっており、豊浜・豊丘地区では「生産物直売施設の設置」(33.7%)の割合が高くなっています(図5-6)。

○篠島地区、日間賀島地区では「大型駐車場の整備」がそれぞれ31.0%、37.0%と高い割合となっています。また、篠島地区では「イベントの開催」が35.7%と特に高くなっています(図5-6)。

図5-6 居住地区別「観光振興」



第6章 防災対策について

(1) 発生が懸念される災害

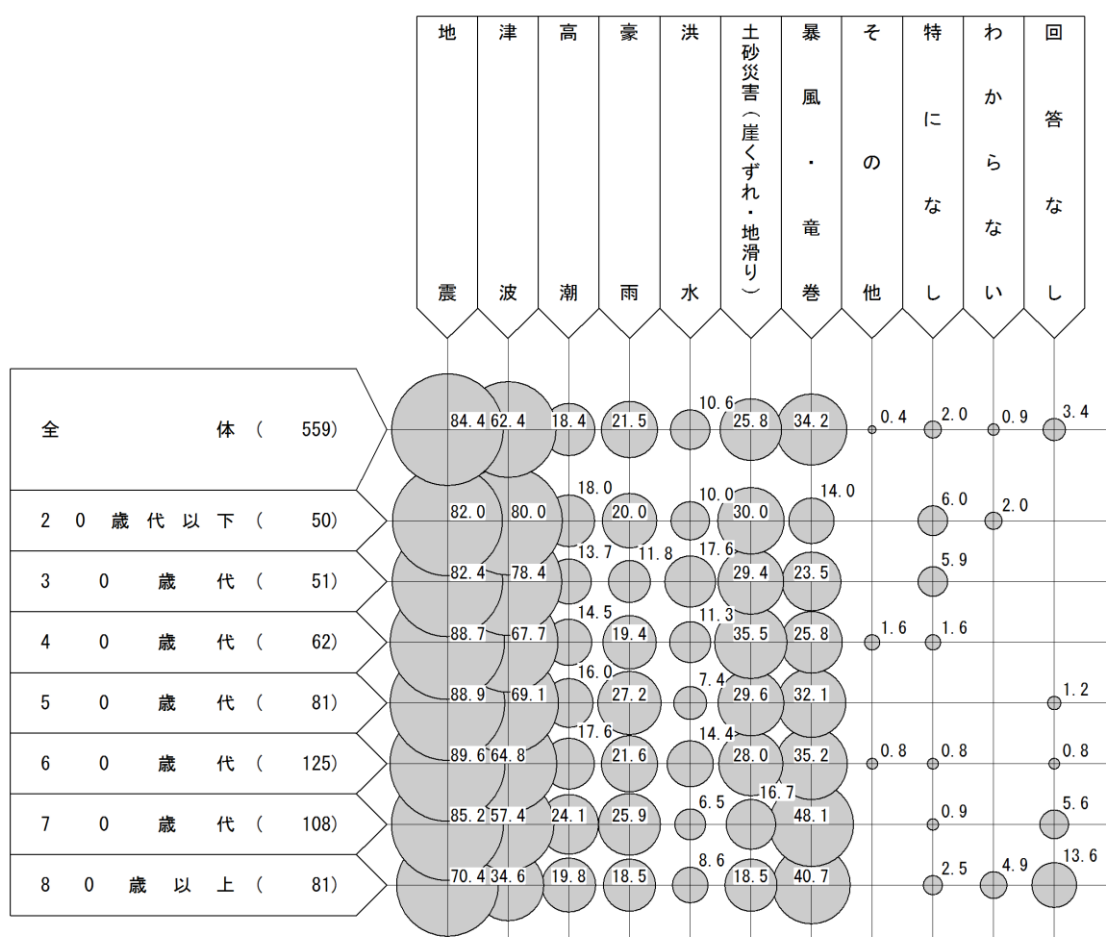
問 14 あなたは、普段、どのような災害の発生を懸念されていますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

発生が懸念される災害としては、「地震」の割合が最も高く、次いで「津波」、「暴風・竜巻」の割合が高くなっています。

○発生が懸念される災害としては、「地震」の割合が 84.4%と飛び抜けて高く、地震の発生に伴う災害として「津波」の割合が 62.4%と続きます。「暴風・竜巻」(34.2%)、「土砂災害(崖くずれ・地滑り)」(25.8%) も高くなっています(図 6-1)。

○年齢別にみると、「暴風・竜巻」の割合が 60 歳代で 35.2%、70 歳代で 48.1%、80 歳以上で 40.7%と、年齢が高くなるほど不安感が高まっています(図 6-1)。

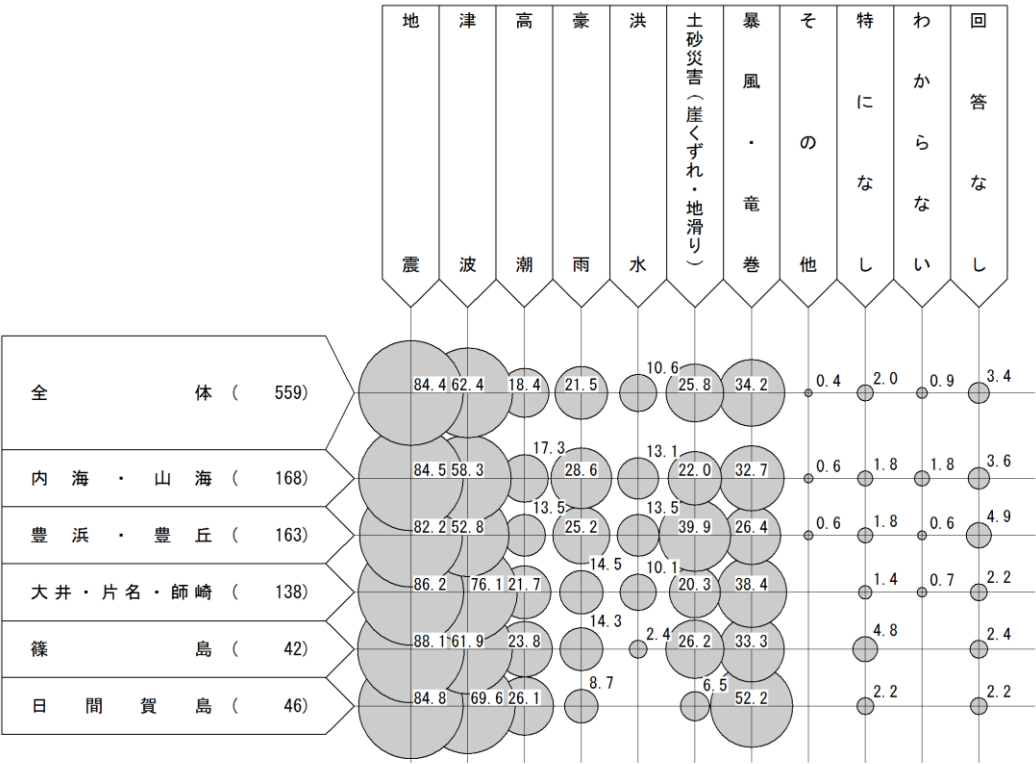
図6-1 年齢別「懸念している災害」



○居住地区別にみると、内海・山海地区、豊浜・豊丘地区において「豪雨」の割合がそれぞれ 28.6%、25.2%と最も高くなっています。さらに豊浜・豊丘地区では「土砂災害（崖くずれ・地滑り）」の割合が 39.9%と特に高くなっています(図 6-2)。

○大井・片名・師崎地区においては「津波」が 76.1%と高い割合となっています（図 6-2）。

図6-2 居住地区別「懸念している災害」



(2) 居住地の安全性

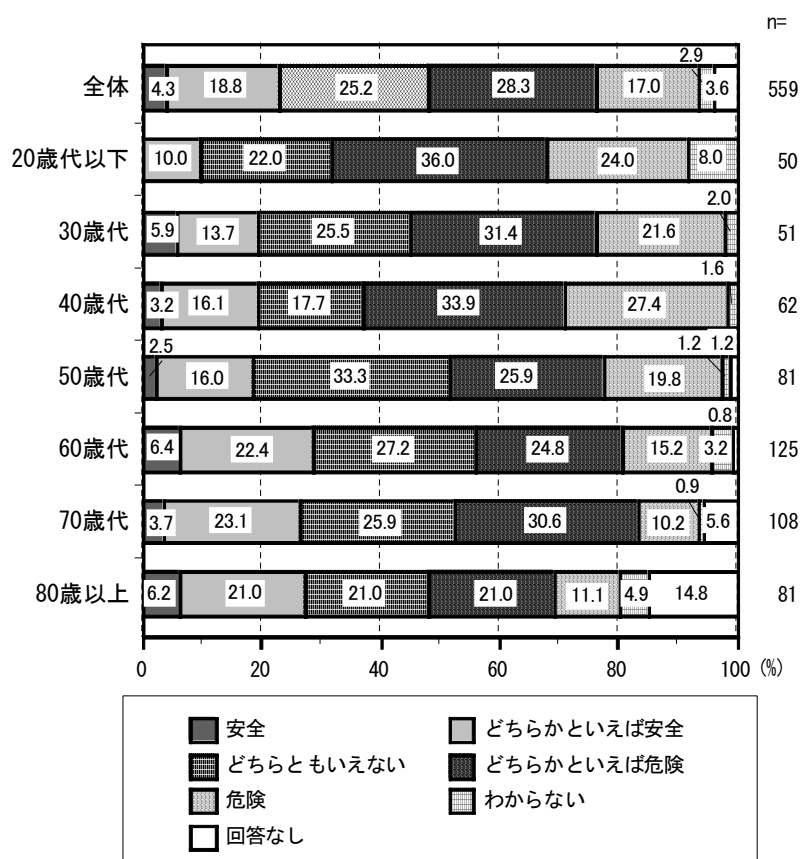
問 15 お住まいの場所は、災害に対し安全だと感じていますか、それとも危険だと感じていますか。あなたのお考えに近いものを 1つ 選び、番号に○印をつけてください。

居住地の災害に対する安全性については、「どちらかといえば危険」の割合が最も高く、「危険」を合わせると半数近くの人々が危険に感じています。

○居住地の災害に対する安全性は、「どちらかといえば危険」とする人の割合が 28.3%と最も高く、「危険」の 17.0%を加えると、45.3%が危険性を感じています。これに対し「安全」(4.3%)と「どちらかといえば安全」(18.8%)を合わせた 23.1%の人が安全と感じています(図 6-3)。

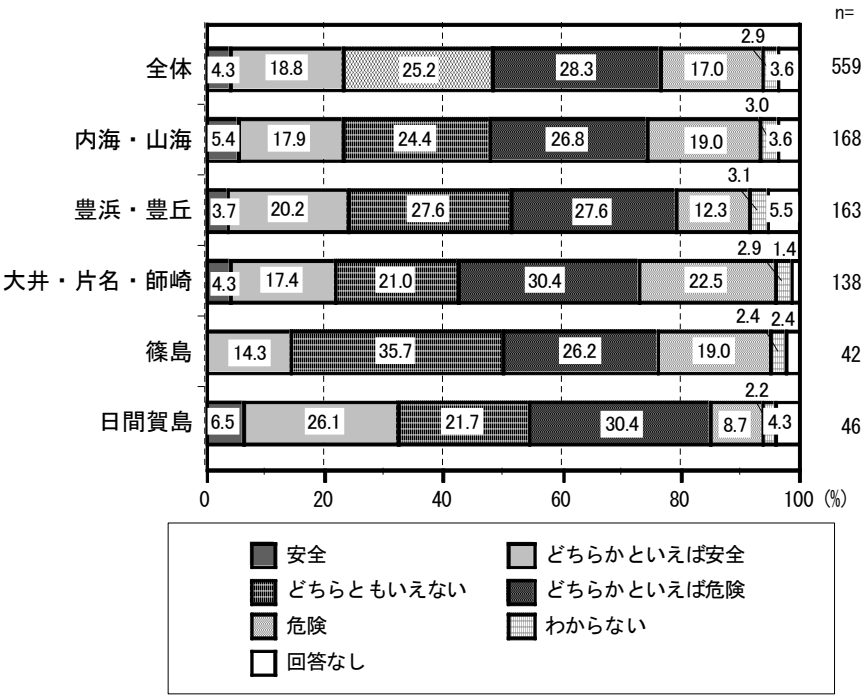
○年齢別にみると、「どちらかといえば危険」と「危険」を合わせた数値は 20 歳代以下で 60.0%、30 歳代で 53.0%、40 歳代で 61.3%と、若い世代の方が、より強く危険と感じています。20 歳代以下では「安全」の割合は 0%でした(図 6-3)。

図6-3 年齢別「居住地の災害に対する安全性」



○居住地区別にみると、大井・片名・師崎地区において「危険」が 22.5%、「どちらかといえ
ば危険」が 30.4%と、半数以上が危険性を感じています。また、日間賀島地区において
は「安全」が 6.5%、「どちらかといえば安全」が 26.1%と高い割合となっています（図
6-4）。

図6-4 居住地区別「居住地の災害に対する安全性」



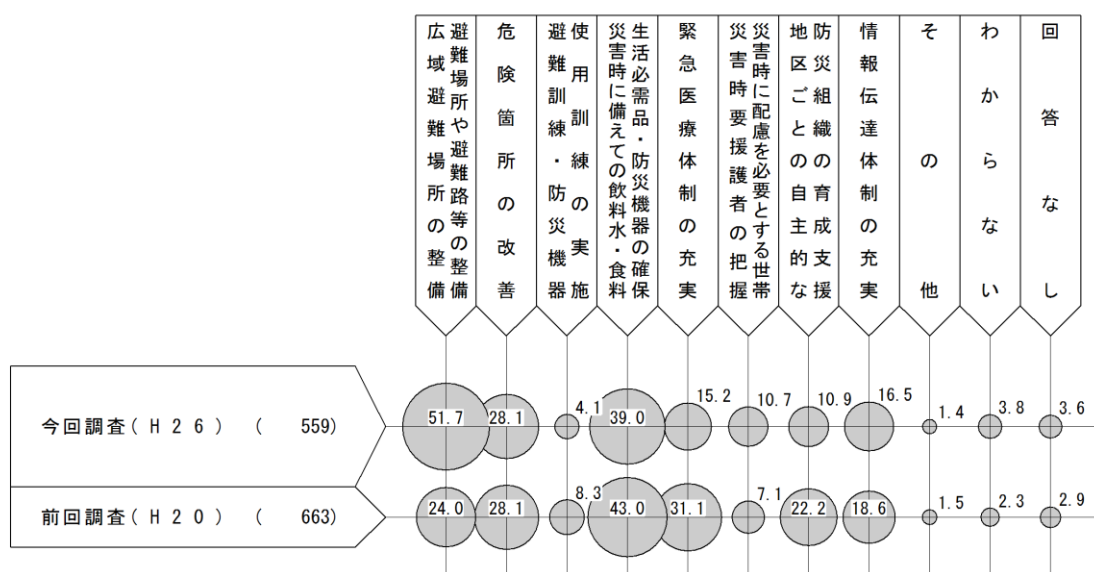
(3) 優先すべき防災対策

問 16 今後の防災対策として、何を優先的に進めるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

優先すべき防災対策としては、「避難場所や避難路等の整備」の割合が最も高く、次いで「災害時に備えての飲料水、食料、生活必需品、防災危機の確保」、「危険箇所の改善」の割合が高くなっています。

- 優先すべき防災対策としては、「避難場所や避難路等の整備」の割合が51.7%と最も高く、次いで「災害時に備えての飲料水、食料、生活必需品、防災危機の確保」、「危険箇所の改善」の割合がそれぞれ、39.0%、28.1%と高くなっています。(図6-5)。
- 前回調査(平成20年度)と比較すると、優先順位が4番であった「避難場所や避難路等の整備」が1番となり、災害発生時についてより具体的に懸念されるようになっていきます(図6-5)。

図6-5 「優先すべき防災対策」前回調査比較



○年齢別にみると、20歳代以下は「情報伝達体制の充実」の割合が24.0%と高くなっています。また、40歳代では「危険箇所の改善」と「緊急医療体制の充実」の割合がそれぞれ、33.9%、25.8%と高くなっています（図6-6）。

○居住地区別にみると、豊浜・豊丘地区と日間賀島地区において「緊急医療体制の充実」の割合がそれぞれ20.9%、26.1%と高くなっています。また、篠島地区では「災害時に備えての飲料水、食料、生活必需品、防災危機の確保」（54.8%）と「危険箇所の改善」（35.7%）の割合が、内海・山海地区および大井・片名・師崎地区では「情報伝達体制の充実」の割合がそれぞれ23.2%、19.6%と高くなっています（図6-7）。

図 6-6 年齢別「優先すべき防災対策」

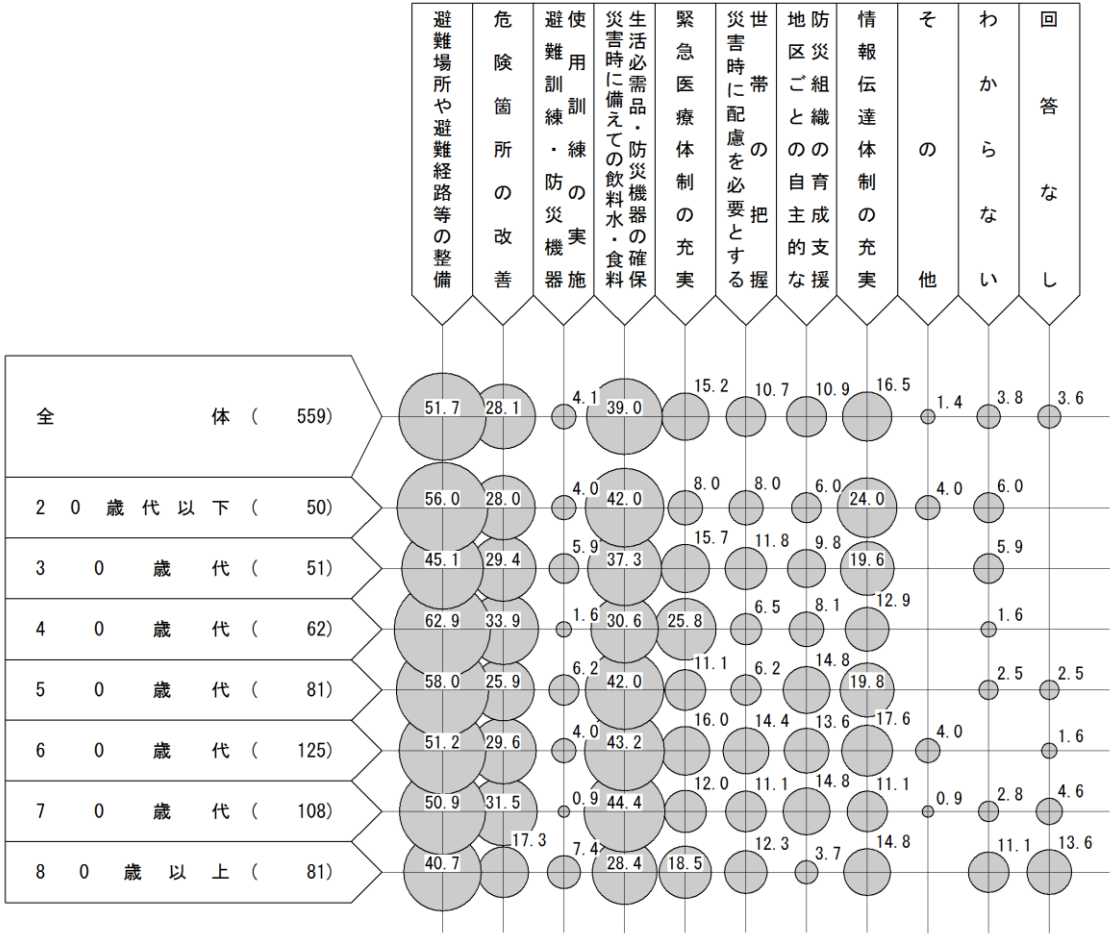
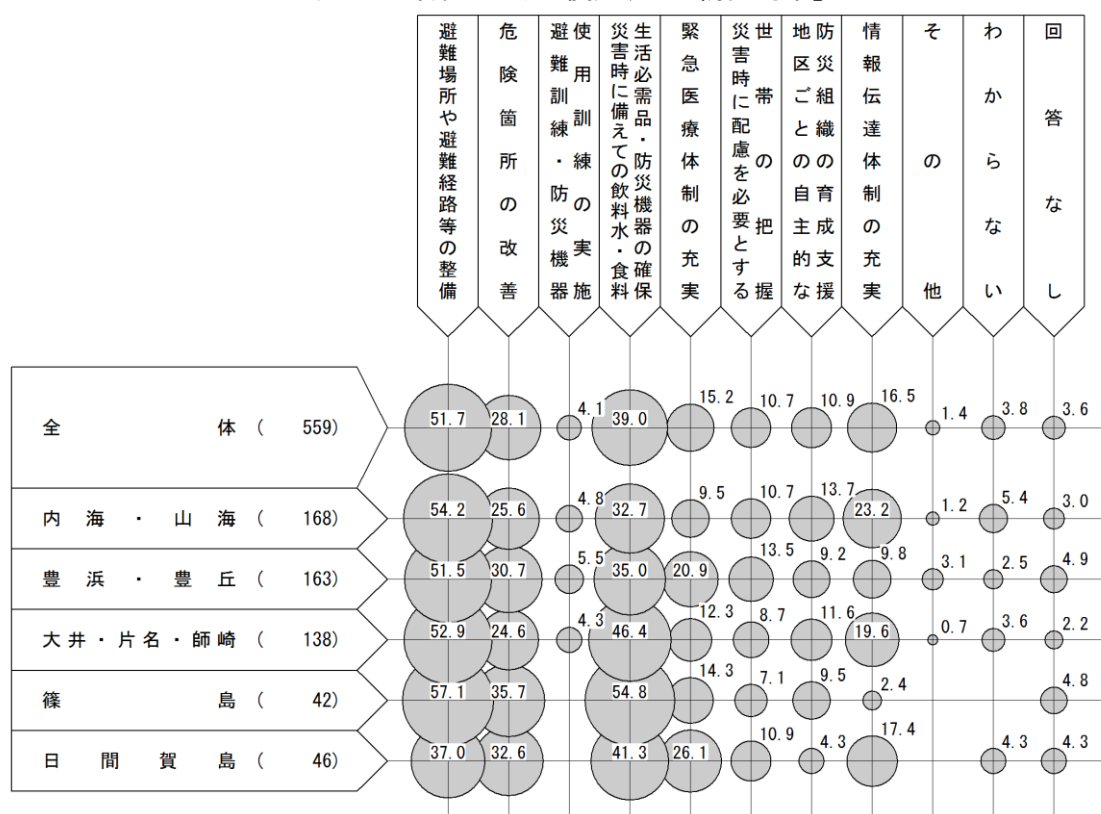


図 6-7 居住地区別「優先すべき防災対策」



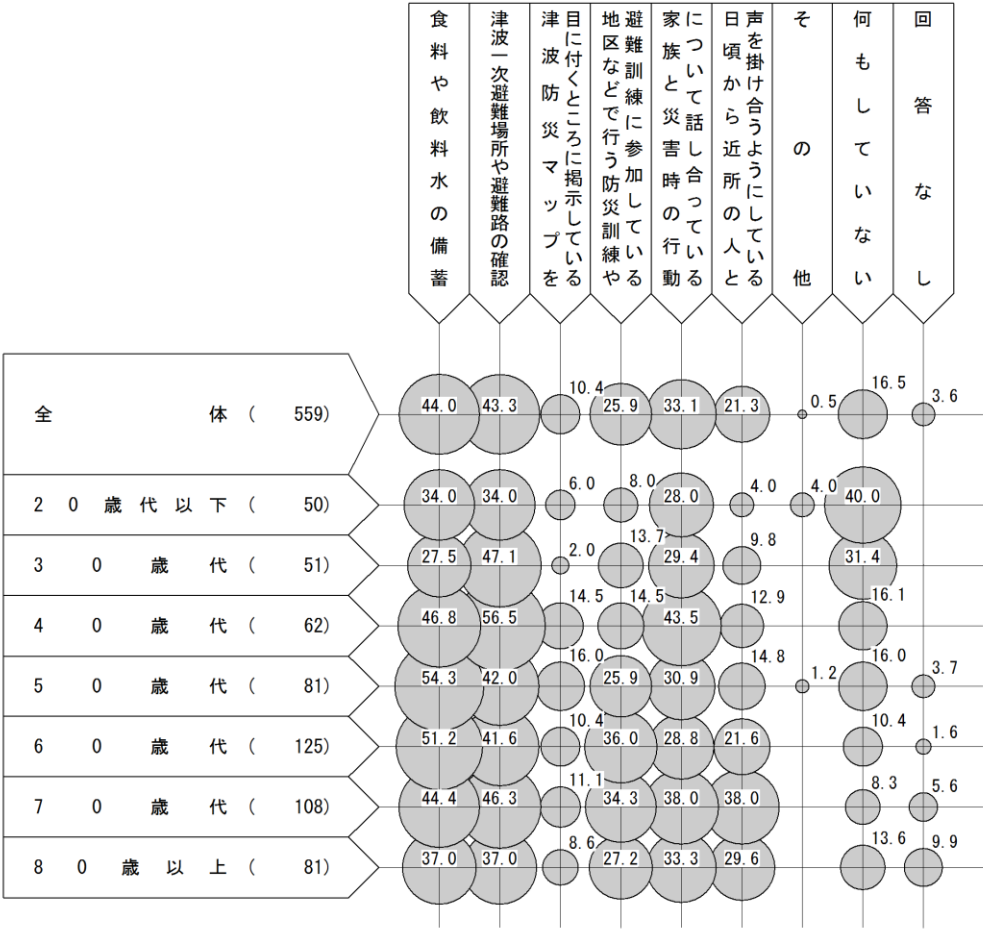
(4) 災害に備えて実行していること

問 17 災害に備えて、あなたが日頃から実行していることは何ですか。あてはまる番号全てに○印をつけてください。

災害に備えて実行していることとしては、「食料や飲料水の備蓄」と「津波一次避難場所や避難路の確保」の割合が特に高く、次いで「家族と災害時の行動について話し合っている」の割合が高くなっています。

- 災害に備えて日頃から実行していることとしては、「食料や飲料水の備蓄」の割合が 44.0%、「津波一次避難場所や避難路の確保」の割合が 43.3%と高くなっています。「家族と災害時の行動について話し合っている」(33.1%)、「地区などで行う防災訓練や避難訓練に参加している」(25.9%)、「日頃から近所の人と声を掛け合うようにしている」(21.3%)と続きます(図 6-8)。
- 年齢別にみると、「何もしていない」の割合は 20 歳代以下で 40.0%、30 歳代で 31.4%と若い世代において、災害対策をしていない人が多くなっています。一方、「地区などで行う防災訓練や避難訓練に参加している」の割合は 50 歳代で 25.9%、60 歳代で 36.0%、70 歳代で 34.3%、80 歳以上で 27.2%と高くなっています(図 6-8)。

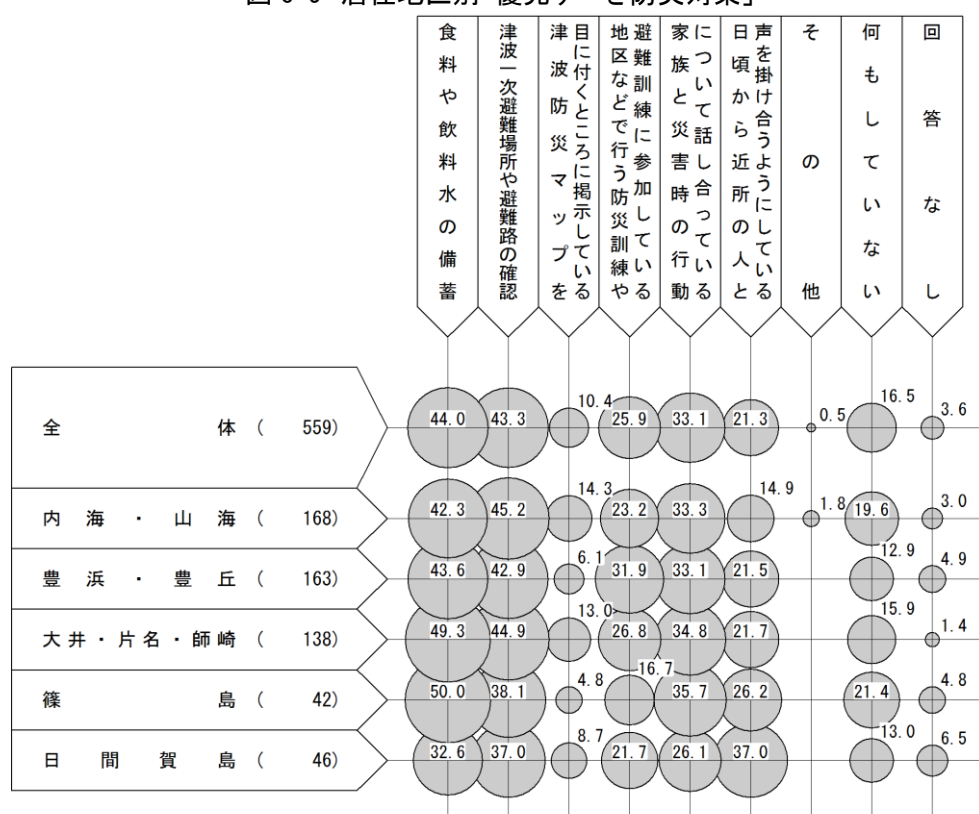
図 6-8 年齢別「災害に備えて実行していること」



○居住地区別にみると、日間賀島地区では「日頃から近所の人と声を掛け合うようにしている」の割合が37.0%と高くなっています。豊浜・豊丘地区では「地区などで行う防災訓練や避難訓練に参加している」の割合が31.9%と高くなっています（図6-9）。

○篠島地区と内海・山海地区では「何もしていない」の割合がそれぞれ、21.4%、19.6%と高くなっています（図6-9）。

図6-9 居住地区別「優先すべき防災対策」



第7章 教育振興について

(1) 小規模校の長所・短所

問 18 本町では、少子化とともに児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでおり、6年後の平成 32 年度には、すべての中学校のすべての学年で単学級（1 クラスのみ）になることが推計されています。小規模校の長所、短所について、あなたが重要だと思う項目をそれぞれ2つまで選び、番号に○印をつけてください。

小規模校の長所としては、「子どもたちに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい」の割合が最も高くなっています。それに対し短所としては、「集団の中で多様な考えに触れたり切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」、「クラス替えがなく人間関係や相互の評価などが固定化されやすい」、「部活動などの設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい」などの割合が高くなっています。

○小規模校の長所としては、「子どもたちに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい」の割合が 66.4%と最も高くなっています。「子ども同士の人間関係が深まりやすい」の割合が 26.3%、「保護者や地域社会との連携が図りやすい」の割合が 24.3%と続きます（図 7-1）。

○年齢別でみると、子育て世代である 20 歳代以下、30 歳代で「子ども同士の人間関係が深まりやすい」の割合が、それぞれ 42.0%、37.3%と高くなっています（図 7-1）。

○居住地区別でみると、日間賀島地区において「保護者や地域社会との連携が図りやすい」の割合が 32.6%と高くなっています。篠島地区においては「学校行事、部活動などで、一人ひとりの子どもの活躍の場が多い」の割合が 19.0%と高くなっています。（図 7-2）。

○小規模校の短所としては、「集団の中で多様な考えに触れたり切磋琢磨したりする機会が少なくなりやすい」の割合が 44.2%、「クラス替えがなく人間関係や相互の評価などが固定化されやすい」の割合が 41.1%、「部活動などの設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい」の割合が 38.8%と複数の選択肢に分かれました（図 7-3）。

○年齢別でみると、子育て世代である 30 歳代、40 歳代で「PTA活動などにおける保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい」の割合が、それぞれ 33.3%、21.0%と高くなっています。また、30 歳代では「教員数が少ないため、経験年数や教科などの面で教員構成が偏りやすい」の割合が 17.6%と高くなっています（図 7-3）。

○居住地区別でみると、内海・山海地区において「集団の中で多様な考えに触れたり切磋琢磨したりする機会が少なくなりやすい」、「部活動などの設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい」の割合がそれぞれ、48.2%、42.3%と最も高くなっています。日間賀島地区において「特になし」の割合が 17.4%と最も高くなっています（図 7-4）。

図 7-1 年齢別「小規模校の長所」

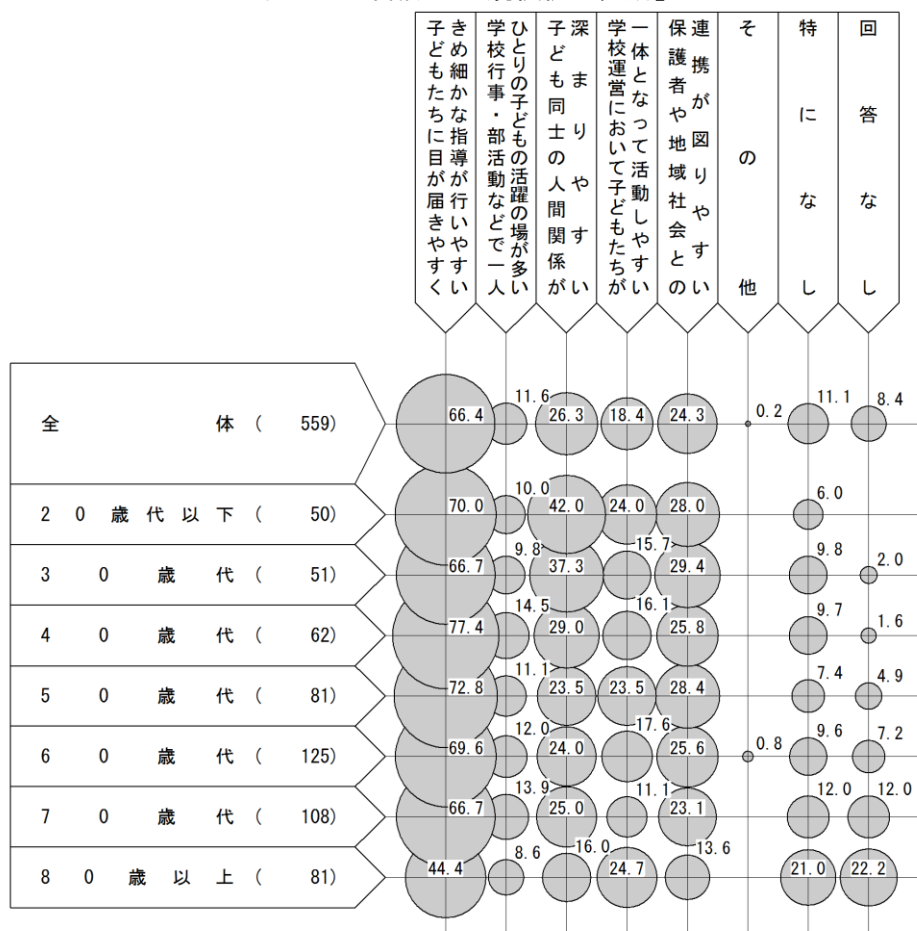


図 7-2 居住地区別「小規模校の長所」

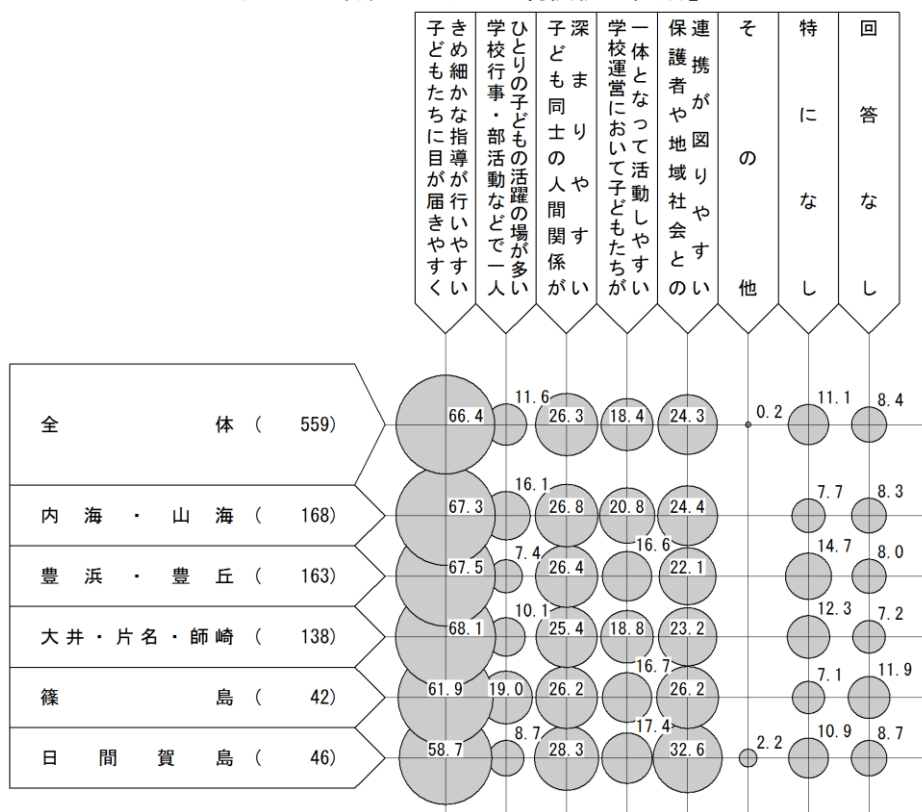


図 7-3 年齢別「小規模校の短所」

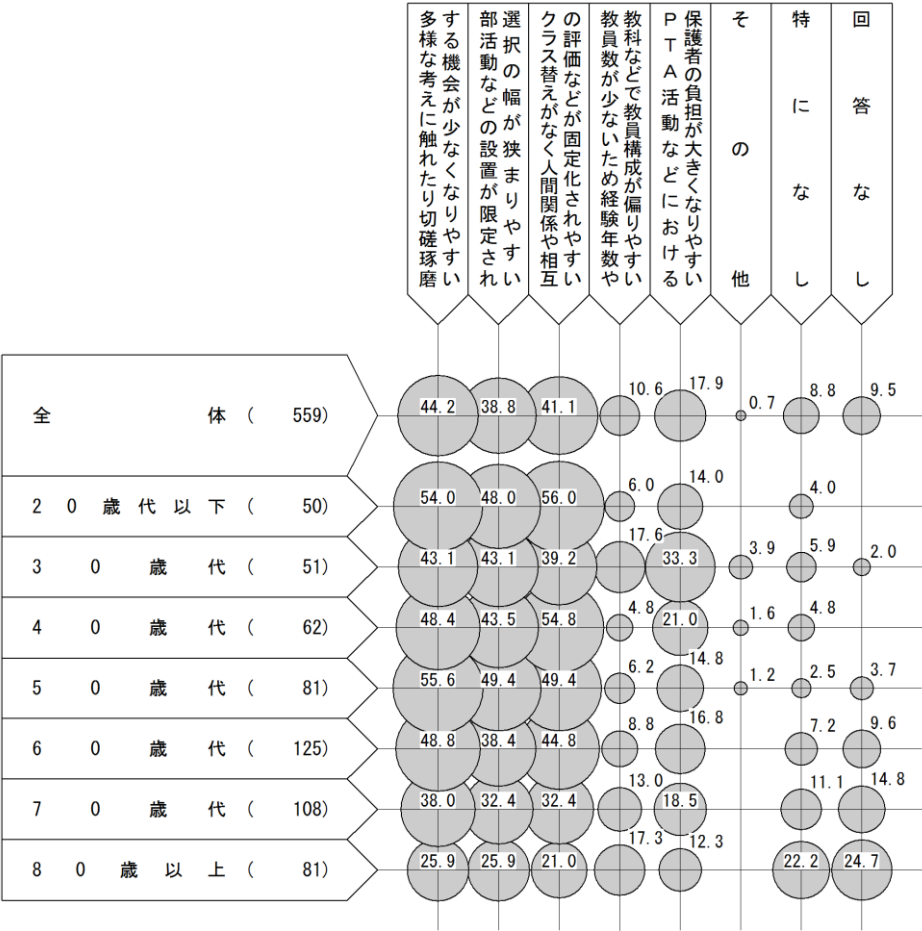
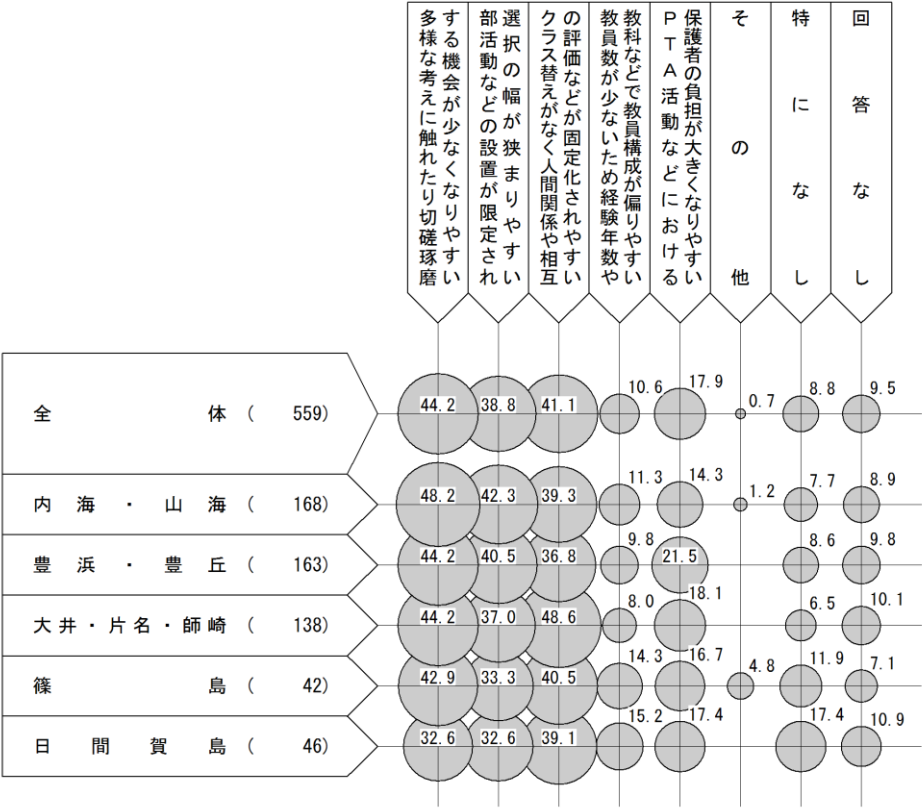


図 7-4 居住地区別「小規模校の短所」



(2) 学校の配置に関する対応

問 19 教育委員会では、平成 18 年 2 月に「小学校を 5 校・中学校を 1 校に統合する基本構想」を策定しましたが、今後の学校の配置に関する対応で、あなたの考えに一番近いものはどれですか。次の中から 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

今後の学校の配置に関する対応としては、「小学校と中学校の連携を進めるなど小規模校の短所を減らす努力をしながら、現状を維持したほうがよい」の割合が最も高く、「小規模校の長所を生かすため、現状を維持すべきである」を合わせると、4割以上が現状維持を望み、「小規模校の短所を回避するため、学校の統合はやむを得ない」と「子ども達の教育環境を充実させるため、学校の統合はやむを得ない」を合わせると、約3割が統合を望んでいます。

- 今後の学校の配置に関する対応としては、「小学校と中学校の連携を進めるなど小規模校の短所を減らす努力をしながら、現状を維持したほうがよい」の割合が 25.0%と最も高く、「小規模校の長所を生かすため、現状を維持すべきである」(16.1%)を合わせると、41.1%が現状維持を望んでいます。一方、「小規模校の短所を回避するため、学校の統合はやむを得ない」(20.2%)と「子ども達の教育環境を充実させるため、学校の統合はやむを得ない」(9.7%)を合わせると、29.9%が統合を望んでいます。また「わからない・判断ができない」の割合も 18.8%と高くなっています(図 7-5)。
- 年齢別にみると、若い世代において現状維持を望む割合が高く、特に 30 歳代、40 歳代においてはそれぞれ、58.9%、51.6%と非常に高くなっています。60 歳代において統合を望む割合が 36.8%と最も高くなっています(図 7-5)。
- 居住地区別にみると、篠島地区、日間賀島地区において「小規模校の長所を生かすため、現状を維持すべきである」の割合がそれぞれ、28.6%、26.1%と高く、「小学校と中学校の連携を進めるなど小規模校の短所を減らす努力をしながら、現状を維持したほうがよい」を合わせると、半数以上が現状維持を望んでおり、「小規模校の短所を回避するため、学校の統合はやむを得ない」の割合がそれぞれ、4.8%、2.2%と非常に低くなっています(図 7-6)。
- 大井、片名・師崎地区においては「小規模校の短所を回避するため、学校の統合はやむを得ない」の割合が 26.8%と最も高くなっています(図 7-6)。

図 7-5 年齢別「学校の配置に関する対応」

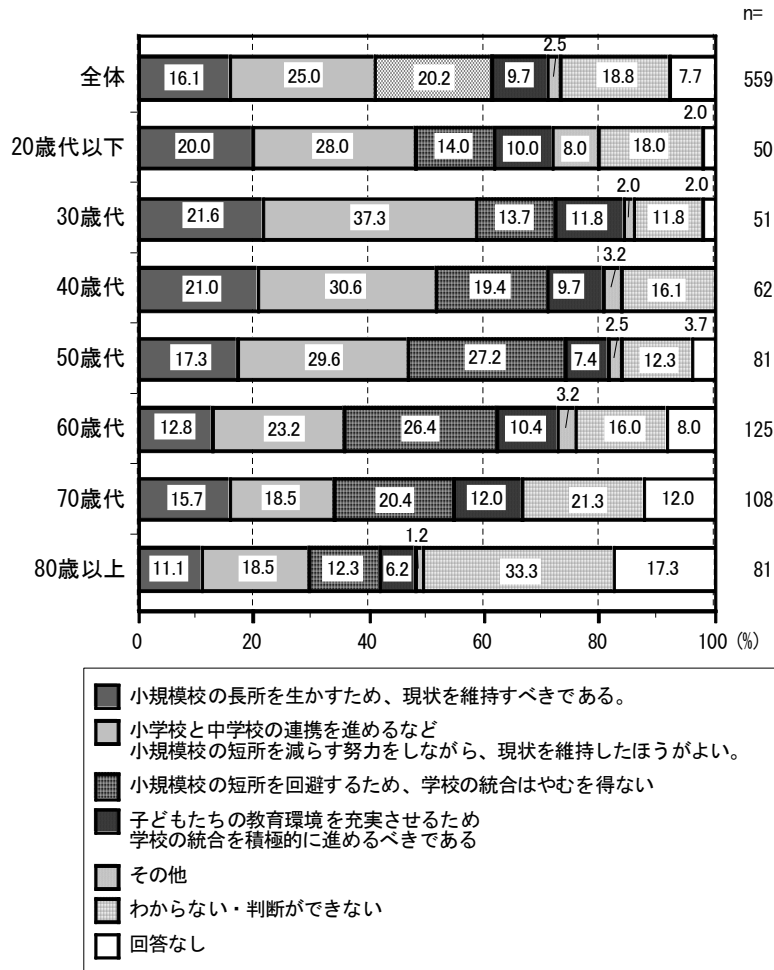
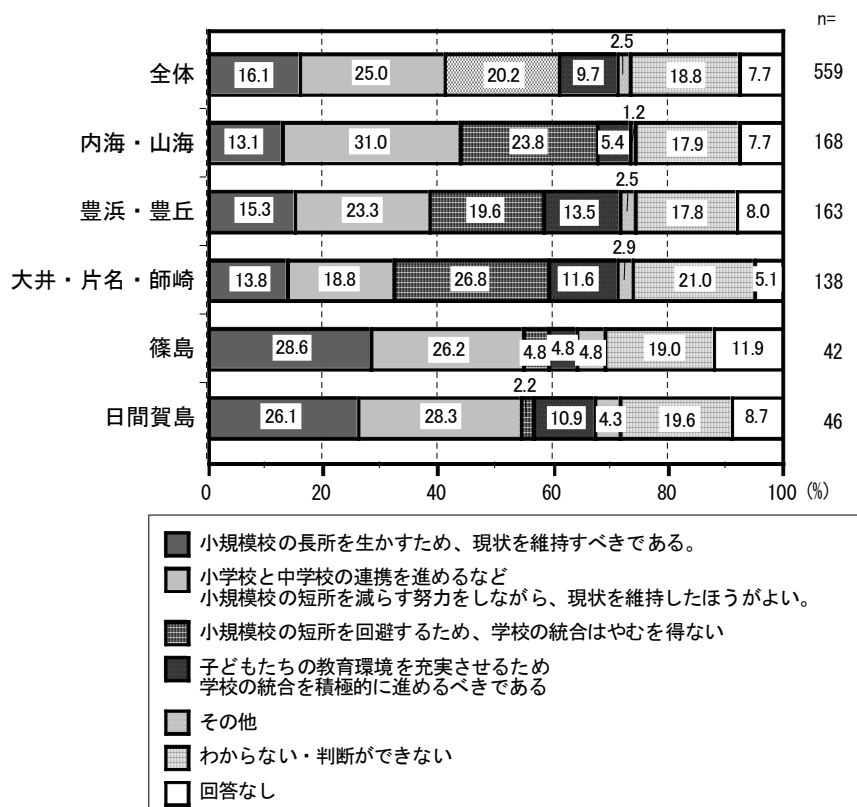


図 7-6 居住地区別「学校の配置に関する対応」



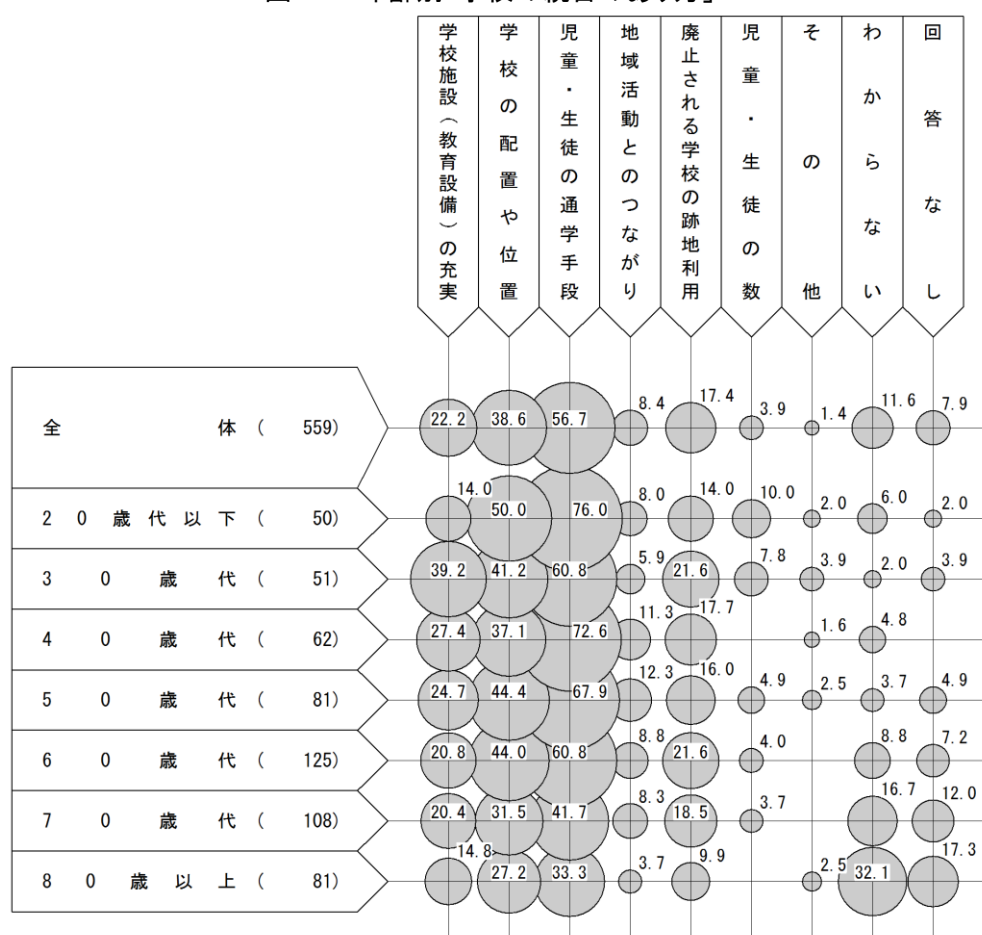
(3) 学校の統合のあり方

問 20 現在、南知多町内には小学校が6校、中学校が5校あります。今後、学校の統合のあり方を検討するとしたら、特にどのような点に配慮を要すると思われますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

学校の統合のあり方を検討するとしたら、配慮すべき点については「児童・生徒の通学手段」の割合が最も高くなっています。次いで、「学校の配置や位置」の割合が高くなっています。

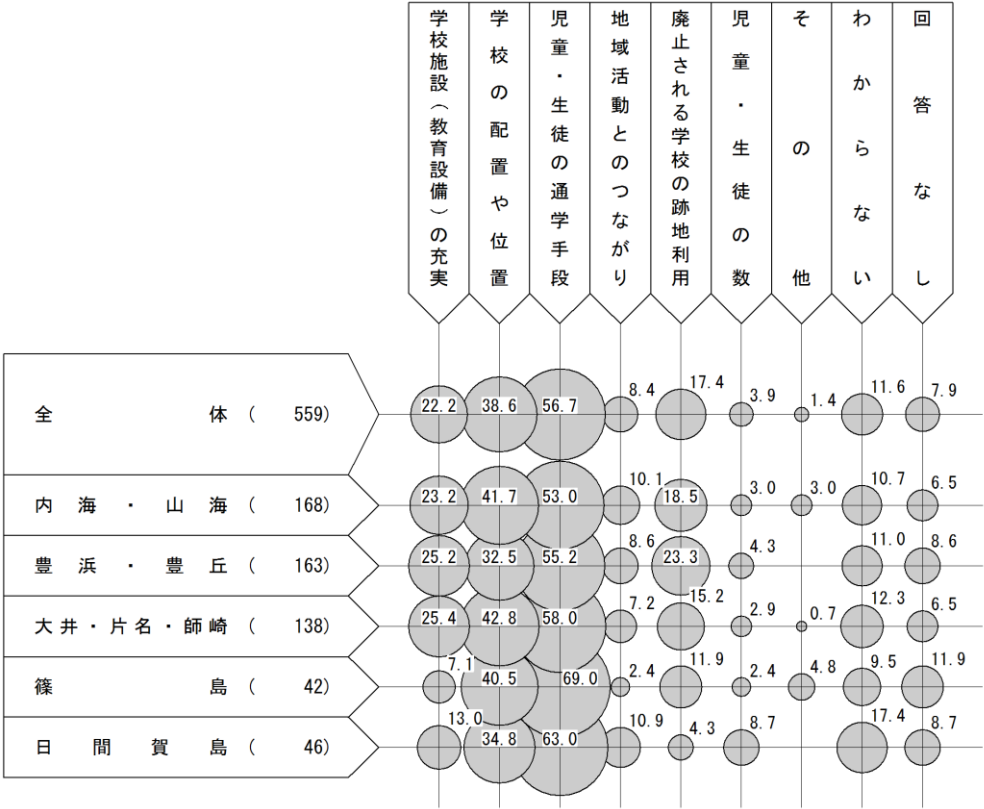
○今後、学校の統合のあり方を検討するとしたら、配慮すべき点としては「児童・生徒の通学手段」の割合が 56.7%と最も高くなっています。次いで、「学校の配置や位置」の割合が 38.6%、「学校施設（教育施設）の充実」の割合が 22.2%と高くなっています（図 7-7）。
○年齢別にみると、子育て世代である 30 歳代、40 歳代では「学校施設充実」の割合がそれぞれ、39.2%、27.4%と高くなっています。また、30 歳代と 60 歳代で「廃止される学校の跡地利用」の割合がともに 21.6%と高くなっています（図 7-7）。

図 7-7 年齢別「学校の統合のあり方」



○居住地区別にみると、篠島地区、日間賀島地区において「児童・生徒の通学手段」の割合がそれぞれ、69.0%、63.0%と高く、「学校施設（教育施設）の充実」の割合は低くなっています。豊浜・豊丘地区において「廃止される学校の跡地利用」の割合が23.3%と最も高くなっています（図7-8）。

図 7-8 居住地区別「学校の統合のあり方」



第8章 参加と協働の地域づくりについて

(1) 住民活動の状況

問 21 あなたは、どのような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目について1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

住民活動の状況については、「今、活動している」や「参加した経験がある」を合わせた割合は、地域のまちづくりに関わる活動が最も高く、次いで環境に関わる活動において高くなっています。一方、福祉や教育・文化に関わる活動においては「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合が高く、関心が高くなっています。

○住民活動の状況については、「今、活動している」や「参加した経験がある」を合わせた割合は、地域のまちづくりに関わる活動や環境に関わる活動においてそれぞれ63.3%、59.4%と高くなっています。また、福祉や教育・文化に関わる活動においては「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合が、それぞれ36.0%、28.3%と高く、関心が高くなっています（図8-1）。

○前回調査（平成20年度）と比較しても、大きな違いはありません（図8-2）。

○居住地区別にみると、内海・山海地区において、いずれの活動に関しても、「今、活動している」の割合が高く、住民活動が活発のようです（図8-3）。

図8-1 「住民活動の状況」

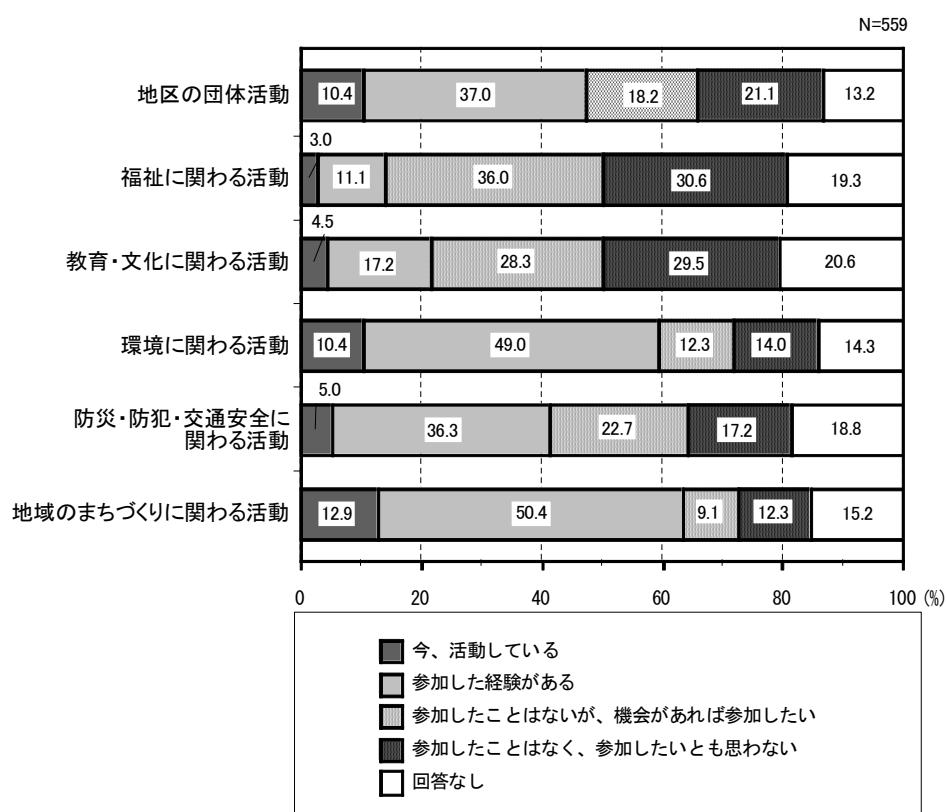


図8-2 「住民活動の状況」前回調査比較

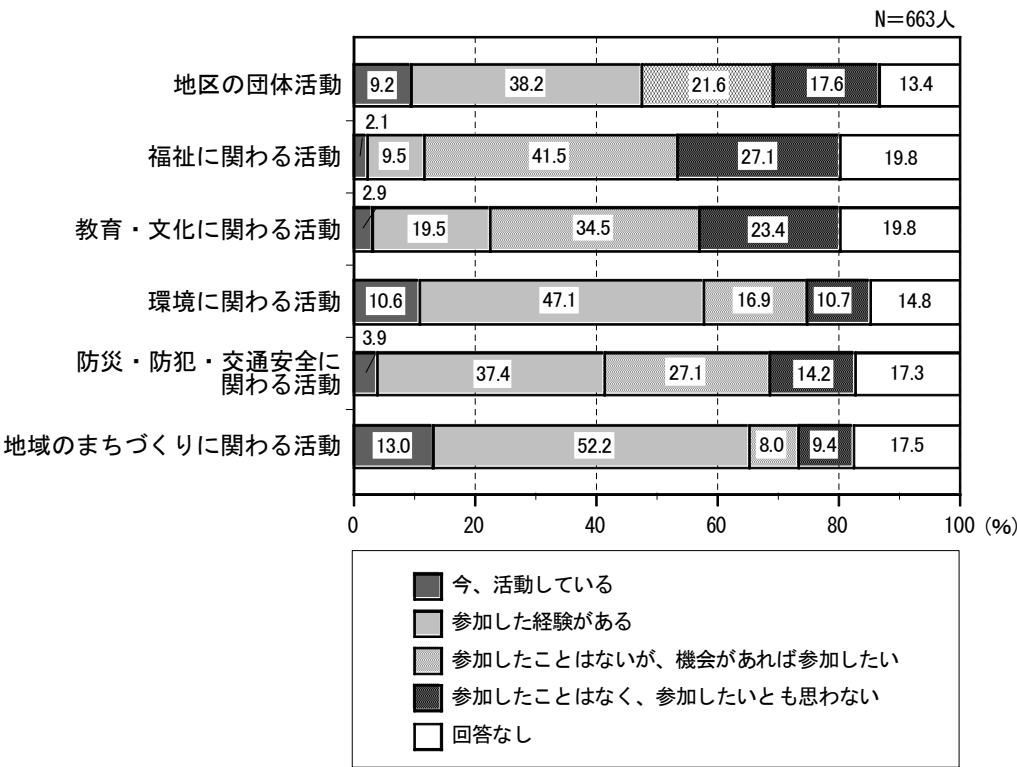
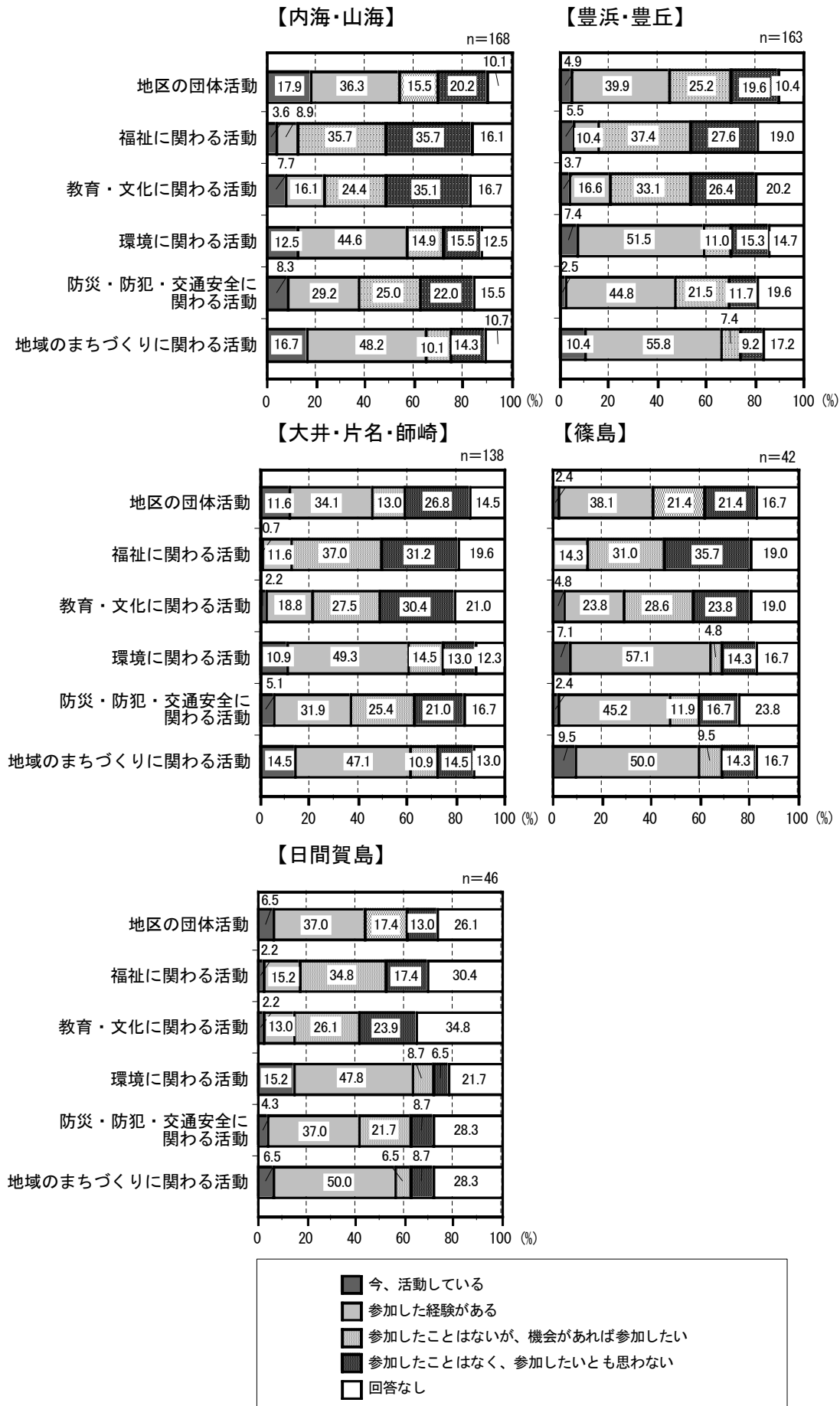


図8-3 居住地区別「住民活動の状況」



(2) 住民主体のまちづくりの促進方策

問 22 住民参加や住民主体のまちづくりを促進するうえで、町としてどのようなことを行うべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを 1 つ選び、番号に○印をつけてください。

住民主体のまちづくりの促進方策としては、「まちづくりについて考えたり、参加したりできる場や機会を提供する」と「まちづくりに関するさまざまな情報を提供する」の割合が高くなっています。

○住民主体のまちづくりの促進方策としては、「まちづくりについて考えたり、参加したりできる場や機会を提供する」(22.9%) と「まちづくりに関するさまざまな情報を提供する」(22.2%) の割合が高くなっています(図8-4)。

○前回調査(平成20年度)と比較すると、「まちづくり活動のための地域組織、体制づくりを行う」の割合が21.0%から11.4%へと低くなっています。また、「わからない」の割合が12.7%から17.5%へと高くなっています(図8-4)。

○年齢別にみると、40歳代以下の若い世代において「まちづくり活動を行うための活動費などを支援する」の割合が高くなっています。また、20歳代以下、50歳代、60歳代では「まちづくりについて考えたり、参加したりできる場や機会を提供する」の割合がそれぞれ30.0%、29.6%、32.0%と高くなっており、40歳代では「まちづくり活動のための地域組織、体制づくりを行う」の割合が17.7%と高くなっています(図8-5)。

図8-4 「住民主体のまちづくりの促進方策」前回調査比較

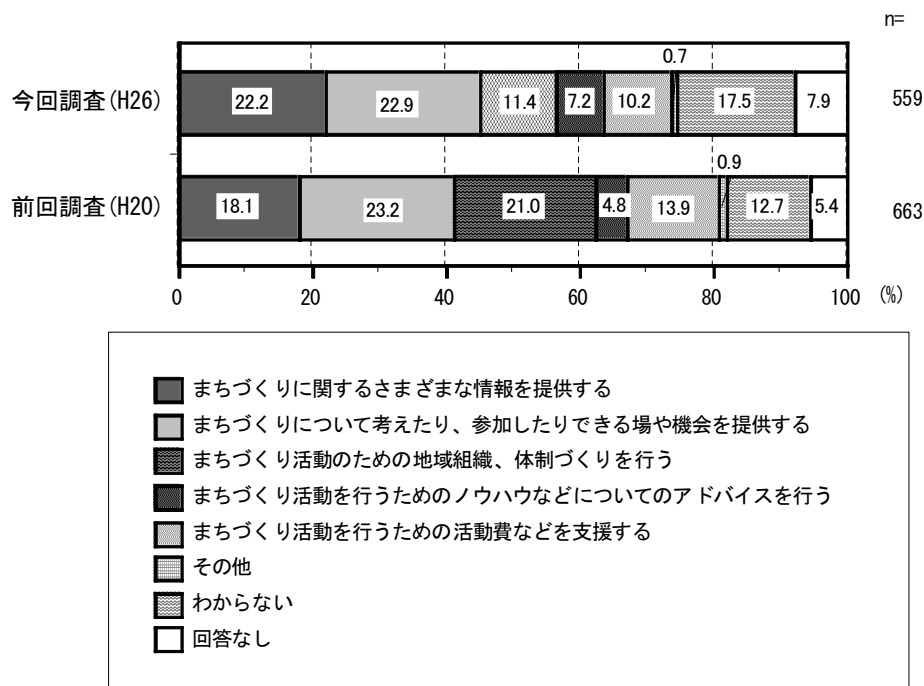
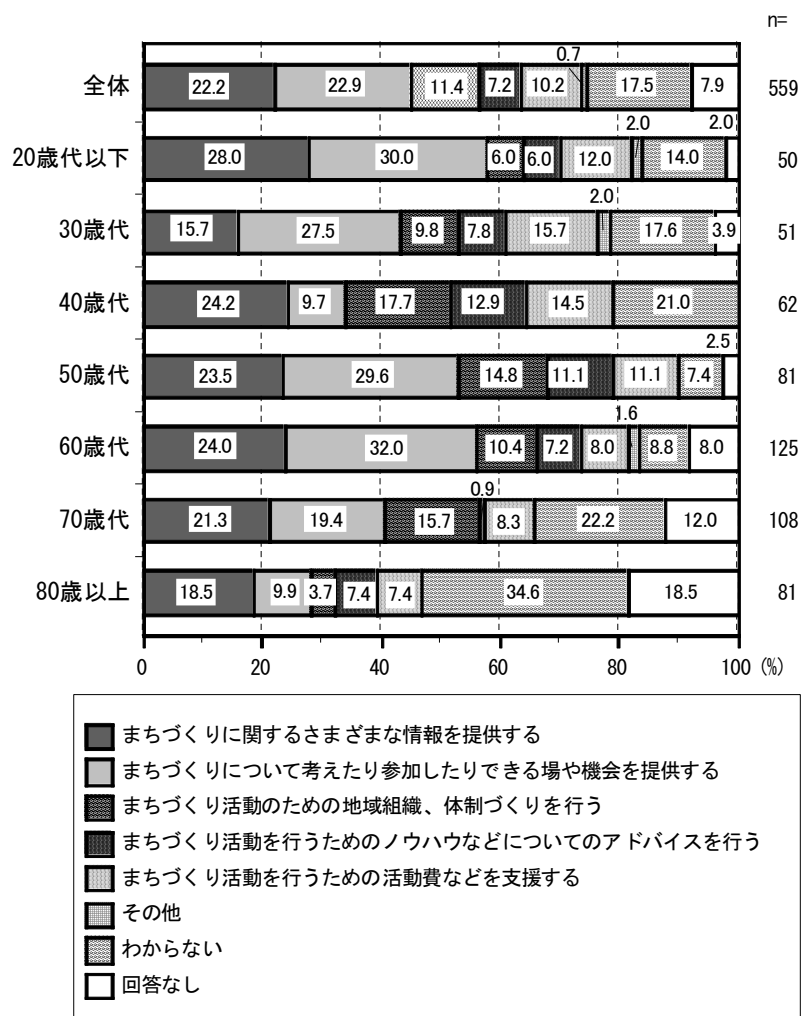
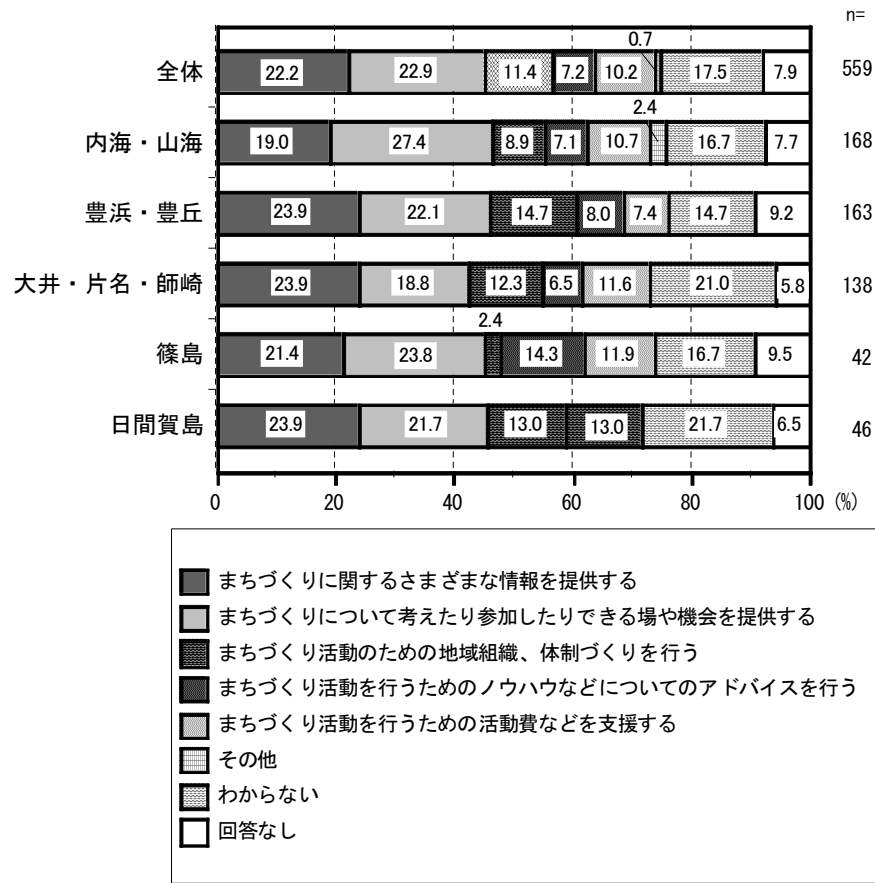


図8-5 年齢別「住民主体のまちづくりの促進方策」



○居住地区別にみると、篠島地区において、「まちづくり活動を行うためのノウハウなどについてアドバイスを行う」の割合が 14.3%と高く、「まちづくり活動のための地域組織、体制づくりを行う」(2.4%)の割合が低くなっています(図 8-6)。

図8-6 居住地区別「住民主体のまちづくりの促進方策」



(3) まちづくりにおける行政と住民の関係

問 23 あなたがお住まいの地域をより良くするためのまちづくりを進める方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。あなたのお考えに近いものを 1 つ選び、番号に○印をつけてください。

まちづくりにおける行政と住民との関係として、「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」の割合が最も高く、次いで「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」の割合も高くなっています。

○まちづくりにおける行政と住民との関係として、「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」(17.5%)が高く、住民と行政との協働まちづくりの意識は高まっています(図 8-7)。

○前回調査(平成 20 年度)と比較すると、「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」の割合が 27.0%から 17.5%に低くなっています(図 8-7)。

○年齢別にみると、30 歳代、50 歳代において「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」の割合がそれぞれ、47.1%、53.1%と高い割合を占め、20 歳代以下では「住民が主体となって取り組み、行政はあくまでも側面から支援する」が 16.0%と最も高くなっています(図 8-8)。

図8-7 「まちづくりにおける行政と住民の関係」前回調査比較

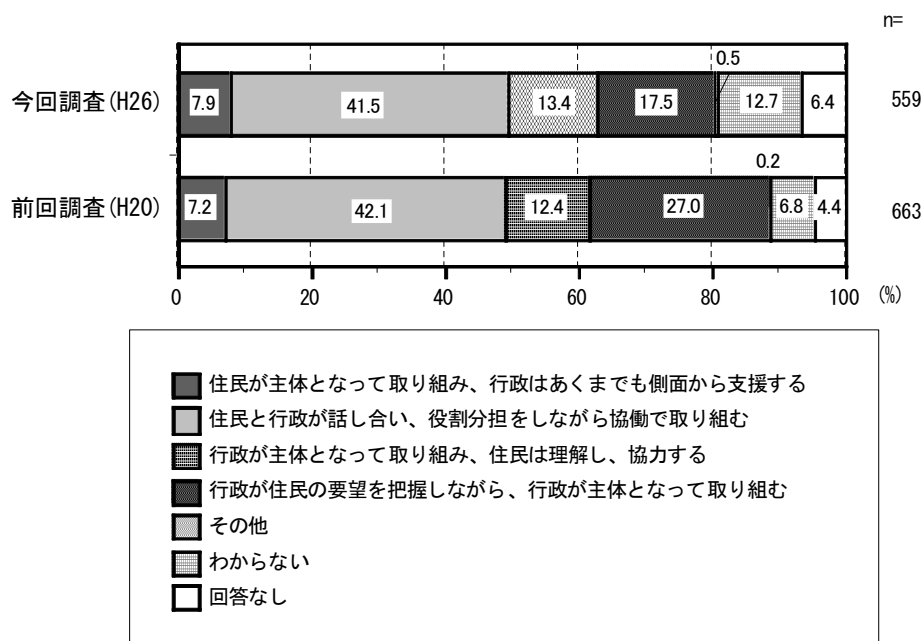
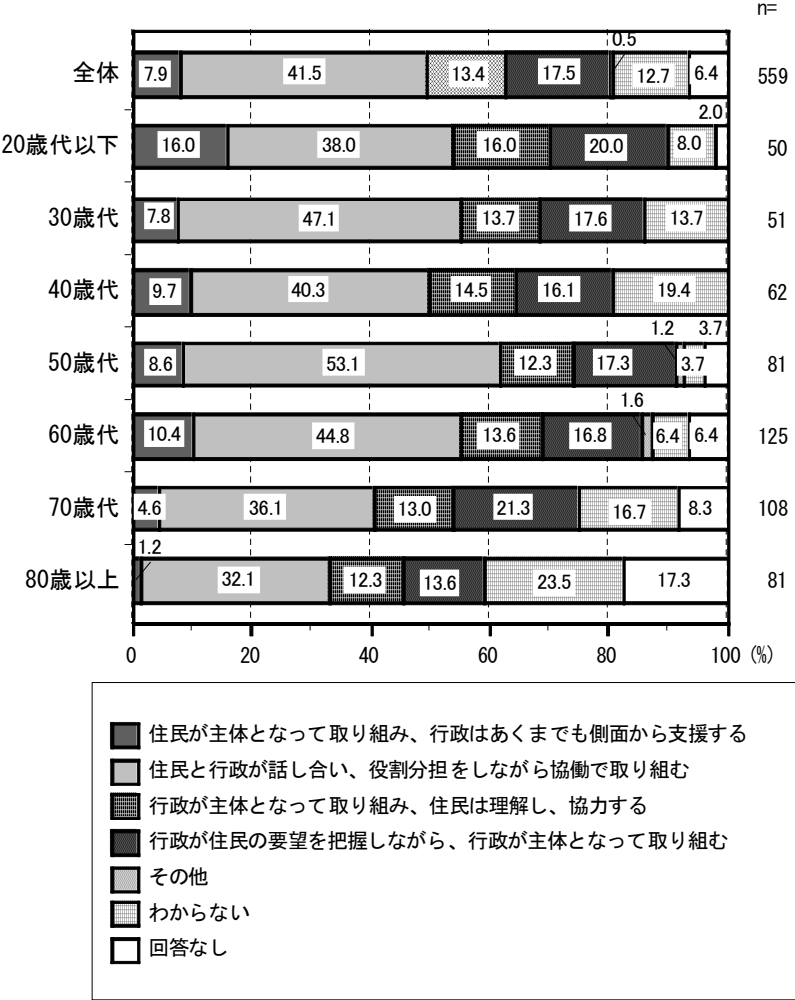
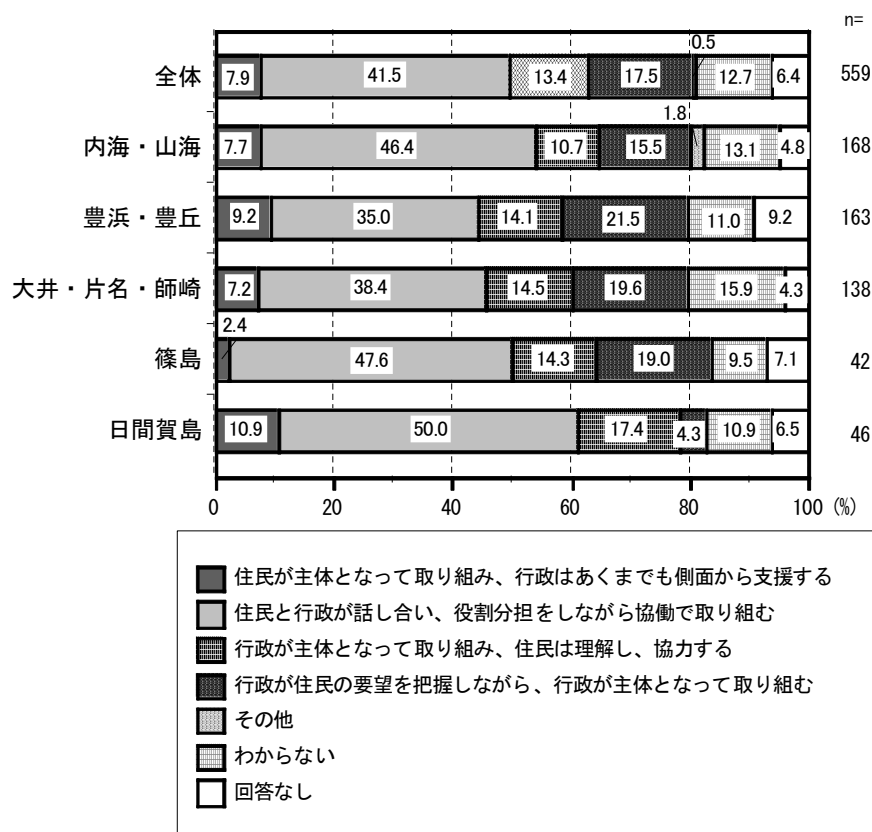


図8-8 年齢別「まちづくりにおける行政と住民の関係」



○居住地区別にみると、いずれの地区においても「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」の割合が最も高くなっています。豊浜・豊丘地区においては「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」の割合が21.5%、日間賀島地区においては「行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する」の割合が17.4%と高くなっています（図8-9）。

図8-9 居住地区別「まちづくりにおける行政と住民の関係」



第9章 男女共同参画について

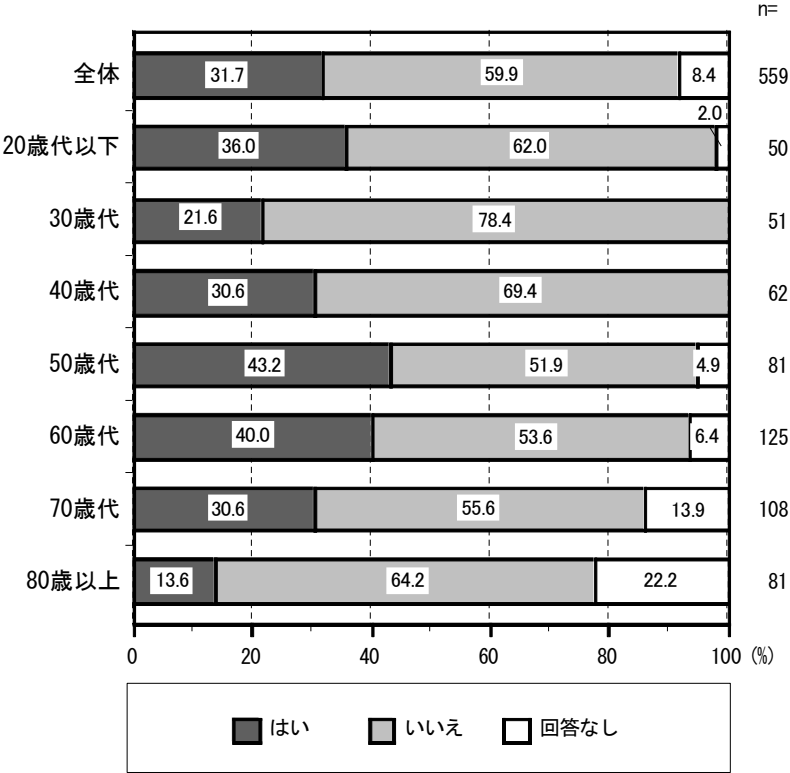
(1) 男女共同参画の周知度

問 24 本町では、平成 25 年 3 月に男女共同参画基本計画「南知多ひまわりプラン」を策定しましたが、あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

男女共同参画については約3割の人に周知されています。

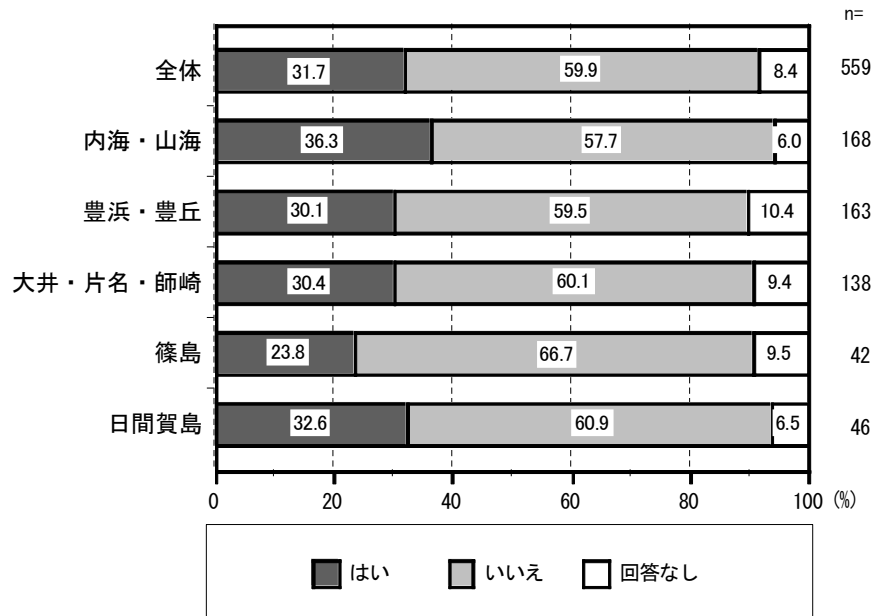
- 男女共同参画については「はい（知っている）」の割合が 31.7%、「いいえ（知らない）」の割合が 59.9%となっています（図 9-1）。
- 年齢別にみると、50 歳代、60 歳代においては「はい（知っている）」の割合が 4 割以上と高くなっています。80 歳以上、30 歳代においてはそれぞれ、13.6%、21.6%と低くなっています（図 9-1）。

図9-1 年齢別「男女共同参画の周知度」



○居住地区別にみると、篠島地区において、「いいえ（知らない）」の割合が 66.7%と最も高くなっています（図 9-2）。

図9-2 居住地区別「男女共同参画の周知度」



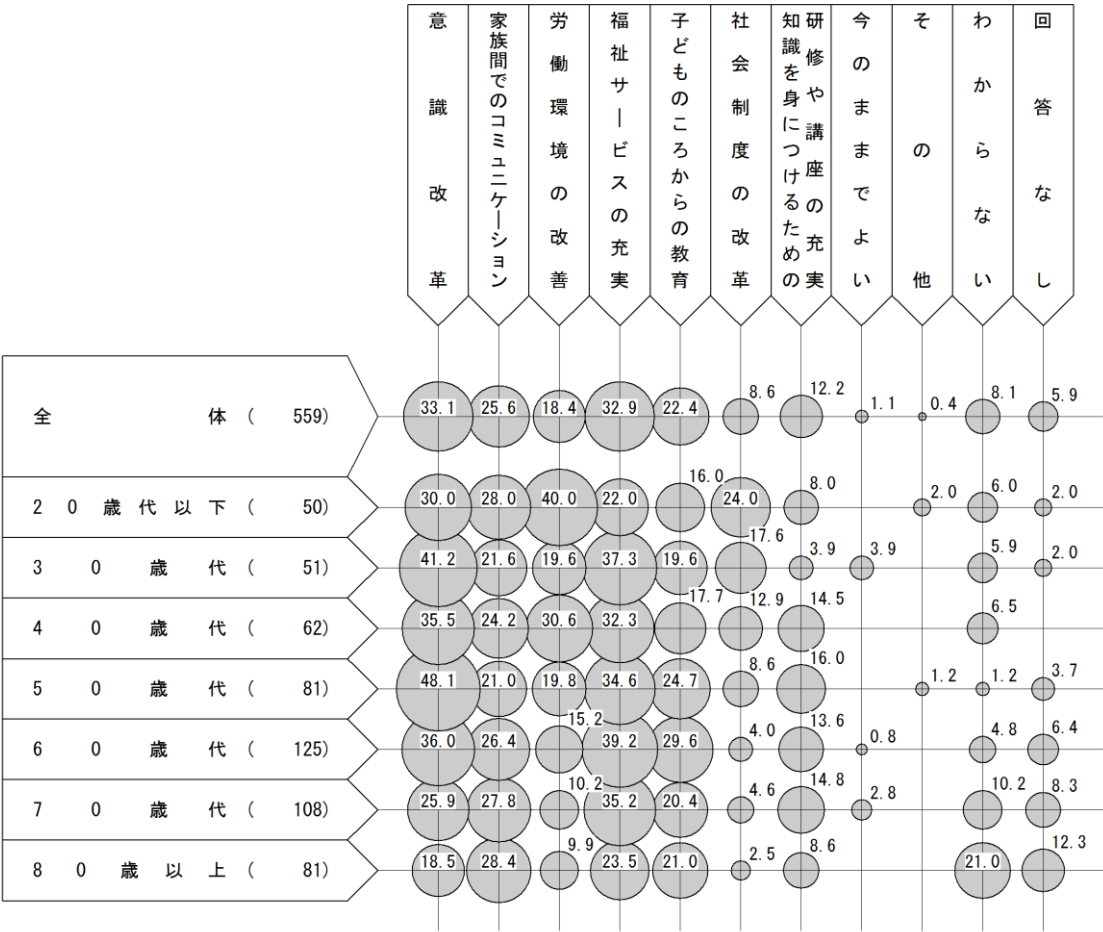
(2) 男女共同参画推進のために

問 25 今後、男女ともに家事、子育て、高齢者の介護、仕事、地域活動への積極的な参加を促していくためには、次のどのようなことが必要あるいは重要になると思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

男女共同参画を推進する上で、必要あるいは重要なのは、「意識改革」の割合が最も高く、次いで「家族間でのコミュニケーション」、「子どものころからの教育」の割合も高くなっています。

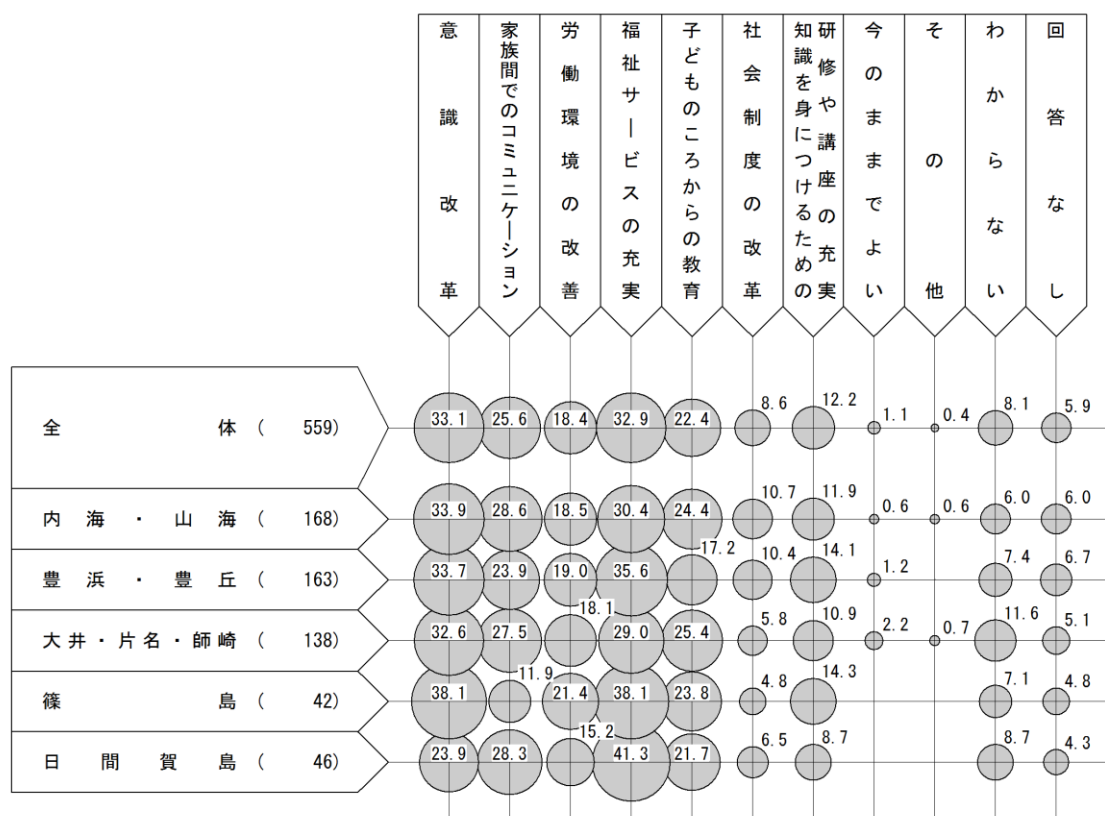
○男女共同参画を推進する上で、必要あるいは重要なのは、「意識改革」の割合が33.1%、「福祉サービスの充実」の割合が32.9%と高くなっています。次いで「家族間でのコミュニケーション」(25.6%)、「子どものころからの教育」(22.4%)が高くなっています。(図9-3)。
○年齢別にみると、20歳代以下では、「労働環境の改善」の割合が40.0%と最も高く、「社会制度の改革」も24.0%と高くなっています。30歳代、40歳代、50歳代では、「意識改革」がそれぞれ、41.2%、35.5%、48.1%と最も高くなっています(図9-3)。

図9-3 年齢別「男女共同参画推進のために」



○居住地区別にみると、日間賀島地区において「福祉サービスの充実」の割合が41.3%と最も高くなっています。篠島地区においては「意識改革」と「福祉サービスの充実」の割合がともに38.1%と最も高くなっています（図9-4）。

図9-4 居住地区別「男女共同参画推進のために」



■資料

自由意見

【総括表】

	件数		件数
道路整備・公共交通整備	12	教育・青少年育成	7
車のための道路	1	学校教育について	1
公共交通機関(鉄道・バスなど)	9	学校施設について	1
その他	2	学校その他	3
防犯	1	青少年育成	2
上記以外の防犯	1	産業(現状・展望)	8
防災	7	観光	3
地震や台風などの天災に対する防災	6	就業の場や機会	3
上記以外の防災	1	その他	2
公害	1	まちの活性化(案)	13
騒音	1	観光振興	8
マナー	7	工業振興・企業誘致	1
ごみのポイ捨て	1	商業施設誘致	1
ペット関係	1	その他	3
その他	5	町への意見	17
地域や近隣との人間関係	2	役場の窓口に対応	1
下水道整備	1	役場の人材に対する意見	4
医療	1	税金について	2
母子・児童の医療	1	行財政運営	3
子育て支援	2	その他	7
保育園・幼稚園	1	まちづくりの要望・提案	21
その他	1	要望	13
高齢者福祉	6	具体的な提案	3
その他	6	人口減少について	5
障害者福祉	2	このアンケートについての意見	3
生涯学習	1	その他	8
文化・芸術	1		

【主なご意見（抜粋）】

1. 道路整備・公共交通整備

城下公園から東へ出る道路の右側が本当に見えにくくて危険。カーブミラーをつけてほしい。内海に出来た新しいバイパス道路はすごく便利で助かっている。せっかくなので、海まで行けるようにした方が観光地として遊びに来やすくなるのでは？	-	40 歳代	内海・山海
医者に行くのに船賃が高すぎる。年金生活なので、もう少し下げてほしい。	男性	80 歳以上	篠島
海っ子バスがあつて良かった。	女性	70～74 歳	内海・山海
高校、病院へ通うのに、毎日船代が高いのが痛い。観光客も船代の高さにびっくりしている。船が足だから、もっと安くみんなが安心して通えるような運賃になるようお願いしたい。	男性	70～74 歳	篠島
高校への通学が大変不便な地域であると、経験から実感している。若い世代が鉄道のある地域へ引っ越してしまう原因の一つではないかと思う。	女性	50 歳代	豊浜・豊丘
子どもが小さい頃は買い物に不便位にしか思っていなかったが、高校生になるとバス代が高いため、ほとんどの親が送り迎えするようになり、その子どもが大人になり通勤に不便である事から豊浜から出て町外に住むようになる。町外には働く場所が多いし、通勤の事を考えれば引っ越してしまう。いつまでも住んでいられるようなまちであってほしいと願うが、現状に不安を感じずにはいられない。	女性	50 歳代	豊浜・豊丘
知多新線がもう少し安くなれば、高校生も大学生も海に来てくれるのではないかな。	女性	40 歳代	内海・山海
交通弱者のための海っ子バスについて。バス停の間隔をもっと短く。バス停の数を増やす。役所・銀行・郵便局・病院・社寺及び各商店に置く。また、椅子やトイレも利用できるといい。西海岸線交通ルートの新設。師崎から河和まで東海岸ルートは完備されているが西海岸は内海の間まで。内海の西半分地域は海っ子バスの恩恵が無い。せっかく中部空港が出来たのに、これではまちの発展は望めない。内海～セントレア便の新設を望む。	男性	70～74 歳	豊浜・豊丘

2. 防犯

海水浴客の飲酒運転は特に厳しく取り締まってもらいたい。事故があつてからでは遅い。	女性	30 歳代	内海・山海
--	----	-------	-------

3. 防災

この先、大きな地震、津波が来ると言われているが、堤防を少しばかり高くしても何の役にも立たないと思う。少しでも人命を救う事を考えるなら、避難する場所・山の整備と確保・改善が必要だと思う。	男性	30 歳代	豊浜・豊丘
地震時の災害に備えた環境・対策を重点に置いて、安心して生活のできるまちづくりを推進してほしいと思う。	男性	40 歳代	内海・山海
大地震が起きて津波が発生した時、危険と思われる住居が多数あるので対策を急ぐべき。	-	60 歳代	豊浜・豊丘
津波が来た時、山に登る道が無い。あつてもそこに行くまでに、かなり時間がかかり、その間に津波が来てしまう。堤防を高くする工事をしているが、高くしたところで津波はそれを越えてくると思う。東日本の地震でも、堤防があつても関係なく津波が押し寄せている。それよりも、短い間隔で逃げ道をつくってもらいたい。子どもや高齢者でも、逃げられるようにしてもらいたい。家族みんながそう思っている。検討してもらえると嬉しい。	女性	30 歳代	豊浜・豊丘

津波対策について。湾内のかさ上げを計画していると思うが何のメリットもない。堤防及び外側のテトラポットの充実を図るべきである。	男性	60 歳代	豊浜・豊丘
防災対策について、防災無線の配備は行われたが、避難所の整備がなかなか進んでいないと思う。師崎地区は公共の建物が沿岸部にあり、災害時の避難場所として適当とは思えない。備蓄庫がそこにあつては食料も水も役に立たないのではないか。高台にある農地を一部活用して、非常用の物品を確保するなど早急に動く必要があると思う。屋根のある安全な場所を非常時に活用できるようにしてもらいたい。	女性	30 歳代	大井・片名・師崎

4. 公害

内海小桝公園周辺におけるモーターパラグライダーの飛行禁止を決定してほしい。事故が懸念され、騒音も迷惑。	男性	70～74 歳	内海・山海
---	----	---------	-------

5. マナー

散歩の時、ごみの多さに閉口している。時には拾って歩くが、焼け石に水。せめてごみの落ちていないきれいなまちになったら嬉しい。	女性	50 歳代	豊浜・豊丘
野良猫への給餌禁止の広報活動を強化してほしい。海岸線の遊歩道は犬のフンが多く、観光地として対策が必要。以前、看板が設置されたこともあるが、保守整備がなされていない。	男性	70～74 歳	内海・山海
空き家の竹やぶは地主がちゃんと責任をもって管理する。	女性	70～74 歳	大井・片名・師崎
環境に対する住民の意識の向上が必要。特に漁業関係者。道路に海水を垂れ流しながら走るトラック。港の周りに小魚をバラバラ落とし、それを踏みつぶす。港を使える有難さや幸せを感じてもらいたいものだ。漁師も自分の船着き場の漁具の整理や雑草等の清掃にも心がけてもらいたい。	男性	60 歳代	大井・片名・師崎
町内のゴミの対策。ゴミ持ち帰りの看板を増やし、美しいまちになってほしい。	女性	50 歳代	豊浜・豊丘
海水浴場の売店で働く人たちに入れ墨が入っていたり、見せびらかせて歩いているお客など、家族連れはとにかく嫌がって小野浦に行ってしまう。住んでいる私たちも夏になると怖い。	女性	40 歳代	内海・山海

6. 地域や近隣と人間関係

内海は字別に分かれているので、町内会や祭り等、一つにまとまった方が良いと思う。その上で、まち全体の行事が増えたら良いと思う。	女性	50 歳代	内海・山海
年を重ねるごとに夫にいろいろな役が回ってくる。自営業ということもあり断ることもできず、結局仕事を休んで、区の仕事などを手伝う。田舎のしきたりについていけず、このまちから出ていきたいと思ってしまう。子どもにはそんな思いはさせたくない。その半面、海も近くて電車も通っているし、住むにはのんびりしていてとても良いと思う。	女性	40 歳代	内海・山海

7. 下水道関係

生活排水を川に垂れ流しにしているのをなんとかしてほしい。	男性	30 歳代	大井・片名・師崎
------------------------------	----	-------	----------

8. 医療

子どもの医療費を中学 3 年まで引き延ばしてほしい。中学では部活等で怪我をする機会が増えるので、医療費の負担が減れば良いと思う。	男性	20 歳未満	豊浜・豊丘
--	----	--------	-------

9. 子育て支援

仕事と育児が安心して両立できるよう労働環境の改善と学童、保育所、土日祝、夏休み等の長期休暇も子どもを預けられる所の充実を強く希望。	女性	30 歳代	内海・山海
人口の減少流出の原因は、30 代から 40 代・50 代の子どもを育てる人たちの収入が、このまちでは安定して得られないからだと思う。	-	60 歳代	豊浜・豊丘

10. 高齢者福祉

今は車に乗れるから良いが買い物や食事に行くことができなくなったとき、町で弁当を配ってくれると良いと思う。	女性	70～74 歳	豊浜・豊丘
公共交通機関の充実に力を入れてほしい。高齢者が多くなり車がないと医療機関に行けない、定期的に通えないなどデメリットがある。医療機関がもう少しあってもいいと思う。高齢者がより良く暮らせるまちづくりを最優先で進めて行ってほしい。	女性	40 歳代	豊浜・豊丘
個人タクシーがあると良い。老人は車に乗れないし、子どもも近くにいないので、小さい車でいいからまちに支援をしてもらって安い料金だとありがたいと思う。	女性	80 歳以上	豊浜・豊丘
老人のまちとなる前に、高齢者の住みやすいまちに少しずつ変えてほしい。	女性	50 歳代	豊浜・豊丘
老人ホームを充実して町内外にアピールしたらどうか。美浜町や武豊町のホームを利用している人がけっこういる。	-	60 歳代	豊浜・豊丘

11. 障がい者福祉

島の中や町内に障がい者を支援している施設が少ないので、障がいを持つ身としては南知多町自体が不便。例えば知的障がい、身体障がい者にとってはかなり不便に思える。私の場合は島内に家族で住んでいるが、障がい者施設のない島での暮らしは厳しい。かといって家族を置いて障がい者施設のある島外へすぐに移り住むことができなくて困っている。	女性	20 歳未満	日間賀島
精神・知的障がい者福祉サービスの充実を希望する。	女性	50 歳代	内海・山海

12. 生涯学習

片名地区に公民館をぜひ建設してほしい。	-	60 歳代	大井・片名・師崎
---------------------	---	-------	----------

13. 教育・青少年育成

子どもの教育にもっと力を入れた方が良いと思う。	男性	60 歳代	大井・片名・師崎
保育園・小・中学校を一ヶ所にしてマイクロバスなどで送迎したほうが良いのではないかと。現在の施設では海拔の低い所が多く危険なため。	男性	70～74 歳	豊浜・豊丘
保育園から中学校卒業までずっと一緒というのは、いい面もあるが悪い面も多い。一つに統合するのは難しいと思うが、子どもの時から一緒に過ごせば町民としての一体感も高まるのではと思う。	男性	40 歳代	内海・山海
学校統合について、篠島、日間賀島は離島のため小学校低学年では船での通学は無理がある。離島の 2 校の統合については反対だ。	男性	50 歳代	篠島
小中統合は不要。島の子どもの通学への負担が大きくなる。	女性	50 歳代	篠島
全国区で捉えた時に、とても恵まれた環境であることに気づくことができる。井の中の蛙になることなく、客観性を持って物事を判断することに努めるようにしているが、そのような物事の見方を、若年の頃からできるよう積極的に教育することに取り組んだ方が良い。	女性	30 歳代	豊浜・豊丘

大人や子どもが夢や希望を持って支え合って生きていける明るい地域づくりが大切だと思う。私はできる限り、子どもたちにあいさつをしている。声が返ってくると心から嬉しい。大人が変われば子どもは変わる。	女性	70～74 歳	内海・山海
--	----	---------	-------

14. 産業

観光面から言うと何故、南知多町には道の駅がないのだろうか。各地域がバラバラではなく一ヶ所に集中してPRすることが大切だと思う。雇用の場所の確保と、非常時の避難場所として活用できないか。	女性	30 歳代	大井・片名・師崎
南知多町は海・山の自然豊かで住みやすいまちだ。でも、観光でこのまちに来た人には今一つ魅力がない。観光施設をもっと充実すべきと思う。	男性	80 歳以上	内海・山海
篠島在住だが、自然を相手にしているため収入が不安定。若い人たちの働く場所がない。働く場所があれば島から出ないと思う。	女性	50 歳代	篠島
人口減少を止めることは鉄道がひかれない限り、不可能に近く打つ手はないと考える。仮にひかれたとしても現状維持が精一杯で、都市部から遠く働く場が少ないため誘致に力を入れるべき。	男性	20 歳未満	豊浜・豊丘
島では働ける職種も限られ、子育て世帯に関しては働くことも難しいと思う。漁業中心の島だが、その他の産業が無く不漁な時には島全体が落ち込んでいくというのも、少し考えものだと思う。	女性	30 歳代	篠島
南知多の産業とは、水産業と観光だと思うが、観光産業は観光客が海岸などに違法駐車したり、ごみを捨てて行ったり、その後始末等を漁業関係者がしている。観光を促進するなら、他の産業に迷惑がかからないよう配慮して、駐車場の整備などすべき。	女性	50 歳代	大井・片名・師崎

15. まちの活性化

PR 不足。まち全体が一つになりもっとイベント、キャラクターなど生かす活動をしてほしい。観光用パンフレットを見て豊浜に行ったから島にも行こう、内海海水浴場に行ったから〇〇の季節には〇〇狩りに行こうなどとなるようにPRして行ってほしい。	男性	50 歳代	内海・山海
アーティストを呼ぶなど、文化的・芸術的イベントがもっとあるといいと思う。	男性	20 歳未満	内海・山海
学校を減らしたりするのではなく、人口が増える準備をしておかなければ人口は減る一方。名所、他にない施設等、観光でまちをアピールする。他のまちと違うことをしてアピール。	男性	30 歳代	内海・山海
まちを挙げて観光に取り組むのならばトイレの整備、寺院などと連携をとり、歴史を勉強してつながりを持たせ、スタンプラリーなどをしてみたり、長時間楽しみながら町内に留まっていられる作戦を考えねばならない。	-	60 歳代	豊浜・豊丘
観光について。セントレア、名古屋からのアクセスを良くする。外国人観光客の取り込み。常滑線を内海まで延伸、内海駅を海岸に近い所に移設。師崎と伊良湖と鳥羽を橋で結ぶ。企業誘致、観光ルートをダイナミックで広域な視点でとらえ人・物・金、情報が動くように。	女性	80 歳以上	内海・山海
南知多町から名古屋まで1時間で着く利便性をアピール。高速を使えば岐阜、長野県でも2～3時間あれば十分。ゴールデンウィーク、夏休み以外で観光客誘致に知恵を絞る。弘法大師、空海が守る南知多町、知多半島。信仰の岬、南知多半島、大井、山海。	男性	80 歳以上	大井・片名・師崎
豊かな自然と新鮮な農産物、海産物に恵まれているので観光を主とする収入を増やして住民の暮らしも豊かになればと思う。ただ交通渋滞や騒音など住民にとって迷惑なこともあるが、地域のためには我慢も必要かと思う。	-	60 歳代	豊浜・豊丘

観光でまちを支えるなら来てくれる人のニーズを先取りすべき。古き良き雰囲気も良いとは思いますが、美しい便利な施設が望まれているのではないかと。	女性	60 歳代	内海・山海
日間賀島に住んでいるが、家の周りも一人暮らしのお年寄りが多く。あと 10 年もすれば空き家が多くなり、人口減になる。島は工場やスーパーなどの働き口がなく、島外への流出が多いので、土地を提供して誘致していただきたい。	女性	50 歳代	日間賀島
内海の小桧公園の鉄の扉を開けて、町内外の人々に開放すること。釣り人、散歩、サイクリング、運動に利用させる。観光のまちの方針は理解に苦しむ。	-	70～74 歳	内海・山海
観光アピール等は旅行会社などが勝手にやってくれると思うので、南知多町としては公共交通等の整備・改善が必要なのではないかと思う。	女性	20 歳未満	豊浜・豊丘

16. 町への意見

ある事でまちに申請しているが、各課をたらい回しにされ、どうしたらいいかわからず困っている。	男性	60 歳代	内海・山海
まちづくりは人づくり、人材育成が大事。役場の職員の資質、学習意欲や能力の向上も課題ではないか。	男性	70～74 歳	大井・片名・師崎
役場の対応については不満があると良く耳にする。より良い住民のへの対応を考えてほしい。	女性	20 歳未満	豊浜・豊丘
このまちに移り住み思うことは、まちづくりのためのそれぞれの担当分野での割り当てられたお金の使い道が不透明すぎる。人口が減り続ける中、ある程度は南知多全体で様々な分野を統合してもいいのではないかと思う。	女性	50 歳代	大井・片名・師崎
南知多町は自然景観が大切なのに津波対策のために、現在工事をしていてドライブなどで海が見えない状況になっていることが不満。防潮堤を高くするよりも山へ逃げるための安全な道を整備等するために税金を使い、住んでいる人と観光地ということを第一に考えてほしい。	女性	20 歳未満	豊浜・豊丘
財政赤字をどうするのか、議会を含め不十分である。後生に残すことは絶対あってはならない。現況の厳しさをわかっていない。もっと改革に力を入れるべき。	-	70～74 歳	内海・山海
生活保護受給者の生活実態を十分調査して、見直しをすべきである。	男性	80 歳以上	大井・片名・師崎
人口が減少していく中、役場の職員にも南知多町に住んでもらい活気づけてもらいたい。	女性	30 歳代	豊浜・豊丘
アンケートをするだけで終わりではなく、アンケートで出た意見をしっかり理解してより住みやすいまちにしてほしいと思う。しっかりと先の見えるまちにしてほしい。	男性	30 歳代	大井・片名・師崎
火葬場は半田市や東海市のようにきれいなものに建て変えを検討してほしい。	女性	20 歳未満	豊浜・豊丘
この意識調査は必要があるのか？何のために行政・町長始め役場の職員・議員がいるのか、意見・行動が感じられない。	-	50 歳代	大井・片名・師崎
町長が各区へ出向いて区民との意見交換の場を持つべき。より住民の考え方が伝わると思う。	女性	80 歳以上	豊浜・豊丘
この南知多町が大好き。このまちに 60 年住んでいるが大きな変化もなく残念。地理的環境は大変優れているのに、それを生かす施策が何も見えてこないのが残念でならない。商業、工業、農業、観光等は全て平等に施策すべき。	-	60 歳代	豊浜・豊丘

17. まちづくりの要望・提案

このまちをどの様にしていくのか、もっと真剣に考えるべき。アンケートも良いが様々な機会をとらえて生の声を聞く事も必要かと思う。	-	50 歳代	内海・山海
--	---	-------	-------

これからの南知多町の青写真を早急に作成し実行していく。スピードアップしたまちづくりを。	男性	60 歳代	内海・山海
住民が国民年金で楽しく生活できる南知多町にしてほしい。	男性	60 歳代	豊浜・豊丘
砂のきれいな浜を利用して何か考えられたら良いと思う。	女性	80 歳以上	内海・山海
第二の人生を楽しむまちにしたい。	男性	70～74 歳	大井・片名・師崎
南知多町の外へもっと目や耳を向けてみてほしい。やることは多いはず。	男性	60 歳代	豊浜・豊丘
若者が楽しく住めるようなお洒落なまちで、なおかつ災害に強い安心・安全に住めるまちづくり。	女性	50 歳代	豊浜・豊丘
私が住んでいる地区は空き家が目立ち、老人世帯が増え急速に過疎化が進んでいる。南知多は車なら名古屋から一時間で豊かな自然に恵まれ人々も親切だと思う。こうした魅力を内外にアピールし、空き家などを再利用した住宅を安く提供し子育て支援などを充実させて、若い世代が移り住んでくるよう、今以上に発信していったらと思う。	女性	60 歳代	豊浜・豊丘
このまちにはまちづくりのための要素、資源がたくさんあると思う。それらを有効かつ有機的に徹底的に掘り下げたらいいのではないか。人は利に弱いもの。つまりはこれをやればこんな得、利益があることを明快に示すことも大事なことだと思う。	男性	60 歳代	内海・山海
古い考えの良い所は残して、新しい考えをどんどん取り入れていった方がいいと思う。	女性	20 歳未満	豊浜・豊丘
日本のだ真ん中で気候温暖風光明媚。陸は農産物、野菜工場などの誘致建設。海は魚・貝類等の養殖誘致建設。観光は公園・休養施設建設。有名企業、学校・研究分校誘致。夢や希望は大きく。	男性	80 歳以上	大井・片名・師崎
田舎と呼ばれる所は新しいものよりも現状を今風にアレンジすることがいいと思う。	男性	20 歳未満	大井・片名・師崎
美浜町のように宅地造成を大いに進めていくべきだと思う。人口流出を防ぐため。	男性	70～74 歳	日間賀島
少子化、人口減対策を特に努力してほしい。	男性	80 歳以上	内海・山海
町外に居住している子どもたちが、家族で帰って来なくなるような魅力あるまちにしてほしい。	男性	60 歳代	豊浜・豊丘
私の家の近所はほとんど空き家なので活用法を考えて生かして欲しい。	女性	40 歳代	豊浜・豊丘

18. このアンケートについての意見

こういったアンケートを取るのはいいが生かさないの意味がない。このままだと、まちづくりの前に破綻すると思う。	男性	40 歳代	豊浜・豊丘
この様な調査については、今後は 50 歳以下の若い人の考えを、無作為でなく男女半々に調査すべきである。	男性	70～74 歳	内海・山海

19. その他

子どもたちが大学に行っても、社会に出ても、大井から出る事なく、戻って帰れる場所があったら良いなと思っている。	女性	40 歳代	大井・片名・師崎
防災無線で流れる曲について。12 時のわれは海の子は途中から流れるので、小さい子が曲を覚えるのに良くないと思う。5 時の家路は、もっと親しみのある曲が良いと思う。	女性	70～74 歳	内海・山海
毎日飲む水道水だが水道管は大丈夫なのか。心配。	女性	70～74 歳	大井・片名・師崎
まちの未来に希望が持てない。	男性	40 歳代	内海・山海
もっとまちや村が明るくなるようつくしたい。	男性	30 歳代	豊浜・豊丘

・調査票

南知多町住民意識調査

第6次総合計画中間調査

アンケートにご協力ください！



南知多町では、平成 22 年度にスタートしました「第6次南知多町総合計画」に基づき、「太陽と海と緑豊かなまちづくり」を進めています。

この調査は、平成 27 年度に総合計画の計画期間（11 年間）の中間年度を迎えることから、町政に対する町民皆様の意識やニーズ、満足度の変化などを把握するために実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様とともに日本一住みやすいまちにしていけるため、ご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年 8 月

南知多町長 石黒和彦

ご回答にあたってのお願い

- 封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いします。
- なお、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談のうえご家族の方がご記入ください。
- 回答にあたっては、**特に記載のない場合は、該当する項目を1つ選んで、番号に○印をつけてください。**ただし、「その他」を選択された場合は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。
- 回答されたアンケート用紙は**8月20日(水)**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。
- この調査は、町内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に抽出した1,500人の方にお願いするものです。ご回答の内容は、全て統計的に処理し、**プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。**
- このアンケートについてのご質問などがありましたら下記までお問い合わせください。

南知多町企画課 TEL: 0569-65-0711（内線 332） 担当：田中、宮地
FAX: 0569-65-1235 E-mail: kikaku@town.minamichita.lg.jp

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選び○印)

1. 男性

2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つ選び○印)

(平成26年7月1日現在の満年齢)

1. 20歳未満

4. 40歳代

7. 70～74歳

2. 20歳代

5. 50歳代

8. 75～79歳

3. 30歳代

6. 60歳代

9. 80歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。(1つ選び○印)

1. 会社員(常勤)

6. 農業

2. 公務員・教職員(常勤)

7. 学生

3. パートタイマー・アルバイト・内職

8. 専業主婦・主夫

4. 自営業・自由業(医師・司法書士など)

9. 無職

5. 水産業(漁業・水産加工業など)

10. その他()

問4 あなたのお宅の家族構成を教えてください。(1つ選び○印)

1. 単身世帯(一人暮らし)

4. 親と子どもと孫(三世代世帯)

2. 夫婦のみ世帯

5. その他(具体的に:)

3. 親と子ども(二世代世帯)

問5 あなたがお住まいの地区(大字)を教えてください。(1つ選び○印)

1. 内海

4. 豊丘

7. 師崎

2. 山海

5. 大井

8. 篠島

3. 豊浜

6. 片名

9. 日間賀島

問6 あなたは、南知多町に住んで合計何年になりますか。(1つ選び○印)

1. 5年未満

3. 10年以上20年未満

2. 5年以上10年未満

4. 20年以上

問7 あなたは、生まれたときから南知多町に住んでいますか。(1つ選び○印)

1. 生まれたときから南知多町に住んでいる (⇒ 問8へ)

2. 南知多町で生まれ、一度町外に出て生活し、再び南知多町に戻ってきた

3. 町外から南知多町に移り住んだ

次ページ<問7-1>へ

→<問 7-1> あなたが、南知多町に戻ってきた、又は移り住んだ理由を教えてください。
(該当するものを全て選んで○印)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 就職・就学・転勤・転職のため | 5. 住み替えたかったため |
| 2. 結婚のため | 6. その他 (_____) |
| 3. 親又は子どもと同居するため | _____) |
| 4. 親又は子どもと近居・隣居するため | |

南知多町のまちについておたずねします。

問8 あなたは、南知多町は住みやすいまちだと思いますか。(1つ選び○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問9 あなたは、これからも南知多町に住み続けたいと思いますか。(1つ選び○印)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 永く住み続けたい | 4. できれば町外に移り住みたい |
| 2. 当分は住み続けたい | 5. すぐに町外に移り住みたい |
| 3. どちらともいえない (⇒ 問 10 へ) | |

→<問 9-1> あなたが、住み続けたい理由を教えてください。(3つまで選び○印)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 自然豊かな住環境 | 8. 医療、福祉施設が立地している |
| 2. 歴史文化や伝統行事がある | 9. 観光、レジャー施設が豊富 |
| 3. 地元で採れる豊かな農・海産物 | 10. 住宅に係るコストが安価 |
| 4. 電車や高速道路などの広域からの交通アクセスがよい | 11. 先祖代々の住み慣れた土地だから |
| 5. 地域の助け合いが残っている | 12. その他 (具体的に: _____) |
| 6. 子育てや教育がしやすい | 13. わからない |
| 7. 通勤や仕事の関係 | |

<問 9-2> あなたが、町外に移り住みたい理由を教えてください。(3つまで選び○印) ←

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 住宅環境が悪い | 8. スポーツ、レジャー、文化施設が少ない |
| 2. 買い物など生活の利便が悪い | 9. 適当な住宅地が確保できない |
| 3. 交通の利便性が悪い | 10. 将来は町外で生活している家族の
ところへ行きたい |
| 4. 行事、近所づきあいが面倒である | 11. その他 (具体的に: _____) |
| 5. 子どもの教育のことが心配である | 12. わからない |
| 6. 通勤や仕事の関係 | |
| 7. 医療、福祉施設が不足している | |

南知多町の暮らしの満足度と今後のまちづくり重要度についておたずねします。

問10 あなたは、(1)～(50)のそれぞれの項目について、どの程度満足されていますか。

また、(1)～(50)のそれぞれの項目について、今後の行政にあたって、どれくらい重要であると思われますか。それぞれの項目の「満足度」と「重要度」それぞれの欄に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	満足度						重要度					
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	まあ重要	普通	重要でない	重要でない	わからない
記入例) ○○○○○○について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
都市基盤の整備について												
(1) 道路と橋の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 公共交通機関（鉄道・バス）について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 海上航路について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) 港湾・漁港・海岸線の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(5) インターネットなどの情報通信環境について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(6) 上水道の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(7) 下水・排水施設の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(8) 河川整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
生活環境について												
(9) 公園・緑地の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(10) ごみの減量化・リサイクルの施策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(11) 産業廃棄物対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(12) し尿処理対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(13) 火葬場の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(14) 消防・救急体制について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(15) 防災対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(16) 防犯対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(17) 交通安全対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
健康・福祉のまちづくりについて												
(18) 健康づくり・保健予防対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(19) 介護サービスについて	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(20) 保健施設・医療機関について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(21) 医療サービス体制について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(22) 児童福祉（保育所、子育て支援）について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	満足度						重要度					
	満 足	ま あ 満 足	普 通	や や 不 満	不 満	わ か ら な い	重 要	ま あ 重 要	普 通	重 要 あ ま り で な い	重 要 で な い	わ か ら な い
(23) ひとり親（母子・父子）福祉について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(24) 高齢者福祉について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(25) 障がい者（児）福祉について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(26) 低所得者福祉（生活保護）について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
産業について												
(27) 農業経営、農業基盤整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(28) 水産業経営、漁港・漁場の環境整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(29) 工業振興について（企業誘致を含む）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(30) 商業の振興について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(31) 観光振興について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(32) 雇用の機会・働く場の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(33) 安全な消費者生活の確保について（悪徳商法など）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教育・文化・生涯学習について												
(34) 生涯学習施策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(35) 幼児教育について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(36) 義務教育（小中学校）について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(37) 図書館（室）の整備について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(38) スポーツ環境について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(39) 文化財保護について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(40) 文化・芸術活動について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(41) 青少年育成について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
行政経営について												
(42) 町政への住民参加について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(43) 自治区活動の支援について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(44) 地域のコミュニティ活動について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(45) 地域間交流（友好交流）活動について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(46) 国際交流・外国人対策について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(47) 男女共同参画について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(48) 広報・広聴活動について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(49) 情報公開について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(50) 職員の窓口対応について	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

南知多町の人口対策についておたずねします。

問11 町の人口減少を止めるために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 雇用機会・雇用の場の創出
2. 道路や公共交通（鉄道・バス）など、交通網の整備
3. 安全・安心に暮らせる住環境の整備
4. 商業施設の誘致
5. 住宅地の開発・造成
6. 空き家等を有効に活用するための支援（空き家等の賃貸情報の提供、改修支援）
7. 福祉・医療制度の充実
8. 学校・教育面の充実
9. 子育て支援・子育て環境の充実
10. 南知多町の良さのPR・情報提供
11. その他（具体的に：_____）
12. わからない

今後の産業振興についておたずねします。

問 12 産業振興に向けて、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 優良農地の保全、耕作放棄地の活用
2. 伊勢湾・三河湾の水質浄化、漁場の保全・造成
3. 商業施設の誘致
4. 工業用地の整備と、優良企業の誘致
5. 自然や歴史、農業・漁業等を生かした観光の振興
6. 地域住民による新たな産業の育成・創造
7. その他(具体的に：_____)
8. わからない

問 13 観光振興による地域の活性化について、どのような施策を推進すればよいと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 道路、鉄道、航路などの交通基盤の整備
2. 大型駐車場の整備
3. 海洋レジャー施設（マリーナ、ヨットハーバー、海水浴場、海釣り公園、水族館など）の整備
4. 各種レジャー、スポーツ施設（ゴルフ場、テーマパークなど）の整備
5. 観光施設（展望台、大型ホテル）の整備
6. 郷土資料館、博物館などの整備
7. 自然景観の保全や公園、緑化の推進
8. PR、宣伝活動の活性化
9. イベント（各種大会など）の開催
10. 生産物直売施設の設置
11. 環境美化運動の推進
12. その他(具体的に：_____)
13. わからない

今後の防災対策についておたずねします。

問 14 あなたは、普段、どのような災害の発生を懸念されていますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-------|-------------------|-----------|
| 1. 地震 | 5. 洪水 | 9. 特になし |
| 2. 津波 | 6. 土砂災害（崖くずれ、地滑り） | 10. わからない |
| 3. 高潮 | 7. 暴風・竜巻 | |
| 4. 豪雨 | 8. その他（ ） | |

問 15 お住まいの場所は、災害に対し安全だと感じていますか、それとも危険だと感じていますか。あなたのお考えに近いものを 1つ 選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 安全 | 4. どちらかといえば危険 |
| 2. どちらかといえば安全 | 5. 危険 |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 16 今後の防災対策として、何を優先的に進めるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 避難場所や避難路等の整備 |
| 2. 危険箇所の改善 |
| 3. 避難訓練、防災機器使用訓練の実施 |
| 4. 災害時に備えての飲料水、食料、生活必需品、防災機器の確保 |
| 5. 緊急医療体制の充実 |
| 6. 災害時に配慮を必要とする世帯の把握 |
| 7. 地区ごとの自主的な防災組織の育成支援 |
| 8. 情報伝達体制の充実 |
| 9. その他(具体的に：) |
| 10. わからない |

問 17 災害に備えて、あなたが日頃から実行していることは何ですか。あてはまる番号全てに○印をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 食料や飲料水の備蓄 |
| 2. 津波一次避難場所や避難路の確認 |
| 3. 津波防災マップを目に付くところに掲示している |
| 4. 地区などで行う防災訓練や避難訓練に参加している |
| 5. 家族と災害時の行動について話し合っている |
| 6. 日頃から近所の人と声を掛け合うようにしている |
| 7. その他(具体的に：) |
| 8. 何もしていない |

今後の教育振興についておたずねします。

問 18 本町では、少子化とともに児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでおり、6年後の平成32年度には、すべての中学校のすべての学年で単学級（1クラスのみ）になることが推計されています。小規模校の長所、短所について、あなたが重要だと思う項目をそれぞれ2つまで選び、番号に○印をつけてください。

	選 択 肢
小規模校の 長 所	【2つまで選り○印】 1. 子どもたち一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい 2. 学校行事、部活動などで、一人ひとりの子どもの活躍の場が多い 3. 子ども同士の人間関係が深まりやすい 4. 学校運営において、子どもたちが一体となって活動しやすい 5. 保護者や地域社会との連携が図りやすい 6. その他（具体的に：_____） 7. 特になし
小規模校の 短 所	【2つまで選り○印】 1. 集団の中で多様な考えに触れたり切磋琢磨する機会が少なくなりやすい 2. 部活動などの設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい 3. クラス替えがなく人間関係や相互の評価などが固定化されやすい 4. 教員数が少ないため、経験年数や教科などの面で教員構成が偏りやすい 5. PTA活動などにおける保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい 6. その他（具体的に：_____） 7. 特になし

問 19 教育委員会では、平成18年2月に「小学校を5校・中学校を1校に統合する基本構想」を策定しましたが、今後の学校の配置に関する対応で、あなたの考えに一番近いものはどれですか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

1. 小規模校の長所を生かすため、現状を維持すべきである。 2. 小学校と中学校の連携を進めるなど小規模校の短所を減らす努力をしながら、現状を維持したほうがよい。 3. 小規模校の短所を回避するため、学校の統合はやむを得ない 4. 子どもたちの教育環境を充実させるため、学校の統合を積極的に進めるべきである 5. その他（具体的に：_____） 6. わからない・判断ができない
--

問 20 現在、南知多町内には小学校が6校、中学校が5校あります。今後、学校の統合のあり方を検討するとしたら、特にどのような点に配慮を要すると思われますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 学校施設（教育設備）の充実 2. 学校の配置や位置 3. 児童・生徒の通学手段 4. 地域活動とのつながり 5. 廃止される学校の跡地利用 6. 児童・生徒の数 7. その他（具体的に：_____） 8. わからない
--

参加と協働の地域づくりについておたずねします。

問 21 あなたは、どのような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。
あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目について 1 つずつ選び、番号に○印を
つけてください。

	今、 活動している	参加した経験がある	参加したことはないが、 機会があれば参加したい	参加したことはなく、 参加したいとも思わない
(1) 老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の団体活動	1	2	3	4
(2) 福祉（介護、医療）に関わる活動	1	2	3	4
(3) 教育・文化に関わる活動	1	2	3	4
(4) 環境（自然保全、ごみ対策、草刈、清掃など）に関わる活動	1	2	3	4
(5) 防災・防犯・交通安全に関わる活動	1	2	3	4
(6) 地域のまちづくりに関わる活動（自治会、祭礼、体育祭、盆踊りなど）	1	2	3	4
(7) その他（具体的に：_____）	1	2	3	

問 22 住民参加や住民主体のまちづくりを促進するうえで、町としてどのようなことを
行うべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを 1 つ選び、番号に○印をつ
けてください。

1. まちづくりに関するさまざまな情報を提供する

2. まちづくりについて考えたり、参加したりできる場や機会を提供する

3. まちづくり活動のための地域組織、体制づくりを行う

4. まちづくり活動を行うためのノウハウなどについてのアドバイスを行う

5. まちづくり活動を行うための活動費などを支援する

6. その他（具体的に：_____）

7. わからない

問 23 あなたがお住まいの地域をより良くするためのまちづくりを進める方法として、
どのような方法が望ましいと思いますか。あなたのお考えに近いものを 1 つ選び、
番号に○印をつけてください。

1. 住民が主体となって取り組み、行政はあくまでも側面から支援する

2. 住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む

3. 行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する

4. 行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む

5. その他（具体的に：_____）

6. わからない

男女共同参画についておたずねします。

問 24 本町では、平成 25 年 3 月に男女共同参画基本計画「南知多ひまわりプラン」を策定しましたが、あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問 25 今後、男女ともに家事、子育て、高齢者の介護、仕事、地域活動への積極的な参加を促していくためには、次のどのようなことが必要あるいは重要になると思いますか。あなたのお考えに近いものを 2 つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 意識改革
2. 家族間でのコミュニケーション
3. 労働環境の改善
4. 福祉サービス（保育所、学童、介護施設など）の充実
5. 子どものころからの教育
6. 社会制度の改革
7. 知識を身につけるための研修や講座の充実
8. 今のままでよい
9. その他（具体的に：_____）
10. わからない

南知多町のまちづくりについて、ご意見やご提案などご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。

ご協力ありがとうございました。

調査票は、8月20日（水）までに同封の封筒にてご返送ください。